OLYMPUS®

ボイストレック

DM-4

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面や本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす場合があります。取扱説明書にしたがって正しくお使いください。

商標および登録商標について

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/ATは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- 日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用して製品化されています。
- EUPHONY MOBILE は、DiMAGIC（ダイマジック社）の商標です。
- DVM は、DiMAGIC（ダイマジック社）の商標です。
- Nuance, Nuance のロゴ、RealSpeak、VoCon は、米国とその他の国々における Nuance Communications Inc., およびその関連会社の商標または登録商標です。
- DAISY OK マークは DAISY Consortium の商標です。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。











この製品の内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。これらの条件を下記に示します。

目次

はじめに



あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためにお読みください。

1 ご使用になる前の準備



製品に関する基礎的な情報をまとめています。



製品を使う前の準備をしましょう。

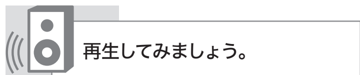


ファイル管理をする際にお役だてください。

2 基本的な機能を使う



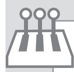
さまざまな音源を録音してみましょう。



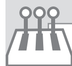


ファイルを操作してみましょう。

3 設定機能を使う



設定を切り替えることで、
より便利にご使用いただけます。



その他の機能を使ってみましょう。

4 Olympus Sonority を使う



付属のアプリケーションを使って、パソコンとの連携操作ができます。

5 Windows Media Player について



Windows Media Player でコンテンツを取り込んでお楽しみいただけます。

6 iTunes について



iTunes でコンテンツを取り込んでお楽しみいただけます。

7 その他の機能を使う



パソコンでその他の使い方ができます。

8 資料



お困りのことや、製品をもっと知りたい場合にお役だてください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

ご使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- 本機を落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、本機内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、本機を室内の温度になじませてからご使用ください。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカ、大型モーター、電波塔や高圧線の近くで本機を使用すると、磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、本機が誤動作する場合があります。本機が正常に動作しない場合は、電源を切ってから、再度電源を入れてください。
- 本機のそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。

<データ消失に関する注意事項>

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
本製品は故障 , 当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

<録音したファイルに関する注意事項>

・本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

本機について

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない。**
引火・爆発の原因になります。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない。**
火災・感電の原因になります。

● **分解や改造をしない。**
感電やけがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない。**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の AC アダプタ、充電中の電池に長時間ふれない。**
充電中の AC アダプタや電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製リチウムイオン電池、充電池、AC アダプタ以外は使用しない。**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。また本機または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた障害は補償しかねますので、ご了承ください。

● **microSD ／ microSDHC メモリカード以外は、絶対に本機に入れない。**
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しない。**
交通事故などの原因となります。

● **この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しない。**
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
– 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
– 操作を誤りけがや感電事故などを起こす。

● **航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用を避けるか、その場所の指示にしたがってください。**

⚠ 注意

● **操作前から、音量を上げない。**
聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

● **異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止する。**
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

● **本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する。**
けがや事故の原因となることがあります。

● **高温になるところに放置しない。**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

● **低温下で本機の金属部に長時間触れない。**
皮膚に障害を起こすおそれがあります。低温下では、できるだけ素手で扱わず手袋などを使用してください。

電池について

• **液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。**

⚠ 危険

● **火気のある場所に電池を置かないでください。**

● **火の中への投入したり、加熱しない。**
発火・破裂・火災の原因となります。

● **⊕ と ⊖ 端子を金属類で接続しない。**

● **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない。**
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない。**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない。**
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない。**
  感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する。**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損がある電池は使用しない。**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない。**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する。**
  火災・感電の原因となります。
  販売店、またはサービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**
- **電池は幼児・子供の手の届くところに置かない。**
  電池は幼児・子供が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- **万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら。**
  けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
  販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠ 注意

- **指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「充電式電池の廃棄について」（☞ P.13）に従って破棄してください。**
- **充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。**
- **電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい電池と取り替えてください。**
- **電池を使って本機を長時間使用したあとは、すぐに電池を取り出さない。**
  やけどの原因となります。
- **長時間使用しない場合は、本機から電池を外しておく。**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

AC アダプタについて

⚠ 警告

● **分解、修理、改造をしない。**
感電・けがのおそれがあります。

● **引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。**
爆発や火災、火傷の原因となります。

● **プラグ先端の ⊕ と ⊖ をショートさせない。**
火災ややけど、感電の原因となります。

● **落下や損傷により内部が露出したら、**
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、やけど、けがのおそれがあります。
② 感電・火傷・けがに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

● **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

● **万一 、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

⚠ 注意

● **濡れた手で触ったり持ったりしない。**
感電・故障の原因となります。

● **表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。**

● **電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まない。**

● **電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しない。**

● **使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜く。**

● **電源コードを傷つけない。**
- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- 火災・感電の原因となります。

充電式電池の廃棄について

- **使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。**
  詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ（**http://www.jbrc.com**）をご覧ください。



Li-ion 00

液晶ディスプレイについて

- **本製品の液晶ディスプレイは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。**

ソフトウェアについて

⚠ 警告

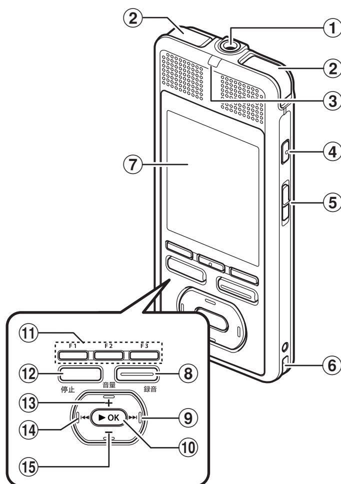
- **付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで再生しないでください。**
  スピーカやヘッドホンを破損したり、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

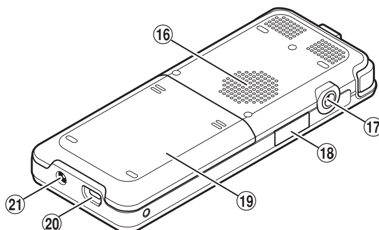
主な特長

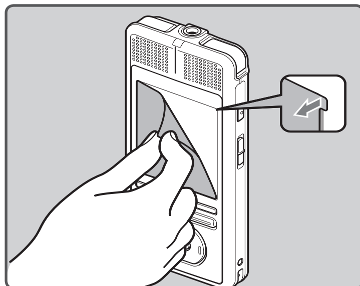
● 本機で録音したファイルやパソコンから転送したファイルにキーワードを付けてデータベース管理します（☞ P.94）。
  • ファイルの日付やキーワード別にファイル検索ができます（☞ P.52）。
● スケジュール機能を搭載しています（☞ P.110）。スケジュールにボイスメモを録音できます（☞ P.115）。また、レコーダーフォルダに録音した音声ファイルを記録した日付のスケジュール画面から表示させて再生することができます（☞ P.117）。
● 音声認識機能を使って本機の設定や機能を制御できます（☞ P.127）。
● デジタルカメラと接続することで画像を取り込み、閲覧できます（☞ P.123）。
● テキストデータを取り込み、本機で読み上げができます（☞ P.180）。
● CD レベル以上の音質で記録できるリニア PCM 形式に対応。さまざまな音源を、リアルに録音できます。
  • 音楽CD（サンプリングレート 44.1 kHz、ビット数 16 bit）以上の高サンプリングレートでの高解像度録音が可能です（☞ P.69）。
● 多彩な録音形式に対応。MP3 形式（MPEG-1 Audio Layer3）をはじめ、WMA（Windows Media Audio）形式にも対応（☞ P.69）。
  • ファイルを高圧縮で保存できるので長時間録音も可能です。また、外部機器を接続すればアナログ音声入力信号をパソコン無しでエンコードできます（☞ P.44）。
● 大容量記録メディアに対応。内蔵の 8GB メモリのほかに、市販品の microSD カードにも記録できます（☞ P.31）。
● 本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送した WAV、WMA、MP3 形式のファイルを再生できます。
  • ミュージックプレーヤーとして、いつでもお楽しみいただけます。
● 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA）機能（☞ P.72）と、ノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能（☞ P.72）を搭載しています。
● 録音レベルを自動または手動で調整できます（☞ P.70）。
● ノイズをカットして、音声をクリアに再生できるノイズキャンセル機能（☞ P.80）と、音声フィルタ機能（☞ P.81）を搭載しています。
● WMA 形式の録音では、ステレオ録音とモノラル録音、合わせて 6 種類の録音モードが選択できます（☞ P.69）。
● 用途に合わせて、あらかじめ録音または再生の音質やモード設定を登録することができる録音シーン設定（☞ P.74）と再生シーン設定（☞ P.85）機能を搭載しています。
● 内蔵メモリと microSD カード間のファイル移動またはコピーと、メモリ内の各フォルダへのファイル移動またはコピーができます（☞ P.95）。
● 本機で録音した PCM 形式のファイルは、ファイルの分割をしたり（☞ P.97）、ファイルの一部分を消去できます（☞ P.62）。
● 2.2 型（インチ）TFT カラー液晶パネルを採用しています（☞ P.16）。
● 多彩な再生機能を搭載しています（☞ P.81、P.82）。
● インデックスマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探せます（☞ P.50）。

- 再生スピードをお好みに合わせて調節できます (☞ P.82)。
- 操作状況を音声でお知らせする音声ガイド機能（日本語・英語対応）を搭載。多彩な機能も簡単に操作できます。また、ファイル情報を知らせるファイル情報読み上げ機能も搭載しています (☞ P.88)。
- オリジナルのフォルダ名が入力できます (☞ P.78)。
- タイマー録音 (☞ P.75）やアラーム再生機能 (☞ P.89）を搭載。設定した時間に録音や再生を自動的に行えます。
- 拡がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音までの切り替えを可能とした、指向性マイク機能を搭載しています (☞ P.71)。
- 音質劣化がなく自然な臨場感を作り出す EUPHONY　MOBILE を搭載しています (☞ P.80)。
- 設定した間隔で、早送りや早戻しができます (☞ P.84)。
- 用途に合わせて、[**ホーム**]画面のメニュー項目が切り替えできます (☞ P.93)。
- Windows と Macintosh に対応する専用ソフトウェアの Olympus Sonority を付属しています (☞ P.130)。
  - 本機で録音した音声ファイルをパソコンに転送すると、再生や整理、編集などが簡単に行えます。
  - 波形編集やファイルの統合、分割ができます。
  - パソコンにつないで USB マイクや USB スピーカとしてもご使用になれます (☞ P.181)。
- Olympus Sonority は、より高い機能を備えた Olympus Sonority Plus にアップグレード（有償）が可能です (☞ P.158)。
  - Olympus Sonority の機能に加え、MP3 ファイルの編集や音楽 CD の作成ができます。
- USB2.0 に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送できます。
- USB 充電機能を搭載しています (☞ P.25)。
- DAISY の再生に対応しています (☞ P.154)。
  - 本機を DAISY 再生機器と接続してコンテンツファイルを直接取り込むことができます（☞ P.129)。
  - Olympus Sonority から DAISY ファイルを本機に転送してお楽しみいただけます。
- オーディオブックの再生に対応しています（☞ P.179)。
- ポッドキャストの再生に対応 (☞ P.149)。
  - Olympus Sonority にお好みのポッドキャストの URL を登録しておけば、最新の放送内容を自動的に受信します。本機の［**ポッドキャスト**］フォルダを開くと、Olympus Sonority から本機に転送した番組（ファイル）をすばやく聴けます。

各部のなまえ







- ディスプレイの保護シールをはがしてからお使いください。

① **マイク**ジャック
② 内蔵ステレオマイク
③ LED 表示ランプ
④ **ボイス**ボタン
⑤ **電源／ホールド**スイッチ
⑥ ストラップ取り付け部
⑦ ディスプレイ（液晶表示パネル）
⑧ **録音**ボタン
⑨ **▶▶I** ボタン
⑩ ▶OK ボタン（再生／決定）
⑪ Fn ボタン（F1 ／ F2 ／ F3）
⑫ **停止**ボタン
⑬ **+** ボタン
⑭ **I◀◀** ボタン
⑮ **ー**ボタン
⑯ 内蔵スピーカ
⑰ **イヤホン**ジャック
⑱ カードカバー
⑲ 電池カバー
⑳ USB 端子
㉑ **電源**ジャック

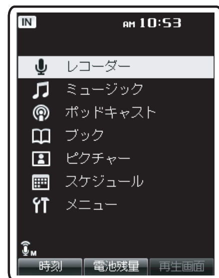
[ホーム] 画面

本機の電源を入れると、ホームメニューが表示されます。ホームメニューは各機能の入り口になります。各機能については参照ページをご覧ください。

• ホーム画面以外の状態から、ホーム画面に戻る場合は、**停止**ボタンを2秒以上押してください。

用途に合わせて、[**ホーム**] 画面のメニュー項目を切り替えることができます (☞ P.93)。

[**アクセシビリティ**] の設定を [**Off**] に設定したとき:
❶ ❷ ❸ ❹ ❼ ❽ ❾
[**アクセシビリティ**] の設定を [**On**] に設定したとき:
❶ ❷ ❺ ❻ ❽ ❾



メニュー			機能
❶		**レコーダー**	[**フォルダ A**] から [**フォルダ E**] の5つの音声録音用フォルダに録音が可能です (☞ P.39)。録音されたファイルにはキーワードをつけられ、データベース管理できます (☞ P.94)。
❷		**ミュージック**	Windows Media Player や iTunes を使って取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して管理します。ミュージックプレーヤーとしていつでもお楽しみいただけます (☞ P.160、P.172)。
❸		**ポッドキャスト**	付属の Olympus Sonority を使って取り込んだポッドキャストコンテンツを本機に転送して管理します (☞ P.149)。
❹		**ブック**	付属の Olympus Sonority を使って取り込んだ DAISY (☞ P.154) やオーディオブック (☞ P.179) のコンテンツを本機に転送して管理します。また、本機に直接転送したテキストファイル (☞ P.180) も管理できます。
❺	daisy	**DAISY**	
❻		**テキストスピーチ**	

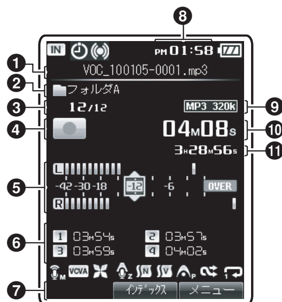
メニュー			機能
❼		**ピクチャー**	本機をデジタルカメラと接続し画像を取り込めます (☞ P.123)。
❽		**スケジュール**	スケジュールの登録や管理ができます (☞ P.110)。
❾		**メニュー**	本機の各機能の設定を行います。

本機がホーム画面のとき、**Fn** ボタン（**F1**、**F2**、**F3**）は次のとおりに機能します。

[F1] ボタン	日付と時刻を表示と音声でお知らせします。
[F2] ボタン	電池残量を音声でお知らせします。
[F3] ボタン	ファイル再生中は再生画面に戻ります。

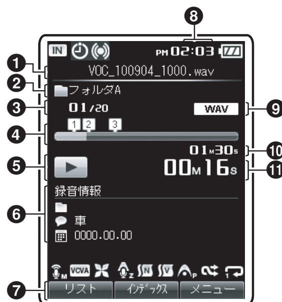
[レコーダー] モード画面

録音画面



❶ ファイル名
❷ フォルダ名
❸ ファイル番号 / リスト内の総ファイル数
❹ 本機の状態表示
❺ レベルメータ
❻ インデックス表示
❼ ファンクションガイド表示
❽ 現在時刻
❾ 録音モード表示
❿ 録音経過時間
⓫ 録音可能な残り時間

再生画面



❶ ファイル名
❷ フォルダ名 / キーワード / 日付
❸ ファイル番号 / リスト内の総ファイル数
❹ 再生位置バー表示
❺ 本機の状態表示
❻ インデックス表示 / ファイル情報表示
❼ ファンクションガイド表示
❽ 現在時刻
❾ ファイル形式表示
❿ ファイルの長さ
⓫ 再生経過時間

アイコン表示（全モード共通）

[ ] [IN] メモリ表示
[ ] タイマー表示
[ ] アラーム表示
[ ] 電池残量表示
[ ] マイク感度表示
[VCVA] VCVA 表示
[ ] ローカットフィルタ表示
[ ] 指向性マイク表示
[ ] ノイズキャンセル表示
[ ] 音声フィルタ表示
[ ] EUPHONY 表示
[ ] [ ] リピート表示
[ ] ランダム表示

1 各部のなまえ

[ミュージック] モード画面

ミュージック再生画面



❶ ファイル名
❷ 検索カテゴリー
❸ ファイル番号／リスト内の総ファイル数
❹ 再生位置バー表示
❺ 本機の状態表示
❻ 情報表示エリア
❼ ファンクションガイド表示
❽ 現在時刻
❾ ファイル形式表示
❿ 曲の長さ
⓫ 再生経過時間

[ポッドキャスト] モード画面

ポッドキャスト再生画面 *



❶ ファイル名
❷ 番組名
❸ ファイル番号 /
フォルダ内の総ファイル数
❹ 再生位置バー表示
❺ 本機の状態表示
❻ 情報表示エリア
❼ ファンクションガイド表示
❽ 現在時刻
❾ ファイル形式表示
❿ コンテンツの長さ
⓫ 再生経過時間

* [**アクセシビリティ**] の設定が [**On**] に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには [**アクセシビリティ**] の設定を [**Off**] に設定してください (☞ P.93)。

[ブック] モード画面

DAISY 再生画面



❶ **目次表示**
❷ **コンテンツ名**
❸ **再生位置バー表示**
❹ **本機の状態表示**
❺ **テキスト表示**
❻ **ファンクションガイド表示**
❼ **現在時刻**
❽ **ファイル形式表示**
❾ **コンテンツの長さ**
❿ **再生経過時間**

オーディオブック再生画面 *



❶ **ファイル名**
❷ **コンテンツ名**
❸ **ファイル番号 / フォルダ内の総ファイル数**
❹ **再生位置バー表示**
❺ **本機の状態表示**
❻ **情報表示エリア**
❼ **ファンクションガイド表示**
❽ **現在時刻**
❾ **ファイル形式表示**
❿ **コンテンツの長さ**
⓫ **再生経過時間**

* [**アクセシビリティ**] の設定が [**On**] に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには [**アクセシビリティ**] の設定を [**Off**] に設定してください (☞ P.93)。

1 各部のなまえ

[ブック] モード画面

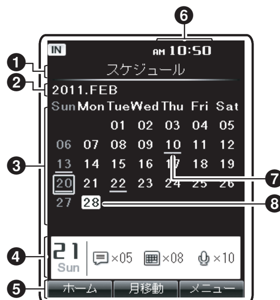
テキスト再生画面



❶ ファイル名
❷ フォルダ名
❸ 再生位置バー表示
❹ 本機の状態表示
❺ テキスト表示
❻ ファンクション
ガイド表示
❼ 現在時刻
❽ ファイル形式表示

[スケジュール] モード画面

カレンダー画面



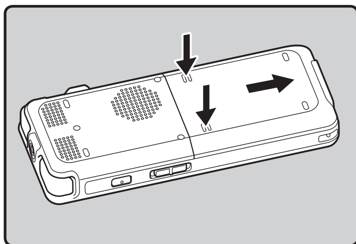
❶ タイトル表示
❷ 年・月表示
❸ カレンダー表示エリア
❹ スケジュール情報表示エリア
[ ] ボイスメモ件数表示
[ ] スケジュール件数表示
[ ] 録音ファイル件数表示
❺ ファンクションガイド表示
❻ 現在時刻
❼ スケジュール登録日
❽ 現在の曜日表示

電源について

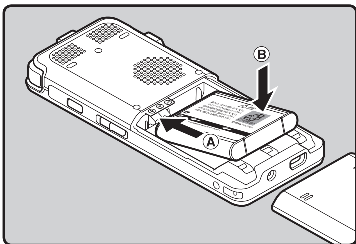
電池パックを入れる

電池は、当社製リチウムイオン電池（LI-50B）1 個を使用します。それ以外の電池は使用できません。

1 電池カバーの両端の指掛かりを両手で押さえ、矢印の方向へ押しながらスライドさせる

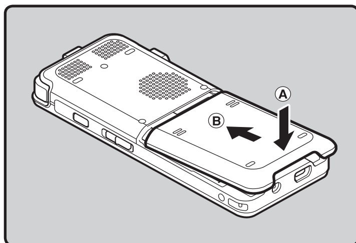


2 裏ラベルを上にして、本機と電池パックの端子部を合わせ、Ⓐ の方向に押し付けながら、Ⓑ の方向に押し込んで取り付ける



・ 電池の向きを間違えないように注意してください。
・ 付属の電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、完全に充電することをおすすめします (☞ P.24)。

3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら、Ⓑ の方向にスライドさせ、完全に閉める



ご注意

- 電池の交換は必ず本機を停止状態にしてから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生するおそれがあります。
- お買い上げ時には、電池カバーは装着されていません。
- 力を入れすぎたり、上記以外の方法で取り付け / 取り外しを行うと破損するおそれがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が 15 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になる場合があります（☞ P.30)。

- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- スピーカで音声・音楽ファイルを再生するとき、電池残量表示が［］であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてお使いください。
- 電池をお買い替えの場合、必ず当社製リチウムイオン電池（LI-50B）をご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

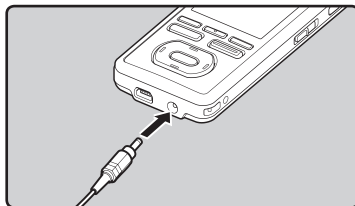
充電する

リチウムイオン電池は自己放電特性をもっていますので、本製品を開封後、初めてご使用になる前には、付属のリチウムイオン充電池の充電を行ってください。

AC アダプタを使って充電する

本機に付属の AC アダプタ（A515）を接続して充電することができます。また長時間録音を行う、時間がかかる作業をおこなう場合には、AC アダプタのご使用をおすすめします。

1. AC アダプタの電源プラグを家庭用電源のコンセントに差し込む
2. AC アダプタを本機の電源ジャックに差し込む
   - LED 表示ランプが橙色に点灯し、ディスプレイの電池表示が充電表示になると充電を開始します。



ご注意

- 本機の電源が入っているとき、または本機を他の機器に接続しているときは、電池やACアダプタを抜き差ししないでください。本機に設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- ACアダプタはAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。

パソコンとUSB接続して充電する

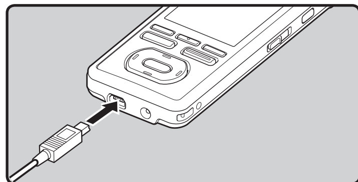
パソコンのUSB端子に接続して充電できます。充電をする場合、電池（付属）を本体に正しく入れてください（☞ P.23）。

1 パソコンを起動する

2 USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

3 本機が停止またはホールド状態で、本機底面のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する

・ LED表示ランプが橙色に点灯し､ディスプレイの電池表示が充電表示になると充電を開始します。



USB接続ACアダプタ（別売）と接続して充電する

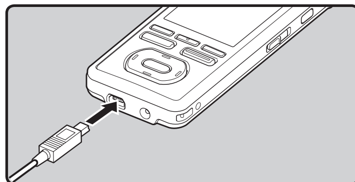
USB接続ACアダプタ（A514）（別売）と接続して充電できます。
ACアダプタを接続する前に、本機のUSB接続設定を［**ACアダプタ接続**］に切り替えてください（☞ P.101）。

1 ACアダプタを家庭用電源のコンセントに差し込む

2 付属のUSB接続ケーブルをACアダプタに差し込む

3 本機の電源が切れている状態で、本機底面のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する

・ LED表示ランプが橙色に点灯し､ディスプレイの電池表示が充電表示になると充電を開始します。



ご注意

- ＵＳＢ接続したパソコンの電源が入っているときに充電をしてください。パソコンの電源が入っていない場合やパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合、充電できません。
- USBハブを使用してパソコンと接続して充電しないでください。

- 電池表示が［F］になったら充電完了です（充電時間約 3 時間 *）。
  * 室温で電池残量がない状態から満充電する場合の目安です。電池の残量や充電の状態などにより変化します。
- ［C］*1 または［H］*2 が表示している場合、充電できません。周囲の温度が 5 〜 35℃の環境で充電してください。
  *1［C］：周囲の温度が低い場合
  *2［H］：周囲の温度が高い場合
- 満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になった場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

電池残量表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のようにかわります。



- ディスプレイに［ ］が表示されたら、早めに充電してください。電池がなくなると、［ ］と［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。
- 充電時は電池表示が電池残量に関係なく、繰り返し表示されます。

充電について

リチウムイオン電池 (LI-50B) ご使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 〜 42℃
充電：5 〜 35℃
長期保管：− 20 〜 30℃

上記の温度範囲外での電池の使用は、性能･寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために、電池を取り外して保管してください。

ご注意

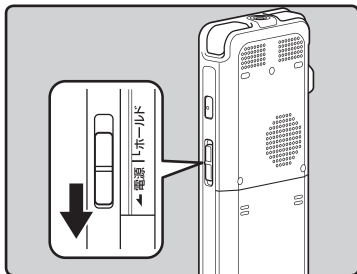
- リチウムイオン電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1 カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 電池は、関係する法令にしたがって処分してください。電池を完全に放電しないで処分する場合は、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

電源を入れる／切る

本機をお使いにならない場合、電源を切ることで、電池の消耗を最小限に抑えることができます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

本機の電源が切れている状態で電源／ホールドスイッチを矢印の方向へ2秒以上スライドさせる

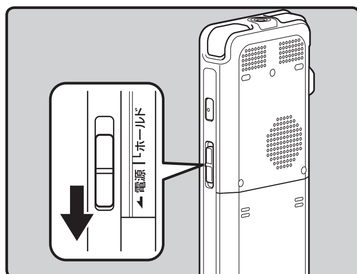


- LED表示ランプが点灯し電源が入り、ディスプレイにOLYMPUSロゴが表示されます。
- ディスプレイに［**しばらくお待ちください**］と表示された後、ホーム画面が表示されたら本機が使えるようになります。

電源を切る

電源／ホールドスイッチを、矢印の方向へ1秒以上スライドさせる

- ディスプレイが消灯し電源が切れます。



オートパワーオフについて

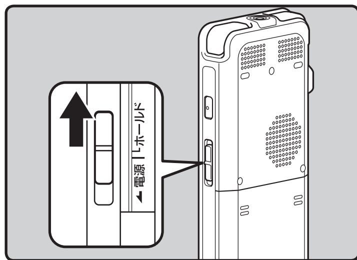
電源を入れて停止状態のまま10分以上（初期設定）経過すると、オートパワーオフモードが有効になり、電源がオフになります。また、オートパワーオフモードへの移行時間は［**5分**］［**10分**］［**30分**］［**1時間**］［**2時間**］［**3時間**］［**Off**］の中から選んで設定できます（☞ P.100）。
オートパワーオフモードを解除するには、再度電源を入れてください。

誤操作を防止する－ホールド機能

電源／ホールドスイッチを［**ホールド**］にすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。また、録音中に誤って停止してしまうことを防げます。

ホールドにする

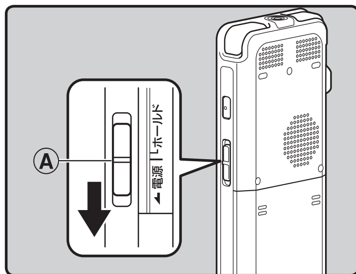
電源／ホールドスイッチを［ホールド］の位置にスライドさせる



• ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する

電源／ホールドスイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる



ご注意

• ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、LED 表示ランプが青色に点滅しますが動作しません。
• 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

日付・時刻を合わせる［Time & Date］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。



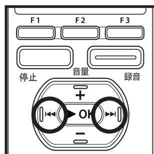
ご購入後初めてお使いになるときや、電池交換などで 15 分以上電池を抜いた後に電源を入れると、[時計を設定してください]と表示されます。「時」表示が点滅したら、手順 1 から設定を行ってください。



この設定では音声コントロール機能が使えます (☞ P.127)。

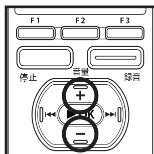
1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

・「時」「分」「年」「月」「日」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。





2 ＋または−ボタンを押して設定する





・以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋または−ボタンを押して設定します。
・時、分の設定中、F2 **(24 時)** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 20 分の場合

PM　10時20分 ←→ 22時20分
（初期設定）

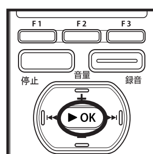
・年、月、日の設定中､F2 **(月 / 日 / 年)** ボタンを押すたびに［年］［月］［日］表示の順序が切り替わります。

例：2010 年 4 月 15 日の場合

2010年4月15日 → 4月15日2010年 → 15日4月2010年 → 2010年4月15日
（初期設定）

3 ▶OK ボタンを押して設定する

・設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて ▶OK ボタンを押してください。





ご注意

- 設定の途中に ▶OK ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 設定後、[**音声ガイドが必要ない場合は、Off を選択してください**] とアナウンスが流れ、[**音声ガイド**] 設定（☞ P.88）に移行します。音声ガイドが不要なときは、[**Off**] を選択してください。

日付・時刻をかえるには

現在日時が合っていない場合、下記の手順で設定してください。

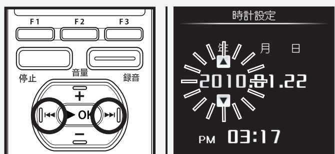
この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127)。

❶ **［メニュー］の［システム設定］で［時計設定］を選ぶ。**

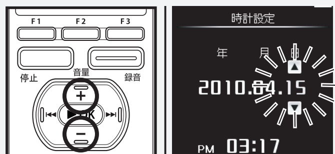
・ メニュー設定への入り方は**「メニュー設定のしかた」**（☞ P.64）をご覧ください。

❷ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ。**

・「時」「分」「年」「月」「日」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

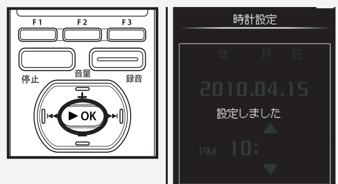


❸ **＋または－ボタンを押して設定する。**



・ 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定します。

❹ **日付・時刻を設定したら、▶OK ボタンを押す。**

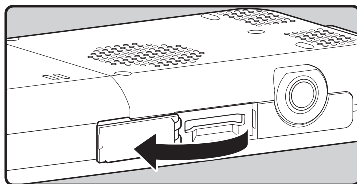


microSD カードを入れる／取り出す

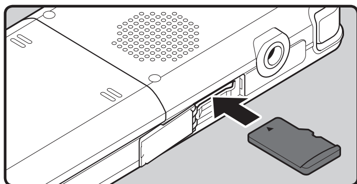
取扱説明書に記述されている「microSD」とは microSD と microSDHC の両方をさします。本機では、内蔵メモリのほかに市販の microSD カードをご使用になれます。

microSD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける

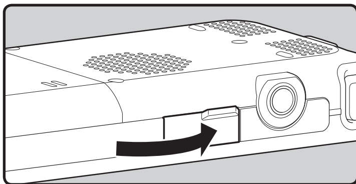


2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる



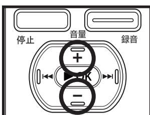
- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。
- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- microSD カードが奥まで挿入されていないと、microSD カードに記録できません。

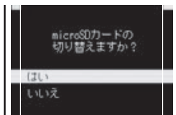
3 カードカバーを閉じる



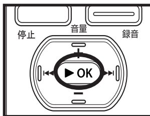
- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

4 microSD カードに記録する場合、＋または－ボタンを押して、［はい］を選ぶ





5 ▶OK ボタンを押して、設定を完了する



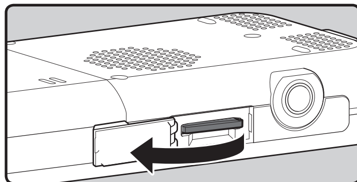


ご注意

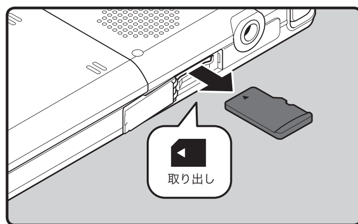
- 記録メディアを内蔵メモリへ切り替えることもできます（☞ P.99）。
- パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機でフォーマットしてください（☞ P.103）。

microSD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける



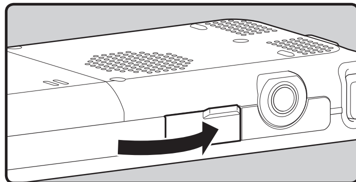
2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのまゆっくり戻す



- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- ［**メモリ選択**］を［**microSD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切り替えました**］と表示されます。



3 カードカバーを閉じる



ご注意

- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カードの製造メーカーや種類によっては本機との相性により正しく認識しないことがあります。
- ご利用の際は、必ず microSD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読み下さい。
- microSD カードが認識されない場合は、microSD カードを取り出してからもう 1 度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化しなおしてください(☞ P.103)。
- microSD カード全ての動作を保障するものではありません。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードについては、当社サポートホームページをご覧ください。
  http://olympus-imaging.jp/
  ホームページでは弊社が動作確認を行った microSD カードメーカーを紹介していますが､弊社がお客様に microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

フォルダについて

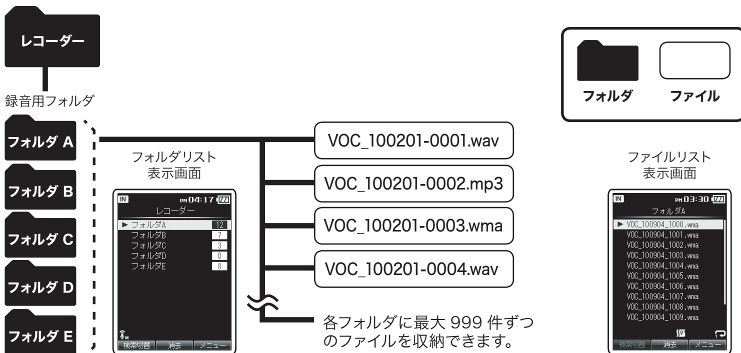
記録メディアは、内蔵メモリまたはmicroSD カードを使用できます。記録メディアにかかわらず音声ファイル、音楽ファイルやコンテンツファイルは、ツリー型に構成されたフォルダにそれぞれ振り分けて保存されます。

音声録音用フォルダについて

[**レコーダー**] フォルダ内の [**フォルダ A**] ~ [**フォルダ E**] は音声録音用フォルダです。本機で録音を行う場合、この 5 つのフォルダのいずれかを選んで行ってください。

ご注意

- [**レコーダー**] フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機では表示されません。



本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

VOC_ 100201- 0001 .wma

① ② ③ ④

① **ユーザー ID：**
本機に設定されたユーザー ID 名で、お使いのモデル名になります。
ユーザー ID は Olympus Sonority で変更できます。

② **録音した日付：**
録音した日付を 6 桁の数字であらわします。
例：2010 年 2 月 1 日の場合、100201

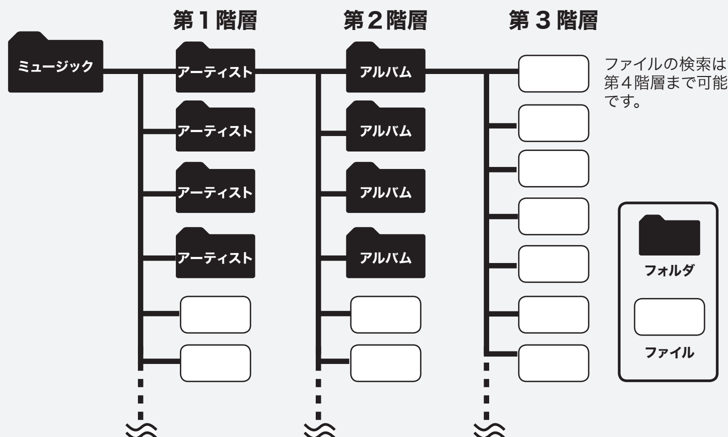
③ **ファイル番号：**
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続してつけられます。

④ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- リニア PCM 形式 .wav
- MP3 形式 .mp3
- WMA 形式 .wma

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使って音楽ファイルを本機に転送すると、［**ミュージック**］フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。

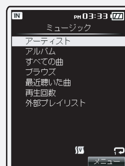
フォルダ構成イメージ



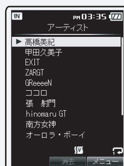
・［**ミュージック**］フォルダ内の各フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
・［**ミュージック**］フォルダ内に転送できる曲数は最大 6000 曲です。
・［**ミュージック**］フォルダ内に転送できるプレイリストは最大 100 件です。

画面表示例

ファイル検索
表示画面



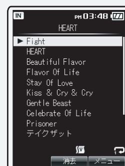
アーティストリスト
表示画面



アルバムリスト
表示画面



ファイルリスト
表示画面



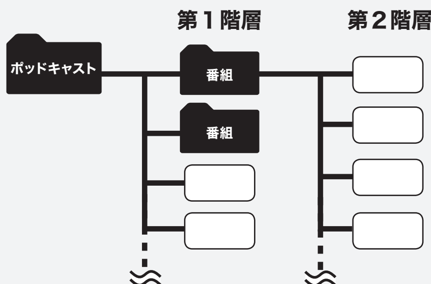
ポッドキャスト再生用フォルダについて

ポッドキャスト配信されたファイルを保存する［**ポッドキャスト**］フォルダがあらかじめ用意されています。Olympus Sonority から本機に転送した番組（ファイル）を聴けます。

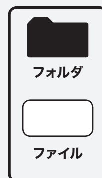
本機の停止中に［**ホーム**］画面の［**ポッドキャスト**］* フォルダを開くと、フォルダ内に記録されているファイルとフォルダがリスト表示されます。「ポッドキャスト」については ☞ P.149 をご覧ください。

* ［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには［**アクセシビリティ**］の設定を［**Off**］に設定してください（☞ P.93）。

フォルダ構成イメージ



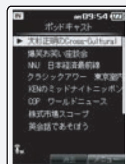
ファイルの検索は第４階層まで可能です。



- ［**ポッドキャスト**］フォルダ内の各フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
- ［**ポッドキャスト**］フォルダ内に転送できるファイルは最大 6000 件です。

画面表示例

番組リスト
表示画面



ファイルリスト
表示画面



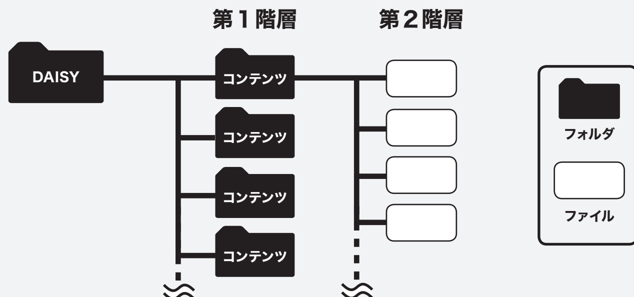
ファイル
表示画面



電子図書コンテンツ・テキストファイル再生用フォルダについて

DAISY やオーディオブックといった電子図書ファイルを保存するフォルダがあらかじめ用意されています。本機に転送した電子図書（ファイル）を聴けます。また、本機に取り込んだテキストデータを管理するフォルダも用意されています。
「**DAISY**」については ☞ P.154 を、「**オーディオブック**」* については ☞ P.179 を、[**テキストスピーチ**」については ☞ P.180 をご覧ください。
* ［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには［**アクセシビリティ**］の設定を［**Off**］に設定してください（☞ P.93）。

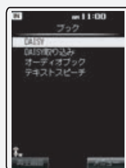
フォルダ構成イメージ



・［**DAISY**］フォルダ内の各フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
・［**DAISY**］フォルダ内に転送できるコンテンツは最大 100 件です。

画面表示例

ブックリスト表示画面



コンテンツリスト表示画面



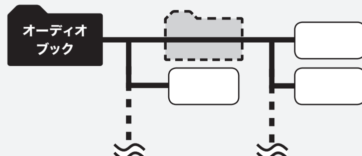
ファイルリスト表示画面



ファイル表示画面



フォルダ構成イメージ

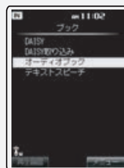


フォルダ　ファイル

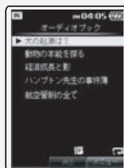
- ［**オーディオブック**］フォルダ内の各フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
- ［**オーディオブック**］フォルダ内に転送できるコンテンツは最大 1000 件です。
- ［**オーディオブック**］フォルダでは転送された全てのコンテンツファイルがリスト表示されます。

画面表示例

ブックリスト表示画面



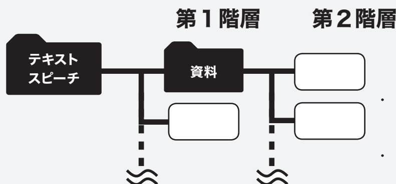
コンテンツリスト表示画面



ファイル表示画面



フォルダ構成イメージ

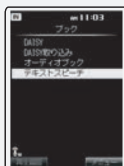


フォルダ　ファイル

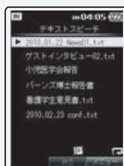
- ［**テキストスピーチ**］フォルダ内の各フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
- ［**テキストスピーチ**］フォルダ内に転送できるファイルは最大 1000 件です。

画面表示例

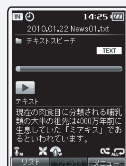
ブックリスト表示画面



コンテンツリスト表示画面



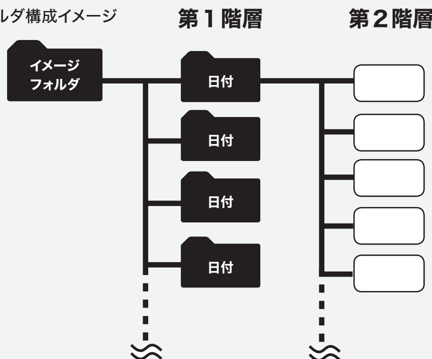
ファイル表示画面



ピクチャー再生用フォルダについて *

本機をデジタルカメラに接続し、取り込んだ画像を保存するフォルダがあらかじめ用意されています。本機内の［**イメージフォルダ**］に撮影した日付ごとにフォルダ管理されます。
「ピクチャー」については ☞ P.123 をご覧ください。

* ［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには［**アクセシビリティ**］の設定を［**Off**］に設定してください（☞ P.93）。



・ 各フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
・ 本機での画像ファイルの再生は、サムネイル画像の表示のみです。

画面表示例

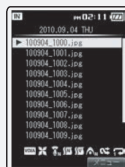
フォルダ表示画面



フォルダリスト表示画面



ファイルリスト表示画面



ファイル表示画面



録音する

録音に関する設定

録音環境に合わせて録音に関するさまざまな設定ができます (☞ P.69 ～ P.79)。

[録音設定] の設定項目 :

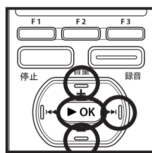
[**マイク感度**] (☞ P.69)	内蔵ステレオマイクの感度を設定します。
[**録音モード**] (☞ P.69)	録音形式ごとに録音レートを設定できます。
[**録音レベル**] (☞ P.70)	録音レベルを設定できます。
[**指向性マイク**] (☞ P.71)	内蔵ステレオマイクの指向性を設定できます。
[**ローカットフィルタ**] (☞ P.72)	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
[**VCVA**] (☞ P.72)	音声起動録音 (VCVA) の起動レベルを設定できます。
[**録音シーン**] (☞ P.74)	録音する場面や状況にあわせた録音設定を保存できます。
[**タイマー録音**] (☞ P.75)	タイマー録音を設定できます。
[**フォルダ名**] (☞ P.78)	テンプレートにあらかじめ登録されている名前に変更できます。

・ 録音した音源は、1 回の録音ごとに自動的にファイル名がつけられ保存されます (☞ P.33)。
・ 録音した音源には、ファイルを管理しやすくするために、キーワードをつけられます (☞ P.94)。

録音用フォルダに録音する

録音を始める前に [**ホーム**] 画面の [**レコーダー**] フォルダ内から [**フォルダ A**] ～ [**フォルダ E**] の音声録音用フォルダを選んでください。[**フォルダ A**] フォルダはプライベート用、[**フォルダ B**] フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

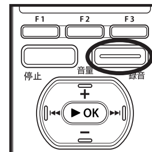
1 録音するフォルダを選ぶ

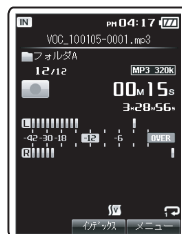




2 録音ボタンを押して、録音を開始する

- LED 表示ランプが橙色に点灯し、ディスプレイに [ ] が表示されます。
- 録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。





3 **停止**ボタンを押して、録音を止める

- ディスプレイに［■］が表示されます。

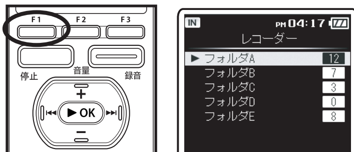


ⓐ ファイルの長さ

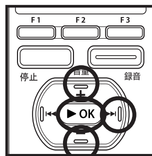
キーワードを指定して録音する

録音を始める前にあらかじめ録音する内容のキーワードを指定して録音できます。
録音する内容によってキーワードを使い分けると便利です。

1 フォルダリスト表示画面で、F1（**検索切替**）ボタンを押してキーワード検索画面を表示させる（☞ P.52）



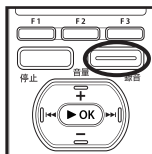
2 **+**または**−**ボタンを押して指定したいキーワードを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す



IN PM01:38
レコーダー
▶ キーワードなし 12
車 7
電車 3
飛行機 0
仕事 8
取材 0
出張 0
会議 0
講演 0

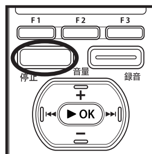
- 指定したキーワードのファイルがリスト表示されます。

3 **録音**ボタンを押して、録音を開始する



フォルダA
12/12
MP3 320K
00M15S
3H28M56S
-42 -30 -18 -12 -6 OVER

4 **停止**ボタンを押して、録音を止める





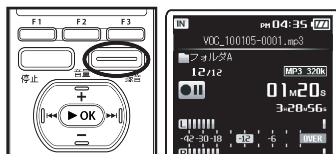
- 録音したファイルには、自動的に指定したキーワードがつけられ、キーワードリストで管理されます。
- 録音したファイルは [**フォルダ A**] 内に保存されます。[**フォルダA**] がいっぱいの場合は、[**フォルダB**] に保存されます。

録音に関するご注意

- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.99）。
- レコーダー機能以外で**録音**ボタンを押すと、［**レコーダーフォルダで録音してください**］が表示されます。改めて録音用フォルダを選んでから録音を始めてください。
- 頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、LED 表示ランプが点滅を始め、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.59）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.59）。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.103）。

一時停止するには

録音中に**録音**ボタンを押す



- ディスプレイに［●II］が表示されます。
- 録音一時停止のまま2時間以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

録音ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすぐに確認するには

録音中に▶OK ボタンを押す



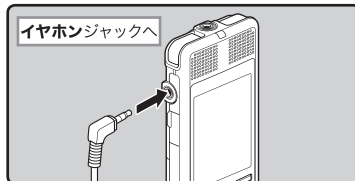
- ディスプレイに［▶］が表示されます。
- 今録音した内容が再生されます。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

イヤホンを本機の**イヤホン**ジャックに差し込むと、録音中の音声を聞けます。録音モニターの音量は **+** または **−** ボタンを使って調節できます。

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する

- 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞けます。



ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

録音状況ごとの推奨設定（めやす）

ご購入後すぐに高音質ステレオ録音ができるように［**ステレオ XQ**］モードが設定されています。録音状況に応じて、録音モードに関する各種機能を詳細に設定できます。
下記の表は録音環境を例にした録音設定のめやすです。

録音状況	推奨設定			
	［録音モード］（☞ P.69）	［マイク感度］（☞ P.69）	［ローカットフィルタ］（☞ P.72）	［指向性マイク］（☞ P.71）
大人数での会議、広い教室での録音	［PCM］：［44.1kHz］ ［WMA］：［ステレオ XQ］ ［MP3］：［320kbps］	［高］	［On］	［Wide］
少人数での会議、打ち合わせ、商談などの録音	［WMA］：［ステレオ XQ］ ［WMA］：［ステレオ HQ］ ［MP3］：［256kbps］ ［MP3］：［192kbps］	［中］		［Wide］
ノイズが多い中での口述録音	［HQ］	［低］		［Off］
楽器演奏、野鳥の声、鉄道の音などの録音	［PCM］：［48kHz］ ［PCM］：［44.1kHz］	録音する状況に合わせて、マイク感度を設定してください。	［Off］	［Off］
静かな環境での口述録音	どのような設定でもお使いいただけます。 お好みの設定で録音してください。			

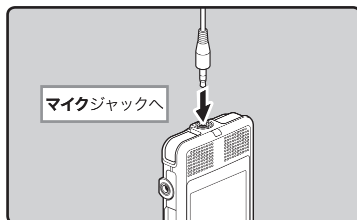
2 録音する

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。
本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

外部マイクで録音する：

本機のマイクジャックに外部マイクを接続する



ご使用いただける外部マイク（別売）

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W
プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31
野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性ガンマイク。金属切削ボディの採用により､高い本体剛性を実現しました。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

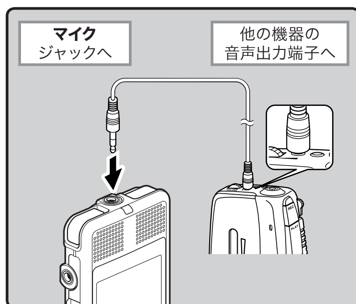
モノラルテレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

ご注意

- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- ［**録音モード**］をステレオ形式に設定した場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.69）。

他の機器の音声を本機で録音する：

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

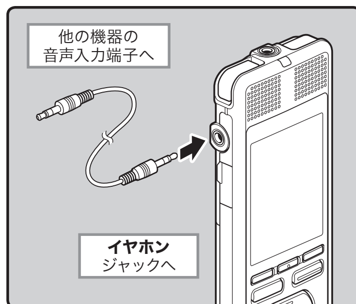


ご注意

- 本機で録音レベルの調整（☞ P.70）をしてもきれいに録音できない場合、接続した外部機器の出力レベルの過多／過少が考えられます。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する：

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。



ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します（☞ P.80）。

再生する

本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送した WAV、MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

再生に関する設定

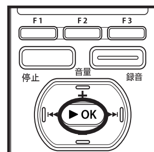
ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせて選べます (☞ P.80 ～ P.85)。

［再生設定］の設定項目：

［**ノイズキャンセル**］(☞ P.80)	録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。
［**EUPHONY**］(☞ P.80)	お好みに合わせ、4 段階にレベル調整できます。
［**音声フィルタ**］(☞ P.81)	低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。
［**リピート**］(☞ P.81)	お好みのリピート再生を設定できます。
［**ランダム**］(☞ P.82)	検索して選択されたファイルをランダムに再生します。
［**再生スピード**］(☞ P.82)	必要に応じて再生スピードを切り替えられます。
［**スキップ間隔**］(☞ P.84)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。
［**再生シーン**］(☞ P.85)	音質や再生方法にあわせて、お好みの再生設定を保存できます。

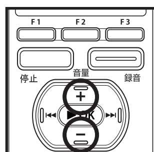
1 **再生したいファイルを選び、▶OK ボタンを押して再生を開始する（☞ P.52 ～ P.58）**

- ディスプレイに［▶］が表示されます。





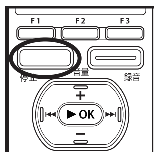
2 **＋または－ボタンを押して、聞きやすい音量にする**





- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

3 **停止ボタンを押して再生を停止する**





- ディスプレイに［■］が表示されます。
- 再生しているファイルの途中で停止します。

- ［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは､レジューム機能が働き、電源を切っても再生していたファイルおよび停止位置を記憶しています（☞ P.93）。次回から記憶したファイルのファイル表示画面になります。

早送りをするには

停止中に、▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。▶OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、その位置でいったん停止します (☞ P.50)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

停止中に、I◀◀ ボタンを押し続ける

- I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。▶OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

- I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、その位置でいったん停止します (☞ P.50)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ ボタンを押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

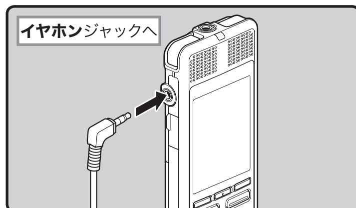
ご注意

- 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、その位置でいったん停止します。ただし、停止中に頭出しをした場合、インデックスマークの位置は飛び越されます（☞ P.50）。
- 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイルスキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します（☞ P.84）。

イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。



ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz、48 kHz	16 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- 本機は Microsoft Corporation の DRM には未対応です。

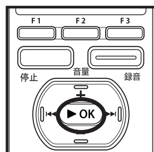
2 再生する

プレイバックポジション再生について

本機は［**ポッドキャスト**］［**ブック**］（DAISY、オーディオブック、テキストスピーチ）フォルダに転送されたファイルに対して、最後に再生を停止した位置を自動的に記憶するプレイバックポジションモードを搭載しています。お聞きのファイルの途中で停止しても、最後の停止位置をファイル上で記憶するため、次に続けて聞くときは、最後に停止した位置から再生できます。

1 ［ポッドキャスト］または［ブック］（DAISY、オーディオブック、テキストスピーチ）フォルダ内から聞きたいファイルを選ぶ

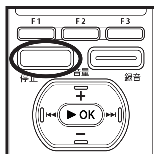
2 ►OK ボタンを押して再生を開始する





・ディスプレイに［►］が表示されます。前に一度再生したことのあるファイルを再生すると、最後に停止した位置から再生します。

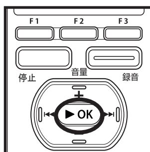
3 停止ボタンを押して再生を停止する





・再生していたファイルの途中で停止します。停止した位置をプレイバックポジションとしてファイル上で記憶します。この状態で別のファイルを選んだり、他のフォルダに移動したり、本機の電源を切ったりした場合でも、次に同じファイルを再生すると最後に記憶されている位置から再生を開始します。

4 途中まで聞いたコンテンツファイルの続きを再生する





・►OK ボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

ご注意

- DAISY ファイルの場合、停止したセンテンスの先頭から再生が再開されます。

早送りをするには

停止中に ►►I ボタンを押し続ける

- ボタンから手を離すと停止します。プレイバックポジションは更新され、►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ►►I ボタンを押し続ける

- ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマーク（☞ P.50）やプレイバックポジションがついているときは、その位置でいったん停止します。

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

DAISY ファイル、テキストファイルの場合、早送りは機能しません。

早戻しをするには

停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける

- ボタンから手を離すと停止します。プレイバックポジションは更新され、▶OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

- ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマーク（☞ P.50）やプレイバックポジションがついているときは、その位置でいったん停止します。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
- 先頭ファイルの開始位置で停止中に I◀◀ ボタンを押し続けると、最終ファイルの終わりから早戻しを行います。

DAISY ファイル、テキストファイルの場合、早戻しは機能しません。

ファイルの頭出しをするには

再生中、遅聞き、早聞き中に ▶▶I ボタンを押す

- 次のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に I◀◀ ボタンを押す

- 再生中のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。
- ファイルの途中にインデックスマーク（☞ P.50）がついているときは、その位置から再生します。
- [**スキップ間隔**] が [**ファイルスキップ**] 以外に設定されている場合（☞ P.84）、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を始めます。

DAISY ファイルの場合は、[**ブック設定**]（DAISY 設定）の [**スキップモード**] で設定したスキップ間隔で移動します（☞ P.106）。

テキストファイルの場合、ファイルの頭出しは機能しません。

ファイルをスキップするには

停止中に ▶▶I ボタンを押す

- 次のファイルのプレイバックポジションへスキップします。

ファイルの先頭で停止中に I◀◀ ボタンを押す

- 前のファイルのプレイバックポジションへスキップします。

ファイルの途中で停止中に I◀◀ ボタンを押す

- そのファイルの先頭へスキップします。

DAISY ファイルの場合は、[**ブック設定**]（DAISY 設定）の [**スキップモード**] で設定したスキップ間隔で移動します（☞ P.106）。

テキストファイルの場合、文節単位でスキップします。

ご注意

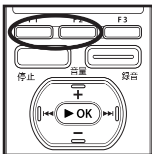
- ファイルを本機で削除した場合は、プレイバックポジション情報も同時に削除されます。

インデックスマークをつける

インデックスマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。

> **!** Fn（F1 **または** F2）**ボタンを [インデックス] に割り当てている場合に操作できます (☞ P.99)。**

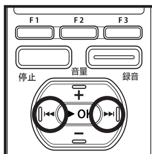
1 ファイルを録音中、録音一時停止中、再生中または停止中に Fn（**インデックス**）ボタンを押す





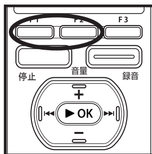
・ 画面に番号と記録位置が表示されインデックスマークがつきます。
・ インデックスマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスマークをつけられます。

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押してインデックスマークを選ぶ





3 ディスプレイにインデックス番号が表示中（約 2 秒間）に Fn（**消去**）ボタンを押す





・ インデックスマークが消去されます。
・ 消去したインデックス以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

インデックスマークを消去する

> **!** Fn（F1 **または** F2）**ボタンを [消去] に割り当てている場合に操作できます (☞ P.99)。**

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

ご注意

- インデックスマークは 1 つのファイル内に最大で 16 件までつけられます。16 件を超えてインデックスマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロック（☞ P.94）をかけてあるファイルは、インデックスマークをつけたり消去はできません。

部分リピート再生のしかた（A-B）

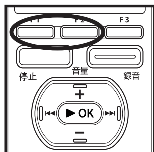
再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。

> **!** Fn（F1 または F2）ボタンを「A - B」に割り当てている場合に操作できます（☞ P.99）。

1 部分リピート再生したいファイルを選び、▶OK ボタンを押して再生を開始する（☞ P.52 〜 P.58）

2 部分リピート再生の開始位置で、Fn（A - B）ボタンを押す

- ［A］表示が点滅します。
- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P.82）や、早送り・早戻し（☞ P.46）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］表示の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

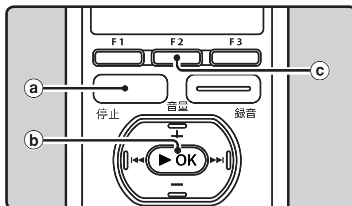




3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 Fn（A - B）ボタンを押す

- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

部分リピート再生を解除する



下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **停止または ▶OK ボタンを押す。**

- 部分リピート再生が解除され、再生も停止します。

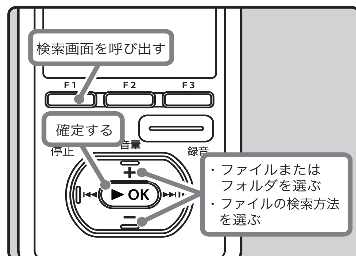
ⓑ **Fn（キャンセル）ボタンを押す。**

- 部分リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

ファイル検索

本機では、録音したファイルやパソコンから取り込んだ音楽ファイルをデータベースで管理し、日付、キーワードなどを自動的に分類し、ファイルを探しやすくしています。

[レコーダー] フォルダからファイル検索画面を呼び出す



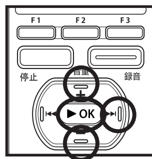
ファイル検索の種類：

[**ブラウズ**] **検索**（☞ P.53）	[**フォルダ A**] から [**フォルダ E**] の階層に沿って、ファイルを絞り込みます。
[**日付**] **検索**（☞ P.54）	ファイルの録音された日付で絞り込みます。
[**キーワード**] **検索**（☞ P.54）	ファイルに付けたキーワードで絞り込みます。

1 **[ホーム]** 画面から **[レコーダー]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押してフォルダリスト表示画面に入る

[アクセシビリティ]（☞ P.93）の設定が [On] に設定されているとき：

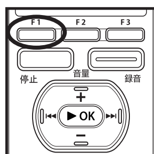
① [**ホーム**] 画面から [**レコーダー**] を選び ▶**OK** または ▶▶I ボタンを押す。
② **F3(メニュー)** ボタンを押してメニューを表示させる。
③ **+**または**−**ボタンを押して [**リスト**] を選び ▶**OK** ボタンを押す。
④ I◀◀ ボタンを押す。
・ひとつ上の階層に戻ります。

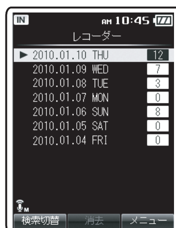




2 F1（**検索切替**）ボタンを押してファイル検索画面を表示させる

- F1（**検索切替**）ボタンを押すたびに、検索画面が切り替わります。





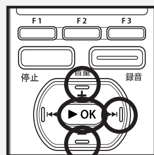
ファイル検索の種類を選び、引き続き「**[レコーダー] フォルダのファイル検索画面の操作**」にお進みください。

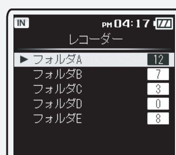
[レコーダー] フォルダのファイル検索画面の操作

[ブラウズ] 検索で絞り込む場合

本機で録音したファイルをフォルダ指定して絞り込みます。

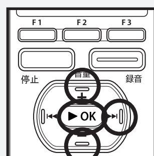
1 **+または−ボタンを押してフォルダを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

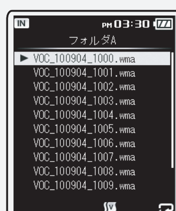




- フォルダ内のファイルがリスト表示されます。

2 **+または−ボタンを押してファイルを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



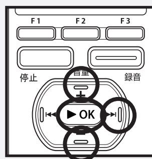


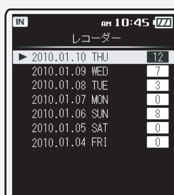
- ▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[日付] 検索で絞り込む場合

録音した日付を指定して絞り込みます。最後に録音した日付にカーソルが表示されます。カーソルを録音した日付に移動させてください。

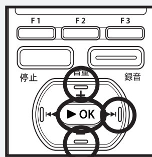
❶ **+または−ボタンを押して録音した日付を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

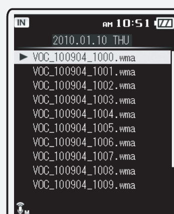




・指定した日付のファイルがリスト表示されます。

❷ **+または−ボタンを押してファイルを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



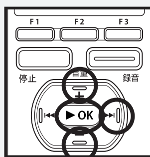


・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[キーワード] 検索で絞り込む場合

本機で録音したファイルに付けたキーワードを指定して絞り込みます。本機で録音したファイルの内容からお好みのキーワードを登録し、ファイルを管理できます（☞ P.94）。

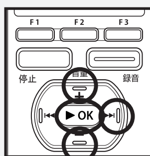
❶ **+または−ボタンを押してキーワードを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

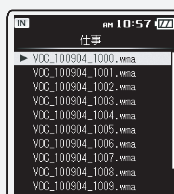




・指定したキーワードのファイルがリスト表示されます。

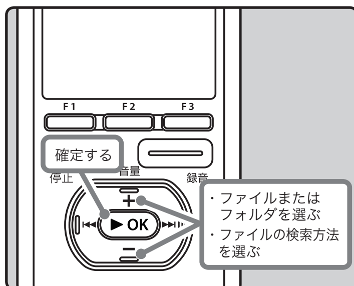
❷ **+または−ボタンを押してファイルを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**





・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[ミュージック] フォルダから ファイル検索画面を呼び出す



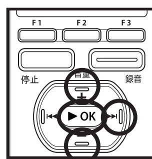
ファイル検索の種類：

[**アーティスト**] **検索** (☞ P.56)	アーティストをリスト表示して絞り込みます。
[**アルバム**] **検索** (☞ P.56)	アルバム名をリスト表示して絞り込みます。
[**すべての曲**] **検索** (☞ P.57)	全ての曲をリスト表示して絞り込みます。
[**ブラウズ**] **検索** (☞ P.57)	[**ミュージック**] フォルダ内にある全ての曲やアルバムをリスト表示します。
[**最近聴いた曲**] **検索** (☞ P.57)	本機で再生した日付が新しい順にファイルを並べ替えてファイルをリスト表示します。
[**再生回数**] **検索** (☞ P.57)	本機で再生した回数の多いファイルを並べ替えてファイルをリスト表示します。
[**外部プレイリスト**] **検索** (☞ P.58)	本機に転送したプレイリストを表示します。

1 [**ホーム**] 画面から [**ミュージック**] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押して検索画面に入る

[アクセシビリティ] (☞ P.93) の設定が [On] に設定されているとき：

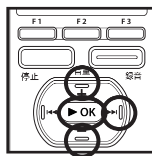
① [**ホーム**] 画面から [**ミュージック**] を選び ▶**OK** または ▶▶I ボタンを押す。
② **F3(メニュー)** ボタンを押して メニューを表示させる。
③ **+**または**−**ボタンを押して [**リスト**] を選び ▶**OK** ボタンを押す。
④ 検索画面になるまで I◀◀ ボタンを数回押す。

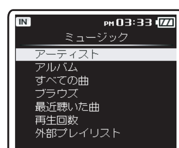




2 **+**または**−**ボタンを押してファイル検索の種類を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す

・ 検索の途中で間違えた場合、I◀◀ ボタンを押すと前の画面に戻ります。





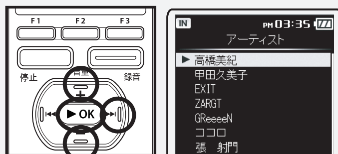
ファイル検索の種類を選び、引き続き「**[ミュージック] フォルダのファイル検索画面の操作**」にお進みください。

[ミュージック]フォルダのファイル検索画面の操作

[アーティスト]検索で絞り込む場合

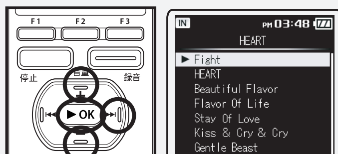
アーティストを指定して曲を絞り込みます。

❶ +または−ボタンを押してアーティストを選び、►OK または ►►I ボタンを押す。



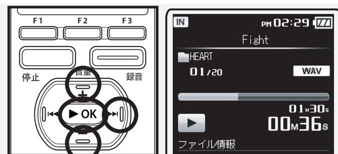
・選んだアーティストのアルバムや曲がリスト表示されます。

❷ +または−ボタンを押してアルバムまたは曲を選び、► OK または ►►I ボタンを押す。



・曲を選んだ場合は再生が開始されます。
・アルバムを選んだ場合は曲がリスト表示されます。

❸ +または−ボタンを押して曲を選び、► OK または ►►I ボタンを押す。

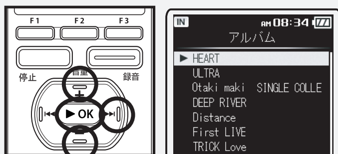


・►OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[アルバム]検索で絞り込む場合

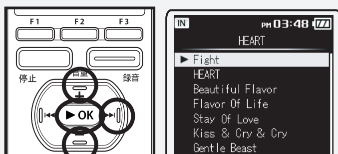
アルバム名を指定して絞り込みます。

❶ +または−ボタンを押してアルバムを選び、►OK または ►►I ボタンを押す。



・アルバム内の曲がリスト表示されます。

❷ +または−ボタンを押して曲を選び、► OK または ►►I ボタンを押す。

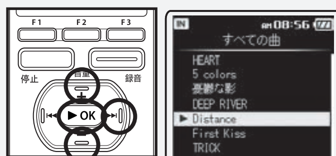


・►OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[すべての曲] 検索で選択する場合

すべての曲をリスト表示して絞り込みます。

1 ＋または－ボタンを押して曲を選び、▶OK または ▶▶| ボタンを押す。

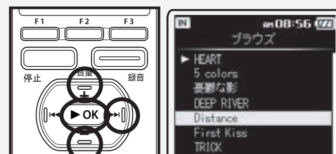


・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[ブラウズ] 検索で絞り込む場合

[**ミュージック**] フォルダ内にある全てのファイルとフォルダをリスト表示して直接絞り込みます。

1 ＋または－ボタンを押して曲またはアーティストを選び、▶OK または ▶▶| ボタンを押す。

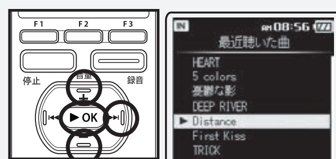


・アーティストを選んだ場合は、フォルダ内の曲がリスト表示されます。＋または－ボタンを押して曲を選び、▶OK または ▶▶| ボタンを押します。
・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[最近聴いた曲] 検索で絞り込む場合

最近再生したファイルを日付が新しい順に並べ替えてファイルをリスト表示します。

1 ＋または－ボタンを押して曲を選び、▶OK または ▶▶| ボタンを押す。

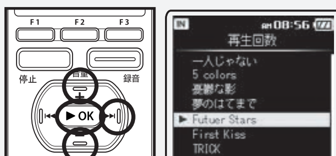


・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[再生回数] 検索で絞り込む場合

再生した回数の多いファイルを、日付が新しい順に並べ替えてファイルをリスト表示します。

1 ＋または－ボタンを押して曲を選び、▶OK または ▶▶| ボタンを押す。

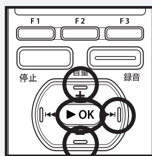


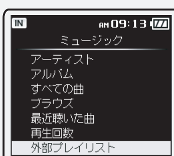
・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

[外部プレイリスト] 検索で絞り込む場合

プレイリストを表示して絞り込みます。プレイリストの取り込みについては、☞ P.168 をご覧ください。

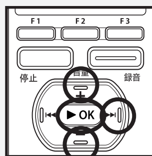
❶ **＋または－ボタンを押して [外部プレイリスト] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

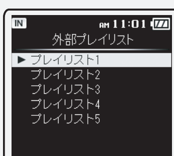




・プレイリスト一覧がリスト表示されます。

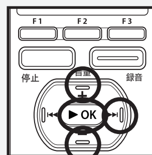
❷ **＋または－ボタンを押してプレイリストを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

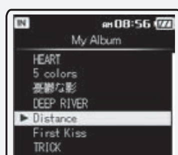




・プレイリスト内のファイルがリスト表示されます。

❸ **＋または－ボタンを押して曲を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**





・▶OK ボタンを押すとファイルの再生が開始されます。

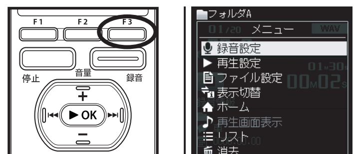
消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

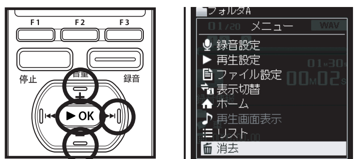
ファイル表示画面で消去する

1 ファイルの表示中に F3(メニュー) ボタンを押す

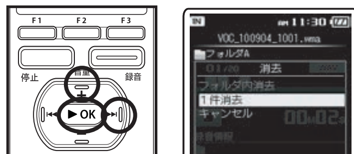
- 再生中は消去できません。
- ポップアップメニュー画面に入ります。



2 ＋または－ボタンを押して [消去] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す

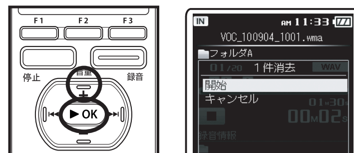


3 ＋ボタンを押して［1 件消去］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す

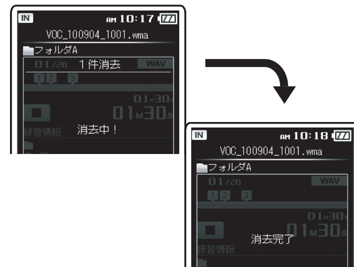


- 消去確認画面が表示されます。

4 ＋ボタンを押して［開始］を選び、▶OK ボタンを押す



- ディスプレイが [**消去中！**] にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。



2
消去する

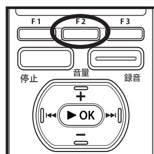
ファイルリスト表示画面で消去する

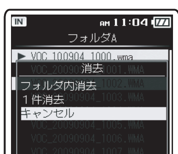
1 ファイルリスト表示画面から消去するファイルを選ぶ



2 ファイルリスト表示画面で停止中に F2 **(消去)** ボタンを押す

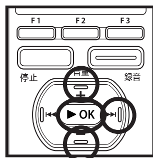
- ポップアップ画面に入ります。





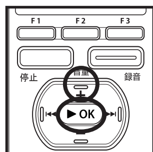
3 **+**または**−**ボタンを押して [**1件消去**] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す

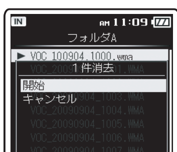
- 消去確認画面が表示されます。



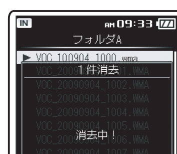


4 **+**ボタンを押して［**開始**］を選び、▶OK ボタンを押す





- ディスプレイが [**消去中！**] にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。







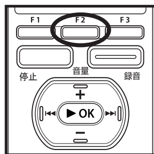
フォルダ内のファイルをすべて消去する

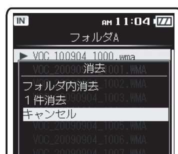
1 フォルダリスト表示画面から消去するフォルダを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す
(☞ P.52 ～ P.58)



2 ファイルリスト表示画面で停止中に F2 **(消去)** ボタンを押す

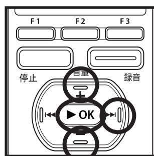
・ ポップアップ画面に入ります。

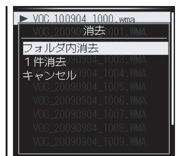




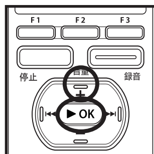
3 **＋**または**－**ボタンを押して **[フォルダ内消去]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す

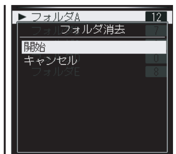
・ 消去確認画面が表示されます。



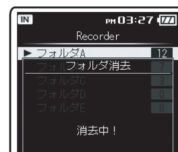


4 **＋**ボタンを押して［**開始**］を選び、▶OK ボタンを押す





・ ディスプレイが [**消去中！**] にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。





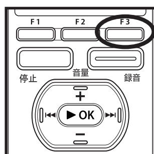
フォルダを消去する

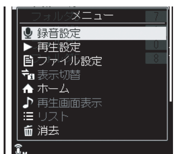
1 フォルダリスト表示画面から消去するフォルダを選ぶ
(☞ P.52 ～ P.58)



2 フォルダリスト表示画面で F3 **(消去)** ボタンを押す

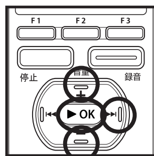
・ ポップアップメニュー画面に入ります。





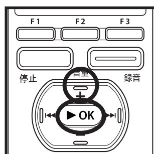
3 **+**または**−**ボタンを押して [🗑**消去**] を選び、▶OK または ▶▶| ボタンを押す

・ 消去確認画面が表示されます。



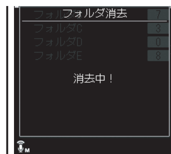


4 **+**ボタンを押して［**開始**］を選び、▶OK ボタンを押す





・ ディスプレイが [**消去中！**] にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。





ファイルを部分消去する

ファイルの不要な部分を消去できます。部分消去できるファイルは本機で作成した PCM 形式のみです。

> **!** Fn（F1 **または** F2）**ボタンを［消去］に割り当てている場合に操作できます（☞ P.99）。**

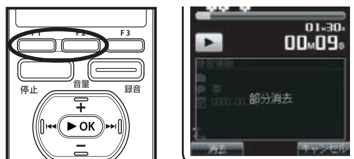
1 部分消去したいファイルを再生する

・ 消去したい位置までファイルを進めます。ファイルが長い場合は、▶▶| ボタンを使って部分消去したい位置まで進めます。

2
消去する

2 部分消去の開始位置で、Fn（消去）ボタンを押す

・ ディスプレイの［**部分消去**］が点滅します。



3 部分消去を終了したい位置で、もう一度 Fn（消去）ボタンを押す

・ ディスプレイの［**消去開始位置**］と［**消去終了位置**］が交互に点滅します。点滅中も再生は続き、通常の再生中と同じように早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進められます。表示の点滅中にファイルが終わりまで到達した場合は、そこが消去終了位置になります。



4 もう一度 Fn（消去）ボタンを押す

・ ディスプレイが［**部分消去中！**］にかわり、部分消去を開始します。［**部分消去しました**］と表示されたら終了です。
・ 部分消去完了位置で再生が停止します。

消去に関するご注意

・ WMA 形式や MP3 形式で録音されたファイルは部分消去機能が使えません。
・ 部分消去を行ってもファイルの作成日時は変わりません。
・ 一度消去したファイルは元に戻せません。本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが [**内蔵メモリ**] または [**microSD カード**] のどちらか間違えないよう必ず確認してください。
・ ファイルロック（☞ P.94）設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません。
・ 選択画面で 8 秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
・ データが破損するおそれがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。また、処理中に電池が切れることのないように、電池残量を十分に確認してください。
① 処理中に AC アダプタを抜く。
② 処理中に電池を取り外す。
③ 記録メディアが［**microSD カード**］の場合、処理中に microSD カードを取り外す。
・ [**レコーダー**] フォルダ（A ～ E）および [**ミュージック**]、[**ポッドキャスト**]、[**ブック**](DAISY、オーディオブック、テキストスピーチ) フォルダは消去できません。
・ 本機で認識できないファイルがある場合は、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去されません。パソコンに接続して消去してください。

設定機能を使う

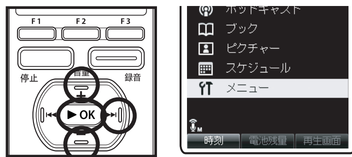
メニュー設定のしかた

本機に関するさまざまな機能設定ができます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

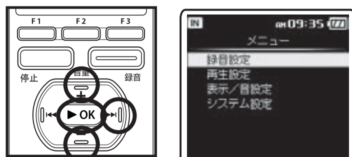
[ホーム]画面の[メニュー]から設定を行う

[**ホーム**] 画面でのメニュー設定では、[**録音設定**]、[**再生設定**]、[**表示 / 音設定**] や [**システム設定**] が行えます。録音や再生をする前にあらかじめ本機の各設定を行えます。

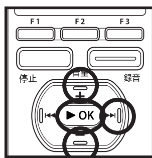
1 **[ホーム] 画面から [メニュー] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押してメニュー項目画面に入る**

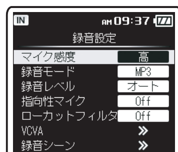


2 **＋または－ボタンを押してメニュー項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す**



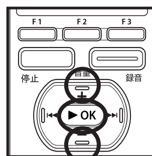
3 **＋または－ボタンを押して設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す**

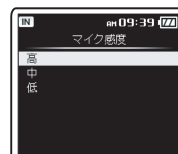




・ 選択した項目の設定に移動します。
・ 設定の途中で間違えた場合、I◀◀ または F1**(戻る)** ボタンを押すと前の画面に戻ります。

4 **＋または－ボタンを押して、設定を変更し、▶OK ボタンを押して、設定を完了する**





・ 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
・ メニュー項目のリスト表示画面に戻ります。

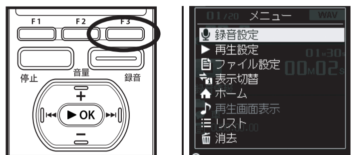
5 **F3(ホーム) ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

録音、再生、停止中にメニューの設定を行う

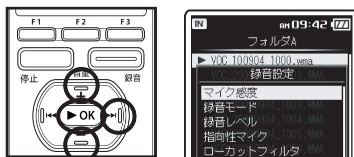
本機が動作中でもメニューの設定を行うことができます。動作中でのメニュー設定では、[**録音設定**]、[**再生設定**] のほかに、ファイルの管理に関する [**ファイル設定**] が行えます。

1 録音中、再生中、一時停止中または停止中に F3 **(メニュー)** ボタンを押す

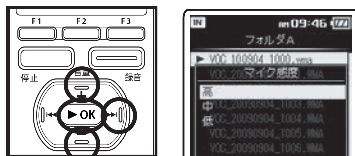
・ ポップアップメニュー画面に入ります。



2 ＋または－ボタンを押してメニュー項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す

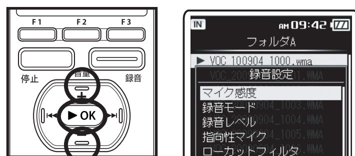


3 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す



・ 選択した項目の設定に移動します。
・ 設定の途中で間違えた場合、I◀◀ または F1**(戻る)** ボタンを押すと前の画面に戻ります。

4 ＋または－ボタンを押して、設定を変更し、▶OK ボタンを押して、設定を完了する



・ メニュー項目のリスト表示画面に戻ります。

5 F3 **(閉じる)** ボタンを押して、メニュー画面を終了する

・ 録音または再生中にメニュー画面に入った場合、F3 **(閉じる)** ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

メニューの一覧

■ 録音に関するメニュー設定： の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
録音設定 (Rec Mode)	**マイク感度** (Mic Sense) ☞ P.69	［**高**］［**中**］［**低**］
	録音モード (Rec Mode) ☞ P.69	［**PCM**］［**MP3**］［**WMA**］録音形式ごとに録音レートを設定できます。
	録音レベル (Rec Level) ☞ P.70	［**マニュアル**］［**オート**］
	指向性マイク (Zoom Mic) ☞ P.71	［**Zoom**］［**Narrow**］［**Wide**］［**Off**］
	ローカットフィルタ (Low Cut Filter) ☞ P.72	［**On**］［**Off**］
	VCVA (VCVA) ☞ P.72	［**On/Off**］：［**On**］［**Off**］ ［**待機モニター**］：［**On**］［**Off**］
	録音シーン (Rec Scene) ☞ P.74	［**Off**］［**口述録音**］［**会議録音**］［**講義録音**］［**ユーザー設定 1**］～［**ユーザー設定 3**］から選べます。
	タイマー録音 (Timer Rec) ☞ P.75	［**予約 1**］から［**予約 3**］に［**タイマー録音**］の［**On/Off**］や、［**曜日**］、［**開始時刻**］、［**終了時刻**］、［**録音モード**］、［**マイク感度**］、［**メモリ選択**］、［**録音フォルダ**］、［**キーワード**］の設定ができます。
	フォルダ名 (Folder Name) ☞ P.78	あらかじめ用意したテンプレートの中からフォルダ名を選んで設定できます。

■ 再生に関するメニュー設定： の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 (Play Menu)	**ノイズキャンセル** (Noise Cancel) ☞ P.80	［**高**］［**低**］［**Off**］
	EUPHONY (EUPHONY) ☞ P.80	［**Power**］［**Wide**］［**Natural**］［**Off**］
	音声フィルタ (Voice Filter) ☞ P.81	［**On**］［**Off**］
	リピート (Repeat) ☞ P.81	［**1 ファイル**］［**リスト**］［**Off**］
	ランダム (Ramdom) ☞ P.82	［**On**］［**Off**］
	再生スピード (Play Speed) ☞ P.82	［**50%**］から［**600%**］ 初期設定は［**100%**］ ［**50%**］から［**200%**］：10%刻み ［**200%**］から［**400%**］：20%刻み ［**400%**］から［**600%**］：50%刻み
	スキップ間隔 (Skip Space) ☞ P.84	［**スキップ**］： ［**ファイルスキップ**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］ ［**逆スキップ**］： ［**ファイルスキップ**］［**1 秒**］～［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］
	再生シーン (Play Scene) ☞ P.85	［**Off**］［**ユーザー設定 1**］～［**ユーザー設定 5**］から選べます。

■ 表示や音に関するメニュー設定： の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
表示／音設定 (LCD/Sound Menu)	**バックライト** (Backlight) ☞ P.86	[**点灯時間**]：[**5 秒**][**10 秒**][**30 秒**][**1 分**][**常時点灯**] [**微灯時間**]：[**30 秒**][**1 分**][**2 分**][**5 分**][**常時微灯**] [**輝度設定**]：[**1**][**2**][**3**]
	LED (LED) ☞ P.87	[**On**][**Off**]
	ビープ音 (Beep) ☞ P.87	[**音量 5**][**音量 4**][**音量 3**][**音量 2**][**音量1**][**Off**]
	言語選択 (Language(Lang))☞ P.86	[**日本語**][**English**]
	音声ガイド (Voice Guide) ☞ P.88	[**メニューガイド**]：[**On**][**Off**] [**ファイルガイド**]：[**On**][**Off**] [**スピード**]：[**50%**] から [**600%**] 初期設定は [**100%**] [**音量**]：[**音量 5**][**音量 4**][**音量 3**][**音量 2**][**音量 1**]
	アラーム再生 (Alarm) ☞ P.89	[**予約 1**]～[**予約 3**]に[**アラーム再生**]の[**On/Off**]や、[**曜日**]、[**開始時刻**]、[**音量**]、[**アラーム音**]、[**再生ファイル**]の設定ができます。
	アクセシビリティ (Accessibility) ☞ P.93	[**On**][**Off**]

■ システムに関するメニュー設定： の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
システム設定 (System Menu)	**Fn キー設定** (Fn. setting) ☞ P.99	[**Off**]、[**リピート**]、[**ランダム**]、[**再生スピード**]、[**インデックス**]、[**A-B**]、[**消去**]、[**表示切替**]、[**リスト**]の割り当て設定ができます。
	メモリ選択(Memory Select)☞ P.99	[**内蔵メモリ**][**microSD**]
	システム待機 (System Standby) ☞ P.100	[**On**][**Off**]
	オートパワーオフ (Auto Power Off) ☞ P.100	[**5分**][**10分**][**30 分**][**1時間**][**2 時間**][**3 時間**][**Off**]
	時計設定 (Time & Date) ☞ P.29	[**時**][**分**][**年**][**月**][**日**]
	USB 設定(USB Settings)☞ P.101	[**USB 接続**]：[**PC 接続**][**AC アダプタ接続**][**毎回確認**] [**USB クラス**]：[**ストレージ**][**コンポジット**]
	設定リセット (Reset Settings) ☞ P.102	メニュー設定を初期設定に戻します。
	初期化 (Format) ☞ P.103	メモリを初期化します。
	メモリ情報 (Memory Info.) ☞ P.105	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 (System Info.) ☞ P.105	[**モデル**][**バージョン**][**シリアル番号**]

■ ブックに関するメニュー設定：　の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
ブック設定 (Book Menu) **DAISY 設定 *** (Daisy Menu) **テキストスピーチ設定 *** (Text Speech Menu)	**DAISY 取り込み *** (DAISY Import) ☞ P.129	DAISY コンテンツを本体に取り込みます。
	スキップモード (Skip Mode) ☞ P.106	[**セクション**](レベル 1 ～ 6) [**グループ**][**ページ**][**センテンス**] [**フレーズ**][**ブックマーク**]
	文字コード (Characters) ☞ P.107	[**ANSI**][**UTF-8**][**UTF-16**]
	テキスト言語 (Text Languange) ☞ P.108	[**日本語**][**英語**]

* [**アクセシビリティ**] の設定が [**On**] に設定されているときのみ。

■ ファイルに関するメニュー設定：　の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
ファイル設定 (File Menu)	**キーワード** (Keyword) ☞ P.94	あらかじめ用意したテンプレートの中から選んで設定できます。
	ファイルロック(Erase Lock)☞ P.94	[**On**][**Off**]
	ファイル移動／コピー (File Move/Copy) ☞ P.95	メモリ内でファイルのコピーと移動が行えます。
	ファイル分割 (File Divide) ☞ P.97	PCM や MP3 ファイルを分割することができます。
	プロパティ (Property) ☞ P.98	ファイルやフォルダの情報を表示します。

■ スケジュールに関するメニュー設定：　の表記は初期設定です。

設定タブ	設定項目	選択肢
スケジュール設定 (Audio Diary)	**新規登録** (New) ☞ P.112	[**日時**]、[**開始時間**]、[**終了時間**]、[**繰り返し**]、[**キーワード 1**]、[**キーワード 2**]、[**ボイスキーワード**]、[**アラーム通知**] の設定ができます。
	編集 (Edit) ☞ P.118	登録したスケジュール内容の設定変更ができます。
	削除 (Delete) ☞ P.119	登録を削除します。
	初期化 (Format) ☞ P.122	登録したスケジュール内容全てを削除し、初期化します。

録音に関する設定 [録音設定]

録音に関するさまざまな設定を行います。

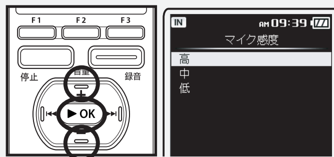
[マイク感度]

使用目的に合わせて内蔵ステレオマイク感度の切り替えができます。

❶ **[メニュー] の [録音設定] で [マイク感度] を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **+ または − ボタンを押して、[マイク感度] の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



[**高**]：最も録音感度が高く、大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。
[**中**]：打合せや少人数の会議などの録音に適しています。
[**低**]：最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

ご注意

・話し手の声をはっきりと録音したい場合、[**マイク感度**] を [**低**] に設定し、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて (5 ～ 10cm) 録音してください。

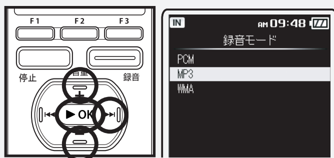
[録音モード]

ステレオまたはモノラルの録音方式の選択のほか、音質を重視して録音したり、録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

❶ **[メニュー] の [録音設定] で [録音モード] を選ぶ。**

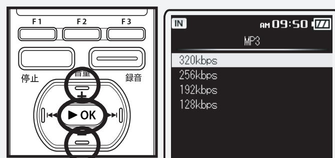
・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **+ または − ボタンを押して、[録音モード] の設定を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



[**PCM**]：音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。
[**MP3**]：ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格です。
[**WMA**]：米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

❸ **+または−ボタンを押して、録音レートの設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**PCM**］の場合：［48kHz/16bit］または［44.1kHz/16bit］
［**MP3**］の場合：［320kbps］［256kbps］［192kbps］［128kbps］
［**WMA**］の場合：［ステレオ XQ］［ステレオHQ］［ステレオ SP］［HQ］［SP］［LP］

ご注意

- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、録音レートを［**LP**］以外に設定して録音してください。
- ［**録音モード**］をステレオ録音方式に設定して録音すると、モノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

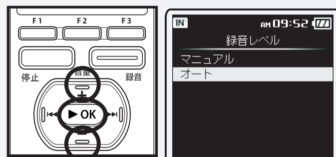
［録音レベル］

録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。

❶ ［メニュー］の［録音設定］で［録音レベル］を選ぶ。

- メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

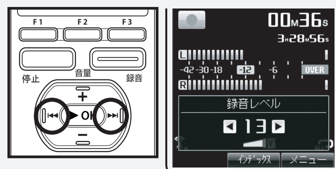
❷ ＋またはーボタンを押して、［録音レベル］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



［**マニュアル**］：録音レベルを 16 段階に調整して録音します。
［**オート**］：録音レベルを自動で調整して録音します。すぐに録音するときに便利です。

録音レベルを調整する：

❶ 録音中または録音一時停止中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する。



ご注意

- ［**録音レベル**］が［**オート**］の場合、録音レベルは自動的に調整されます。録音レベル調整機能を使用する場合は、［**録音レベル**］を［**マニュアル**］にしてください。

・本機は[**マニュアル**]に設定するとリミッター機能がありません。[**OVER**]が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。[**OVER**]が表示されないよう録音レベルを調整してください。
録音レベルを調整しても音の歪みが消えない場合は、マイク感度（☞ P.69）の設定を変更して、もう一度録音レベルを調整してください。
・録音レベルメーターの指標が右いっぱいに振り切れなくても［**OVER**］が表示されることがあります。
・あまりにも大きな音を入力すると、［**録音レベル**］を［**オート**］に設定していてもノイズが発生することがあります。
・［**01**］～［**16**］の範囲で調整できます。数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

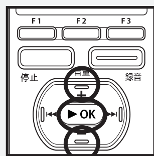
［指向性マイク］

指向性マイク機能は DiMAGIC（ダイマジック社）の DVM（DiMAGIC Virtual Microphone）技術を使用しています。DVM は任意の方向からの音を強調して録音することが可能な収音システムです。広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵ステレオマイク一つで切り替えを可能とした、最新の指向性制御方式です。

❶ ［メニュー］の［録音設定］で［指向性マイク］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

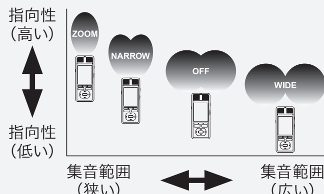
❷ ＋または－ボタンを押して、内蔵ステレオマイクの指向性を選び、▶OK ボタンを押す。





［**Zoom**］：モノラル録音となりますが、高指向性の録音ができます。
［**Narrow**］：指向性のあるステレオ感で録音できます。
［**Wide**］：広がりのあるステレオ感で録音できます。
［**Off**］：指向性マイク機能をオフにします。

指向性マイク機能について：



ご注意

・［**指向性マイク**］機能は内蔵ステレオマイクでのみ性能がでるように設計されています。市販品のマイクを使った場合や、コネクティングコードを利用している他の機器から録音する場合は正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。

3

録音に関する設定［録音設定］

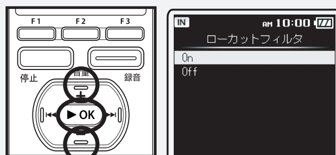
［ローカットフィルタ］

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

❶ **［メニュー］の［録音設定］で［ローカットフィルタ］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋または－ボタンを押して、［ローカットフィルタ］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**On**］：ローカットフィルタが機能します。
［**Off**］：機能しません。

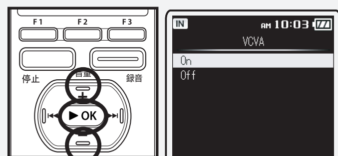
［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

❶ **［メニュー］の［録音設定］で［VCVA］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋または－ボタンを押して［VCVA］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

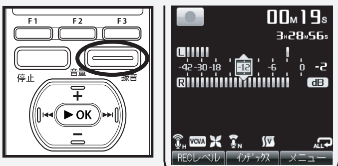


［**On**］：VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます。
［**Off**］：機能しません。通常の録音に戻ります。

音声起動レベルの調整：

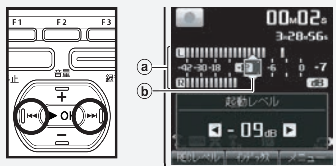
・まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整できます。

❶ **録音ボタンを押して録音を開始する。**



・設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。このときディスプレイに［**待機中**］が点滅します。録音起動中は LED 表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

❷ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する。



ⓐ レベルメータ（録音音量に合わせて変化します）
ⓑ 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

・ディスプレイに VCVA の音声起動レベルを 23 段階（[**-1**］～［**-42**］）で表示します。

・数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

・VCVA 録音中に録音レベル（☞ P.70）を変更する場合は、**F1** ボタンを押してください。録音レベルの調整が可能になります。

ご注意

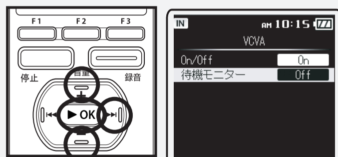
・音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P.69）。
・音声起動レベルの調節は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。

・失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調節することをおすすめします。

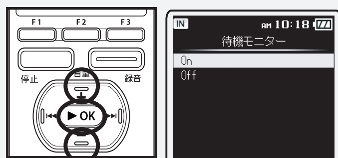
VCVA 待機モニター設定について:

メニュー設定で［**待機モニター**］を［**On**］にすると、VCVA 待機中の間は録音モニター（イヤホン出力）が出なくなります。イヤホンを接続して録音をモニターする場合、VCVA の起動状態が音声の出力で確認できます。

❶ ＋または－ボタンを押して、［待機モニター］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



❷ ＋または－ボタンを押して［On］または［Off］を選び、▶OK ボタンを押す。



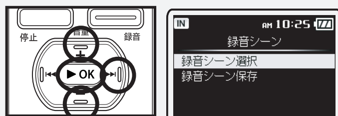
［録音シーン］

録音する場面や状況にあわせた録音設定を、［**口述録音**］［**会議録音**］［**講義録音**］のテンプレートから選べるほか、お好みの録音設定を保存できます。

1 ［メニュー］の［録音設定］で［録音シーン］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

2 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



［録音シーン選択］を選んだ場合の設定:

1 ＋または－ボタンを押して、設定したい［録音シーン］を選び、▶OK ボタンを押す。



・各［**録音シーン**］の設定状況を確認するには、［**録音シーン選択**］画面で、＋または－ボタンで確認したい設定項目を選び、▶▶I ボタンを押して、設定確認画面で確認できます。設定確認画面を終わるときは、I◀◀ ボタンを押すと［**録音シーン選択**］画面に戻ります。

［録音シーン保存］を選んだ場合の設定:

既存の［**録音シーン**］のテンプレート以外に、現在お好みで設定をしている録音に関するメニュー設定を保存できます。録音中に［**録音シーン保存**］の操作はできません。本機の停止中に［**ホーム**］画面からメニューに入り、設定してください。

1 ＋または－ボタンを押して、設定を保存したい［ユーザー設定］を選び、▶OK ボタンを押す。

録音シーンの設定テンプレートについて

［**録音シーン選択**］では 3 つのテンプレートから録音場面や状況に合わせて録音シーンを選べます。それぞれの録音シーンの録音設定は以下の通りです。

録音設定	録音シーン			
	［Off］	［口述］	［会議］	［講義］
［マイク感度］	［中］	［低］	［中］	［高］
［録音モード］	［ステレオ XQ］	［HQ］	［ステレオ XQ］	［ステレオ XQ］
［録音レベル］	［オート］	［オート］	［オート］	［オート］
［指向性マイク］	［Off］	［Off］	［Wide］	［Zoom］
［ローカットフィルタ］	［Off］	［On］	［On］	［On］
［VCVA］	［Off］	［Off］	［Off］	［Off］
［待機モニター］	［Off］	［Off］	［Off］	［Off］

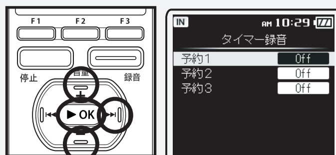
［タイマー録音］

タイマー録音とは設定した時間に録音を行う機能です。お好みの設定（［**On/Off**］、［**曜日**］、［**開始時刻**］、［**終了時刻**］、［**録音モード**］、［**マイク感度**］、［**メモリ選択**］、［**録音フォルダ**］、［**キーワード**］）を 3 件（［**予約 1**］～［**予約 3**］）まで登録できます。

❶ **［メニュー］の［録音設定］で［タイマー録音］を選ぶ。**

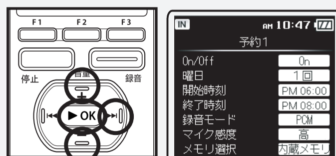
・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

❷ **＋または－ボタンを押して、予約番号を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



・設定されている設定内容が表示されます。

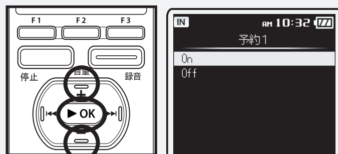
❸ **＋または－ボタンを押して、設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押してそれぞれの設定に移る。**



・［**On/Off**］、［**曜日**］、［**開始時刻**］、［**終了時刻**］、［**録音モード**］、［**マイク感度**］、［**メモリ選択**］、［**録音フォルダ**］、［**キーワード**］の中から、設定したい項目を選んでください。

[On/Off] の設定：

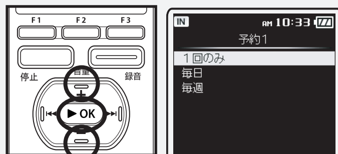
❶ **＋または－ボタンを押して、［On/Off］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**On**］：設定内容が実行されます。
［**Off**］：設定内容は実行されません。

[曜日] の設定：

❶ **＋または－ボタンを押して、［曜日］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

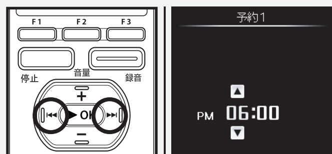


［**1回のみ**］：設定時刻で1回のみ録音します。
［**毎日**］：設定時刻で毎日継続して録音します。
［**毎週**］：［**曜日**］の選択に移ります。**＋**または**－**ボタンを押して曜日を選び、►OK ボタンを押します。

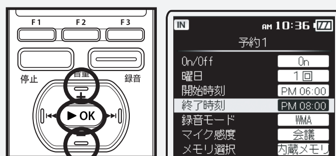
［開始時刻］と［終了時刻］の設定:


この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

❶ **►►I または I◄◄ ボタンを押して録音の［開始時刻］の［時］［分］または［終了時刻］の［時］［分］を選ぶ。**



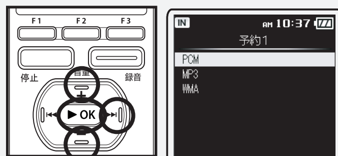
❷ **＋または－ボタンを押して設定し、►OK ボタンを押す。**



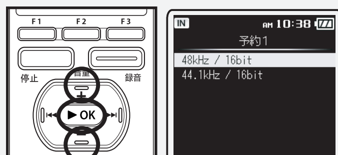
［録音モード］の設定:

通常の［**録音モード**］設定（☞ P.69）とは別に、設定した［**録音モード**］でタイマー録音を開始します。

❶ **＋または－ボタンを押して、［録音モード］の設定を選び、►OK または ►►I ボタンを押す。**



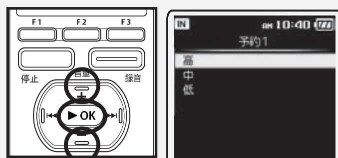
❷ **＋または－ボタンを押して、［録音レート］の設定を選び、►OK ボタンを押す。**



［マイク感度］の設定:

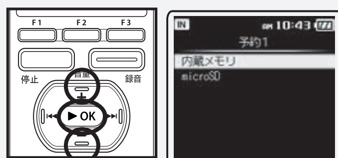
本機の［**マイク感度**］設定（☞ P.69）とは別に、設定したマイク感度でタイマー録音を開始します。

❶ **＋または－ボタンを押して、［マイク感度］の設定を選び、►OK ボタンを押す。**



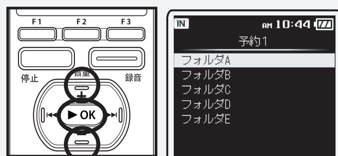
[メモリ選択] の設定：

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して、保存先（メモリ）を選び、▶OK ボタンを押す。



[録音フォルダ] の設定：

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して、保存先（フォルダ）を選び、▶OK ボタンを押す。

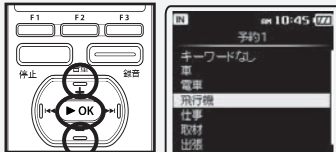


[キーワード] の設定：

タイマー録音するファイルにキーワードをつけます。

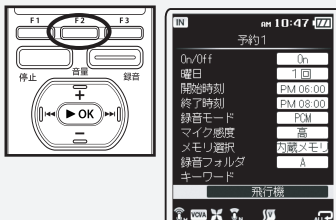

この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して、設定したいキーワードを選び、▶OK ボタンを押す。



設定を完了する：

❶ F2（**決定**）ボタンを押して、設定を確定する。



・登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。［**On/Off**］設定を［**On**］にすると、ディスプレイに［⏻］が表示されます。



ⓐ［**On**］設定時

他の予約番号を設定する場合は、これまでの操作を繰り返してください。
予約選択メニュー中に ▶▶I ボタンを押すと、設定内容の確認ができます。

ご注意

- ［**タイマー録音**］の開始時刻に本機を操作していたり、本機が動作中のときは、終了後に［**タイマー録音**］を開始します。
- 電源オフやホールドになっていても、［**タイマー録音**］の設定時刻になると録音を始めます。
- ［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
- ［**タイマー録音**］と［**アラーム再生**］（☞ P.89）の［**開始時刻**］が同時刻に設定されているときは、［**タイマー録音**］が優先されます。
- タイマー録音中に電池がなくなると録音が中断しますので、電池残量を確認してください。
- あらかじめ［**現在日時**］を確認し、ずれていたら本機の日付と時刻を合わせてください（☞ P.30）。
- 保存先を microSD カードに設定し、タイマー録音時に microSD カードが挿入されていない場合は内蔵メモリの［**フォルダ A**］に録音します。

［フォルダ名］

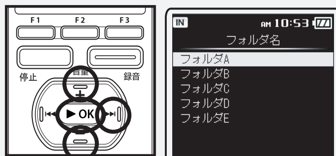
音声録音用の［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］フォルダのフォルダ名は、テンプレートにあらかじめ登録されている名前（［**会議**］［**仕事**］［**出張**］など）に変更することができます。

❶［メニュー］の［録音設定］で［フォルダ名］を選ぶ。

- メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

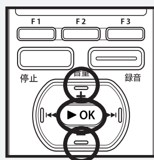
❷ ＋またはーボタンを押して、名前を変更するフォルダを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

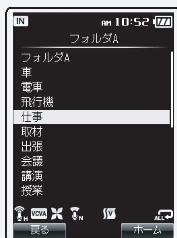
- テンプレートに登録されているフォルダ名を表示します。




この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

❸ ＋またはーボタンを押して、テンプレートから変更したいフォルダ名を選び、▶OK ボタンを押す。





テンプレート一覧：

車	電車	飛行機
仕事	取材	出張
会議	講演	授業
メモ	記録	電話録音
会話	趣味	レッスン
語学学習	楽器演奏	イベント
フォルダ A	フォルダ B	フォルダ C
フォルダ D	フォルダ E	

再生に関する設定 [再生設定]

再生するファイルや用途に合わせて、再生音質や再生スピードなどさまざまな設定ができます。ファイルを再生する前に設定してください。

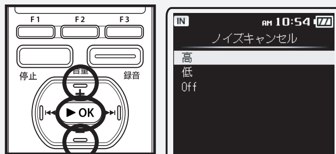
[ノイズキャンセル]

録音した音声が聞き取りにくいときは、ノイズキャンセルを設定してください。

❶ **[メニュー] の [再生設定] で [ノイズキャンセル] を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **+ または − ボタンを押して、[ノイズキャンセル] の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



[**高**] [**低**]：周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。
[**Off**]：機能しません。

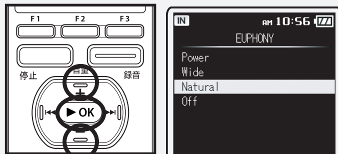
[EUPHONY]

本機は帯域補正、拡張技術と仮想音源処理技術を組み合わせた最新のサラウンド方式「EUPHONY MOBILE」を搭載しています。ヘッドフォン再生において、自然な拡がり感以外に、圧迫感や密閉感などを感じにくくし長時間視聴でも疲れにくいという優れた特徴を備えています。EUPHONY 設定はお好みに合わせ、レベル調整できます。

❶ **[メニュー] の [再生設定] で [EUPHONY] を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **+ または − ボタンを押して、[EUPHONY] の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



[**Power**]：より低音域を強調したモード。
[**Wide**]：より広がり感のあるモード。
[**Natural**]：自然な帯域補正と音場の広がりを実現するモード。
[**Off**]：EUPHONY を解除します。

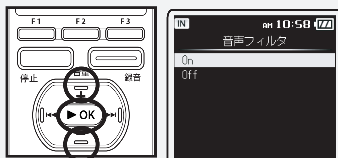
［音声フィルタ］

再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

1 ［メニュー］の［再生設定］で［音声フィルタ］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

2 ＋またはーボタンを押して、［音声フィルタ］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



［**On**］：音声フィルタが機能します。
［**Off**］：機能しません。

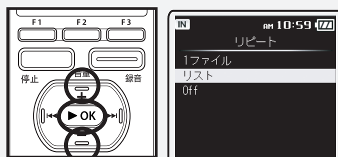
［リピート］

お好みに合わせてリピート再生の設定ができます。

1 ［メニュー］の［再生設定］で［リピート］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

2 ＋またはーボタンを押して、［リピート］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



［**1 ファイル**］：一つのファイルのみをリピート再生します。
［**リスト**］：表示されているファイルリストをリピート再生します。
［**Off**］：機能しません。

Fn ボタンを使って設定する：

> **!** **Fn(F1 または F2) ボタンを［リピート］に割り当てている場合にも操作できます (☞ P.99)。**

1 Fn (リピート) ボタンを押す。

・**Fn(リピート)**ボタンを押すたびに、ディスプレイに［ ］［ALL ］が切り替わり表示されます。

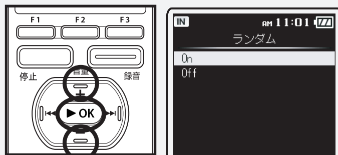
［ランダム］

表示されているファイルリストをランダムに再生する設定ができます。

❶ **［メニュー］の［再生設定］で［ランダム］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋またはーボタンを押して、［ランダム］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



［**On**］：ランダム再生が機能します。
［**Off**］：機能しません。

Fn **ボタンを使って設定する：**

> **!** Fn(F1 **または** F2) **ボタンを［ランダム］に割り当てている場合にも操作できます (☞ P.99)。**

❶ Fn **(ランダム)** ボタンを押す。

・ **Fn(ランダム)**ボタンを押すと、ディスプレイに［⤨］が表示され、ランダム再生が機能します。

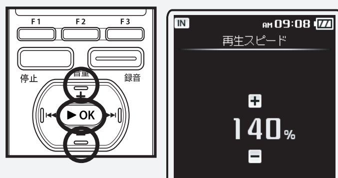
［再生スピード］

再生スピードを［**50%**］から［**600%**］の間で変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。

❶ **［メニュー］の［再生設定］で［再生スピード］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋またはーボタンを押して、速度設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

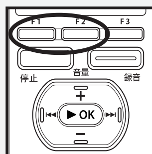


Fn **ボタンを使って設定する：**

> **!** Fn(F1 **または** F2) **ボタンを［再生スピード］に割り当てている場合にも操作できます (☞ P.99)。**

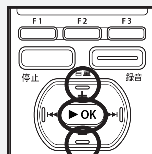
❶ Fn **(再生ｽﾋﾟｰﾄﾞ)** ボタンを押す。

・ 再生速度設定のポップアップ画面が表示されます。





❷ ＋またはーボタンを押して、速度設定を選び、▶OK ボタンを押す。





・ 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した速さで再生を行います。

ご注意

・［**Fn キー**］設定(☞ P.99) の設定で［**再生スピード**］を割り当てている場合は、割り当てたボタンを操作して［**再生スピード**］設定の画面に入ってください。
・ファイル再生中は、［**音声ガイド**］の［**スピード**］（☞ P.88）設定が無効になります。
・再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートによっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、早聞き再生の速度を落として再生してください。

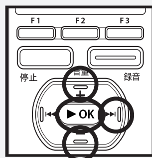
［スキップ間隔］

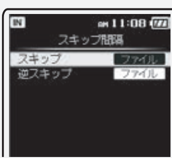
再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

❶ **［メニュー］の［再生設定］で［スキップ間隔］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

❷ **＋または－ボタンを押して、［スキップ］または［逆スキップ］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

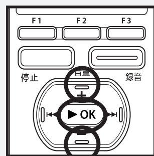




［**スキップ**］：設定した間隔分だけ送って再生を開始します。
［**逆スキップ**］：設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

❸ **＋または－ボタンを押して、設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

・ スキップ間隔をそれぞれ設定できます。





［スキップ］を選んだ場合：

［**ファイルスキップ**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

［逆スキップ］を選んだ場合：

［**ファイルスキップ**］［**1 秒**］～［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

スキップ・逆スキップ再生のしかた：

❶ ファイルの再生を開始する。

❷ 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押す。

・ 設定した間隔で［**スキップ**］または［**逆スキップ**］して再生を開始します。

ご注意

・［**スキップ間隔**］より近い位置にインデックスマーク、頭出し位置がある場合、その位置に［**スキップ**］・［**逆スキップ**］します。

3

再生に関する設定［再生設定］

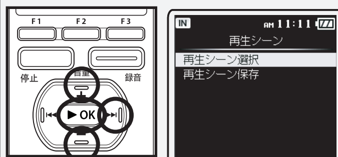
［再生シーン］

本機で録音した音声ファイルやパソコンから取り込んだ音楽ファイルを、音質や再生方法にあわせて、お好みの再生設定を保存できます。

❶ **［メニュー］の［再生設定］で［再生シーン］を選ぶ。**

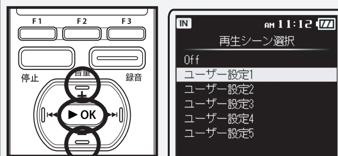
・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋または－ボタンを押して設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



［再生シーン選択］を選んだ場合の設定：

❶ **＋または－ボタンを押して、設定したい［再生シーン］を選び、▶OK ボタンを押す。**



・ご購入直後は［**ユーザー設定**］の1～5すべてが同じ設定（初期設定）となっています。［**再生シーン保存**］でユーザー設定を登録してから［**再生シーン**］を選んでください。

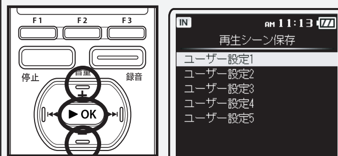
・各［**再生シーン**］の設定状況を確認するには、［**再生シーン選択**］画面で、**＋**または**－**ボタンで確認したい設定項目を選び、▶▶I ボタンを押して、設定確認画面で確認できます。設定確認画面を終わるときは、I◀◀ ボタンを押すと［**再生シーン選択**］画面に戻ります。

［再生シーン保存］を選んだ場合の設定：

現在お好みで設定をしている再生に関するメニュー設定を保存できます。

❶ **本機の再生に関するメニューをお好みの設定にする** **(☞ P.80)****。**

❷ **＋または－ボタンを押して、設定を保存したい［ユーザー設定］を選び、▶OK ボタンを押す。**



表示や音に関する設定［表示／音設定］

本機のディスプレイ表示や音に関する設定を行います。

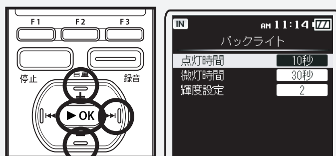
［バックライト］

ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約 10 秒間（初期設定）点灯します。

❶ **［メニュー］の［表示／音設定］で［バックライト］を選ぶ。**

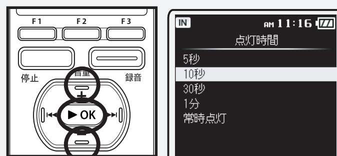
・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋またはーボタンを押して、［バックライト］の設定を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



［点灯時間］を選んだ場合：
［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］
［**常時点灯**］
［微灯時間］を選んだ場合：
［**30 秒**］［**1 分**］［**2 分**］［**5 分**］
［**常時微灯**］
［輝度設定］を選んだ場合：
［**01**］～［**03**］の間で調整を行います。

❸ **＋またはーボタンを押して、設定を変更して、▶OK ボタンを押す。**



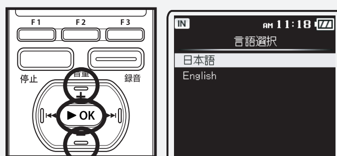
［言語選択］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

❶ **［メニュー］の［表示／音設定］で［言語選択］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋またはーボタンを押して、設定を変更して、▶OK ボタンを押す。**



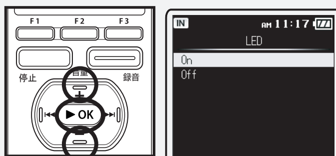
[LED]

LED 表示ランプを点灯しないように設定できます。

❶ **［メニュー］の［表示／音設定］で［LED］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋またはーボタンを押して、［LED］の設定を選び、▶OKボタンを押す。**



［**On**］：LED が点灯します。
［**Off**］：LED は点灯しません。

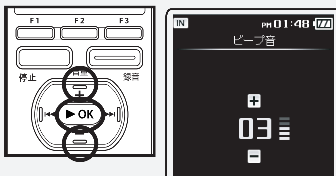
[ビープ音]

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定できます。

❶ **［メニュー］の［表示／音設定］で［ビープ音］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ **＋またはーボタンを押して、音量を調整して、▶OK ボタンを押す。**



・［**05**］～［**00**］の間で調整を行います。

ご注意

・［**ビープ音**］の設定を［**00**］にしてもアラーム音は鳴ります。

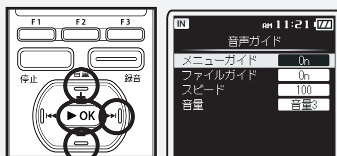
［音声ガイド］

本機の操作状況やファイルのタグ情報を音声でアナウンスする機能です。アナウンスの On/Off、スピードや音量を調節してご使用ください。［**言語選択**］(☞ P.86) 機能で言語を［**English**］に切り替えると、英語で音声ガイドを行います。

❶ **［メニュー］の［表示／音設定］で［音声ガイド］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

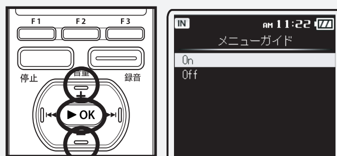
❷ **＋または－ボタンを押して設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



［メニューガイド］の設定：

メニュー設定を音声でガイドします。

❶ **＋または－ボタンを押して、［メニューガイド］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

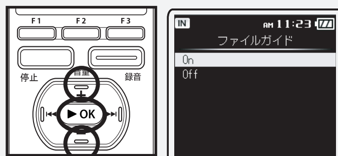


［**On**］：メニューガイドが機能します。
［**Off**］：機能しません。

［ファイルガイド］の設定：

ファイルのタグ情報を音声でガイドします。

❶ **＋または－ボタンを押して、［ファイルガイド］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

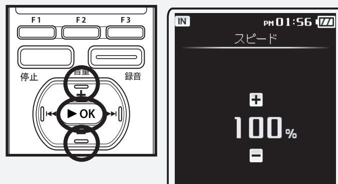


［**On**］：ファイルガイドが機能します。
［**Off**］：機能しません。

［スピード］の設定：

音声ガイドのスピードを設定します。

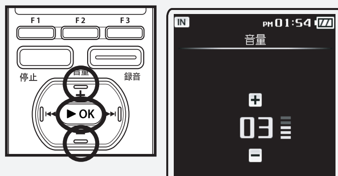
❶ **＋または－ボタンを押して、速度設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



［音量］の設定：

音声ガイドの音量を設定します。

❶ **＋または－ボタンを押して、［音量］を選び、▶OK ボタンを押す。**



ご注意

・電源をオン／オフ（☞ P.27）する際の起動音／終了音は、［**音声ガイド**］を［**Off**］に設定すると解除されます。
・［**音声ガイド**］の［**音量**］設定で、起動音／終了音の音量も設定されます。
・ファイル再生中は、［**音声ガイド**］の［**スピード**］設定が無効になります。

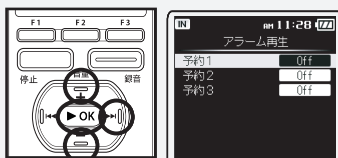
［アラーム再生］

アラーム再生とは、設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。お好みの設定（［**On ／ Off**］［**曜日**］［**開始時刻**］［**音量**］［**アラーム音**］［**再生ファイル**］）を 3 件（［**予約 1**］～［**予約 3**］）まで登録できます。

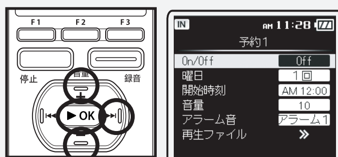
❶ **［メニュー］の［表示／音設定］で［アラーム再生］を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

❷ **＋または－ボタンを押して、予約番号を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



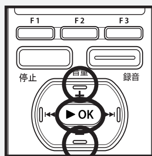
❸ **＋または－ボタンを押して、設定項目を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押してそれぞれを設定する。**

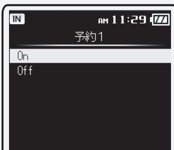


・［**On/Off**］［**曜日**］［**開始時刻**］［**音量**］［**アラーム音**］［**再生ファイル**］の中から、設定したい項目を選んでください。

[On/Off] の設定：

❶ **＋または－ボタンを押して、［On/Off］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**

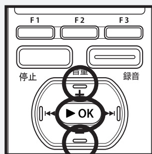


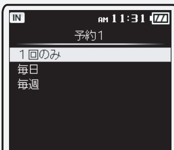


［**On**］：設定内容が実行されます。
［**Off**］：設定内容は実行されません。

[曜日] の設定：

❶ **＋または－ボタンを押して、［曜日］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**





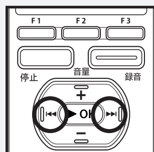
［**1回のみ**］：設定時刻で1回のみ再生します。
［**毎日**］：設定時刻で毎日継続して再生します。
［**毎週**］：［ **曜日**］の選択に移ります。
＋または－ボタンを押して曜日を選び、▶OK ボタンを押します。

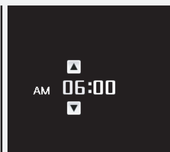
[開始時刻] の設定：



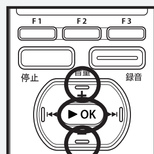
この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

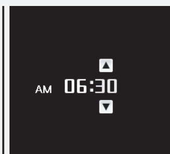
❶ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して再生の、［開始時刻］の［時］［分］を選ぶ。**





❷ **＋または－ボタンを押して設定し、▶OK ボタンを押す。**

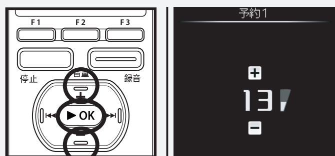




[音量] の設定:

❶ **＋または－ボタンを押して、音量を調整し、▶OK ボタンを押す。**

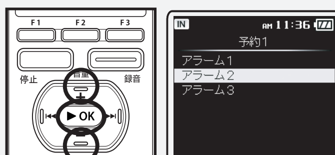
・**F2（詳細）**ボタンで確認できます。



[アラーム音] の設定:

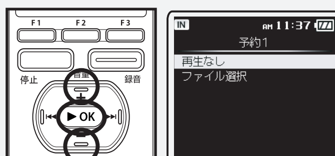
❶ **＋または－ボタンを押してアラーム音を選び、▶OK ボタンを押す。**

・**F2（詳細）**ボタンで確認できます。



[再生ファイル] の設定:

❶ **＋または－ボタンを押して、［再生ファイル］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



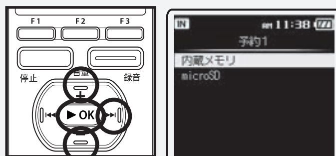
［**再生なし**］：アラーム音の設定内容が実行されます。［**再生なし**］を選択した場合は、[**設定を完了する**] の手順にお進みください。

［**ファイル選択**］：アラーム音の後に設定したファイルを再生します。

[ファイル選択] を選んだ場合の設定:

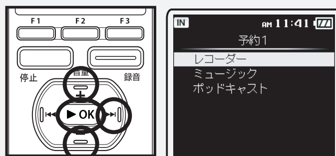
・［**メモリ選択**］の設定に移ります。

❶ **＋または－ボタンを押して、アラーム再生するファイルのある記録メディアを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

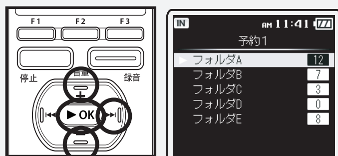


・アラーム再生するファイルのあるフォルダ設定に移ります。

❷ **＋または－ボタンを押して、フォルダ選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

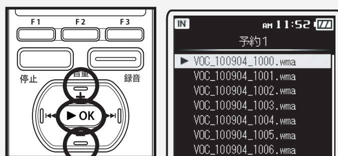


❸ **＋または－ボタンを押して、フォルダ選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



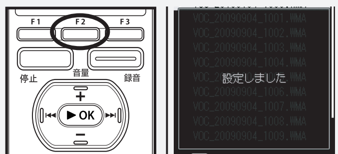
・アラーム再生するファイル設定に移ります。

❹ **＋または－ボタンを押して、アラーム再生するファイルを選び、▶OK ボタンを押す。**



設定を完了する：

❶ **F2（決定）ボタンを押して、設定を確定する。**



・登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。［**On／Off**］設定を［**On**］にすると、ディスプレイに［((•))］が表示されます。



ⓐ［**On**］設定時

他の予約番号を設定する場合は、これまでの操作を繰り返してください。
予約選択メニュー中に ▶▶I ボタンを押すと、設定内容の確認ができます。

ご注意

・［**毎日**］に設定した場合、設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
・アラームは鳴り始めて 5 分たつと止まります。このとき、再生ファイルを設定していてもファイルは再生されません。
・［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
・アラームを設定した時刻に本機を操作していたり、本機が動作中の場合は、アラーム再生されません。
・電源オフやホールドになっていても、［**アラーム再生**］の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。ホールド中の場合でもいずれかのボタンを押すと、設定したファイルの再生が始まり、**停止**ボタンを押すと再生を停止します。
・設定したファイルの移動や設定された microSD カードの抜き差し、ファイルの消去をするとファイルの再生は行われず、アラーム音のみが鳴ります。
・タイマー録音と開始時刻の設定が同じ場合は、タイマー録音の設定を優先します（☞ P.75）。

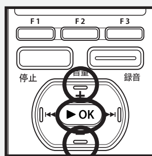
［アクセシビリティ］

用途に合わせて、［**ホーム**］画面の表示項目を切り替える機能です。
［**DAISY**］機能および［**テキストスピーチ**］機能をよく使うときに便利です。
［**アクセシビリティ**］の設定を［**On**］にすると、ファイル選択の操作が簡単になります。［**ホーム**］メニューで再生機能（**レコーダー**、**ミュージック**、**DAISY**、**テキストスピーチ**）を選んだ後、自動的に前回再生したファイルが表示されます。
▶OK ボタンを押すと再生が始まります。

❶ ［メニュー］の［表示／音設定］で［アクセシビリティ］を選ぶ。

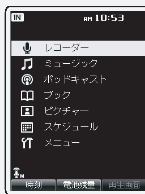
・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ ＋またはーボタンを押して［アクセシビリティ］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。





［ホーム］画面：



［**Off**］設定時



［**On**］設定時

・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは［**ポッドキャスト**］および［**ピクチャー**］の機能は使用できません。これらの機能を使用するには［**アクセシビリティ**］の設定を［**Off**］に設定してください。
・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、レジューム機能が働き、電源を切っても再生していたファイルおよび停止位置を記憶しています。

メニュー構成：

［Off］設定時：	
ブック設定	スキップモード
	文字コード
	テキスト言語

［On］設定時：	
DAISY 設定 *1	DAISY 取り込み
	スキップモード
テキストスピーチ設定 *2	文字コード
	テキスト言語

*1 DAISY 機能使用時。
*2 テキストスピーチ機能使用時。

ファイルに関する設定 [ファイル設定]

本機内のファイルに関する設定を行います。

[キーワード]

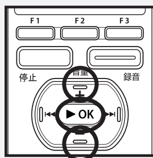
本機で録音した音声ファイルにキーワードを付けて管理することができます。キーワードによるファイル検索(☞ P.52)でファイルリストを呼び出せます。

❶ **キーワードを登録したいファイルを選ぶ(☞ P.52 ～ P.58)。**

❷ **[メニュー] の [ファイル設定] で [キーワード] を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64)をご覧ください。

❸ **＋または－ボタンを押して登録したいキーワードを選び、▶OK ボタンを押す。**





キーワード一覧：

車	電車	飛行機
仕事	取材	出張
会議	講演	授業
メモ	記録	電話録音
会話	趣味	レッスン
語学学習	楽器演奏	イベント

[ファイルロック]

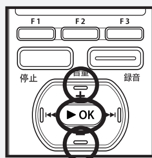
ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去をしても消去されません(☞ P.61)。

❶ **ファイルロックをかけるファイルを選ぶ(☞ P.52 ～ P.58)。**

❷ **[メニュー] の [ファイル設定] で [ファイルロック] を選ぶ。**

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64)をご覧ください。

❸ **＋または－ボタンを押して [ファイルロック] の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**





[**On**]：ファイルロックがかかります。
[**Off**]：ファイルロックが解除されます。

[ファイルの移動／コピー]

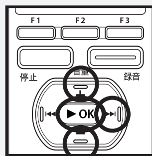
内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーできます。またメモリ間のファイル移動またはコピーも可能です。

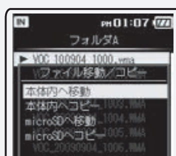
❶ あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ。

❷ ［メニュー］の［ファイル設定］で［ファイルの移動／コピー］を選ぶ (☞ P.52 ～ P.58)。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

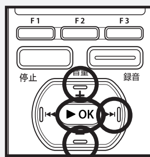
❸ ＋または－ボタンを押してファイルの移動またはコピー先を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。





［**本体内へ移動**］	内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。
［**本体内へコピー**］	内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。
［**microSD へ移動**］	内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへ移動する。
［**microSD へコピー**］	内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへコピーする。

❹ ＋または－ボタンを押してファイルの移動件数またはコピー件数を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

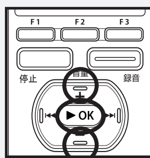




［**1件**］	指定した1件のみ選択。
［**選択**］	複数のファイルを選択。
［**全件**］	フォルダ内のファイルを全て選択。

[1件] を選んだ場合の設定：

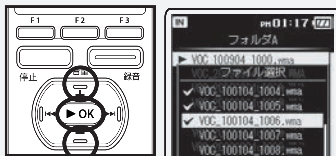
① ＋または－ボタンを押して、移動またはコピーさせたいファイルを選び、▶OK ボタンを押す。





[選択] を選んだ場合の設定：

① **+**または**−**ボタンを押して、移動またはコピーさせたいファイルを選び、▶OK ボタンを押して、選択したファイルにチェックをつける。



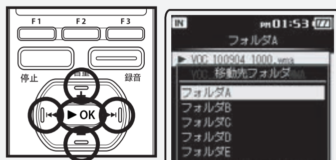
② 手順 ① を繰り返して、移動またはコピーしたいファイルを選んだら、F2 **(決定)** ボタンを押す。

[全件] を選んだ場合の設定：

全件を選択すると、自動的に現在のフォルダ内の全てのファイルが選択され、[**移動先フォルダ**] 画面に移行します。



❺ **+**、**−**、**▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押して、ファイルの移動またはコピー先のフォルダを選び、▶OK ボタンを押す。



❻ F2 **(決定)** ボタンを押す。

- ディスプレイに[**移動中です**] または[**コピー中です**] が表示され、移動またはコピーを開始します。
  [**移動しました**] または [**コピーしました**] と表示されたら終了です。

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ファイル件数が 999 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。
- ファイルロック (☞ P.94) のかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。
- DRM が施されているファイルの移動またはコピーはできません。
- [**レコーダー**] フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。

［ファイル分割］

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくできます。

ファイル分割できるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

❶ **ファイル分割したいファイルを選ぶ（☞ P.52 〜 P.58）。**

❷ **ファイルを再生または早送りし、分割する位置で再生を停止する。**

- ファイル表示画面での停止位置が分割位置になります。
- 再生中に ▶▶| または |◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします（☞ P.46）。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークでマーキングしておくと便利です（☞ P.50）。

❸ **［メニュー］の［ファイル設定］で［ファイル分割］を選ぶ。**

- メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。
- 本機が再生中など動作中の場合、ファイルを分割できません。

❹ **＋ボタンを押して［開始］を選び、▶OK を押す。**

- ディスプレイが［**分割中！**］にかわり、ファイル分割を開始します。［**分割しました**］と表示されたら終了です。

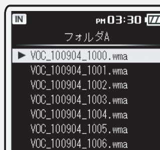
ご注意

- ファイル表示画面以外からはファイル分割はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 998 件以上の場合は分割できません。
- ファイルロック（☞ P.94）がかかっているファイルは分割できません。
- 分割後のファイルは、前半部分のファイルは［**ファイル名 _1.mp3**］、後半部分のファイルは［**ファイル名 _2.mp3**］となります。
- PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損する可能性があります。

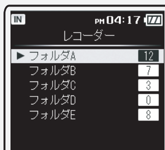
［プロパティ］

メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

1 あらかじめ情報を見たいファイルまたはフォルダを選ぶ(☞ P.52 ～ P.58)。



ファイル選択

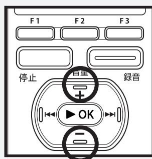


フォルダ選択

2 ［**メニュー**］の［**ファイル設定**］で［**プロパティ**］を選ぶ。

- メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

3 **＋**または**－**ボタンを押して、画面を切り替える。

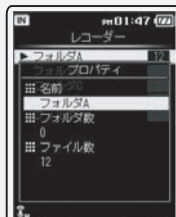




ファイル情報表示画面

ファイル情報	［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］*1［**アーティスト**］*2［**アルバム**］*2 が表示されます。

*1 リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部分にサンプリング周波数やビット数を表示します。
*2 タグ情報がファイルにない場合、［**UNKNOWN_ARTIST**］、［**UNKNOWN_ALBUM**］と表示されます。



フォルダ情報表示画面

フォルダ情報	［**名前**］［**フォルダ数**］［**ファイル数**］が表示されます。

- 音声ファイルの場合、［**フォルダ数**］は表示されません。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含みません。

システムに関する設定［システム設定］

本機のシステムに関する設定が行えます。

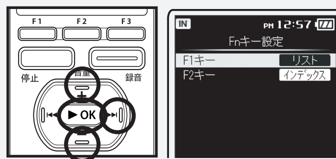
［Fn キー設定］

本機の**Fn**ボタン（F1、F2）をお好みの使用方法に合わせて割り当てを変更できます。割り当てたボタンの操作は、録音または再生時に可能になります。

❶［メニュー］の［システム設定］で［Fn キー設定］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64)をご覧ください。

❷ ＋または－ボタンを押して［Fnキー］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

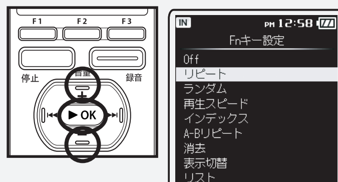


・本機の使い方にあわせてお好みの設定を登録できます。

ファンクションボタン一覧：

Off	A-B リピート
リピート	消去
ランダム	表示切替
再生スピード	リスト
インデックス	

❸ ＋または－ボタンを押して、登録したい項目を選び、▶OK ボタンを押す。



・引き続き Fn キーの登録を行う場合は、手順の ❷ 〜 ❸ の操作を繰り返し行ってください。

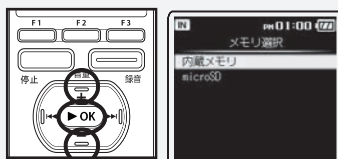
［メモリ選択］

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます(☞ P.31)。

❶［メニュー］の［システム設定］で［メモリ選択］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64)をご覧ください。

❷ ＋または－ボタンを押して記録メディアを選び、▶OK ボタンを押す。



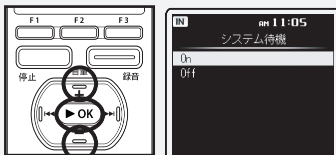
［システム待機］

本機の電源を切らずに停止状態のままディスプレイ表示を消し、システム待機モードにする設定ができます。

❶ ［メニュー］の［システム設定］で［システム待機］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ ＋またはーボタンを押して［システム待機］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



［**On**］：システム待機が起動します。
［**Off**］：システム待機が解除されます。

・待機状態から再起動させるには、**電源／ホールド**スイッチをオンにしてください。システム待機状態から高速起動で本機が復帰します。

ご注意

・システム待機中は電池を消耗しますので、電池残量にご注意ください。
・[**オートパワーオフ**] の設定を [**Off**] 以外の時間に設定し、さらに [**システム待機**] を [**On**] に設定した場合は、[**オートパワーオフ**］の設定時間になると、本機は自動的にシステム待機状態になります。
・システム待機状態は最大で 24 時間まで有効です。最大時間を経過すると、本機は自動的に電源が切れます。

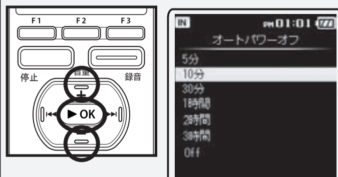
［オートパワーオフ］

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、電源がオフになります。移行時間は［**5 分**］［**10 分**］［**30 分**］［**1 時間**］［**2 時間**］［**3 時間**］［**Off**］の中から選んで設定できます。

❶ ［メニュー］の［システム設定］で［オートパワーオフ］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ ＋またはーボタンを押して［オートパワーオフ］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



3
システムに関する設定［システム設定］

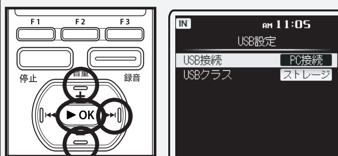
[USB 設定]

付属の USB ケーブルを使い、パソコンと接続してファイルの送受信などを行う［**PC 接続**］や USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）を接続して充電を行う［**AC アダプタ接続**］の設定のほかに、用途に合わせて USB クラスの切り替えが可能です。

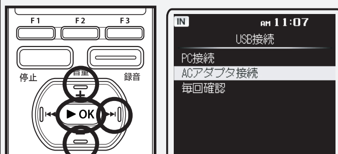
❶ ［メニュー］の [システム設定] で［USB 設定］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

❷ ＋またはーボタンを押して、[USB 接続] または [USB クラス] 選び、▶ OK または ▶▶I ボタンを押す。



❸ ＋またはーボタンを押して、設定したい項目を選び、▶OK ボタンを押す。



[USB 接続] を選んだ場合：

PC 接続	付属の USB ケーブルを使ってパソコンに接続するときの設定です。ストレージとして接続されます。
AC アダプタ接続	付属の USB ケーブルを使って USB 接続 AC アダプタ(A514)（別売）に接続するときの設定です。充電中は本機の動作は可能です。
毎回確認	USB 接続をする毎に接続方法を確認する設定です。

[USB クラス] を選んだ場合：

ストレージ	パソコン側から外部記憶装置として認識されます。
コンポジット	パソコンと接続し、外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして使うときの設定です。

・［**ストレージ**］、［**コンポジット**］で初めて本機をパソコンに接続すると、ドライバがパソコンに自動的にインストールされます。パソコンに接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。

ご注意

・［**USB 接続**］の設定を［**PC 接続**］にしたまま USB 接続 AC アダプタを接続すると、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。
・［**USB 接続**］の設定を［**AC アダプタ接続**］にしたままパソコンに接続すると、パソコン側から認識されません。
・［**コンポジット**］に設定してもパソコンに外部記憶装置として認識されない場合は、［**ストレージ**］に切り替えてください。

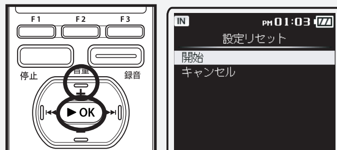
［設定リセット］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

❶ ［メニュー］の［システム設定］で［設定リセット］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」（☞ P.64）をご覧ください。

❷ ＋ボタンを押して［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。



・各種設定が初期値に戻ります。

設定リセット後の初期値：

● **録音設定**（☞ P.69）

［マイク感度］	［中］
［録音モード］	
［WMA］	［ステレオ XQ］
［録音レベル］	［オート］
［指向性マイク］	［Off］
［ローカットフィルタ］	［Off］
［VCVA］	
［On ／ Off］	［Off］
［待機モニター］	［Off］
［録音シーン］	［Off］
［タイマー録音］	［Off］
［フォルダ名］	［最初のフォルダ名］

● **再生設定**（☞ P.80）

［ノイズキャンセル］	［Off］
［EUPHONY］	［Off］
［音声フィルタ］	［Off］
［リピート］	［Off］
［ランダム］	［Off］
［再生スピード］	［100］
［スキップ間隔］	
［スキップ再生］	［ファイルスキップ］
［逆スキップ再生］	［ファイルスキップ］
［再生シーン］	［Off］

● **［表示／音設定］**（☞ P.86）

［バックライト］	
［点灯時間］	［10 秒］
［微灯時間］	［30 秒］
［輝度設定］	［レベル 2］
［LED］	［On］
［ビープ音］	［音量 3］
［言語選択］	［日本語］
［音声ガイド］	
［メニューガイド］	［On］
［ファイルガイド］	［On］
［スピード］	［100］
［音量］	［音量 3］
［アラーム再生］	［Off］
［アクセシビリティ］	［Off］

● **システム設定**（☞ P.99）

［Fn キー設定］	
［F1］	［リスト］
［F2］	［インデックス］
［メモリ選択］	［内蔵メモリ］
［システム待機］	［Off］
［オートパワーオフ］	［10分］
［USB 設定］	
［USB 接続］	［PC 接続］
［USB クラス］	［ストレージ］

- **ブック設定 (DAISY 設定) ***
  (テキストスピーチ設定) *
  (☞ P.106)

［**スキップモード**］	［**セクション**］
［**文字コード**］	［**ANSI**］
［**テキスト言語**］	［**日本語**］

* ［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときのみ。

ご注意

- 設定リセット後の［**時計設定**］やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

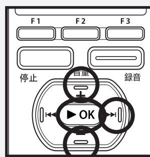
［初期化］

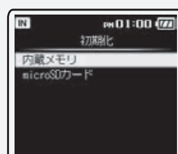
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

❶ **［メニュー］の［システム設定］で［初期化］を選ぶ。**

- メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64) をご覧ください。

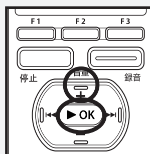
❷ **＋または－ボタンを押して初期化する記録メディアを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

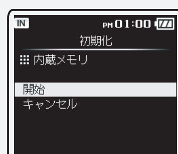




- ［**開始**］と［**キャンセル**］が点灯します。

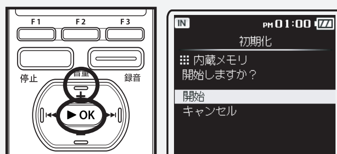
❸ **＋ボタンを押して、［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。**



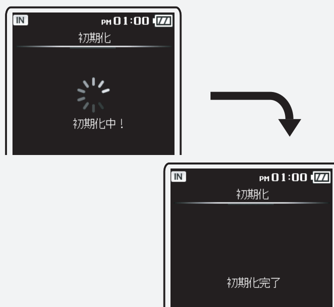


- ［**データが完全に消去されます**］が 2 秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

❹ **+ボタンを押して、もう一度［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。**



・［**初期化中！**］が表示され、初期化が開始されます。
・［**初期化完了**］が点灯したら初期化終了です。



ご注意

- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.99）。
- データが破損するおそれがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。また、処理中に電池が切れることのないように、電池残量を十分に確認してください。
  ① 処理中に AC アダプタを抜く。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**microSD**］の場合、処理中に microSD カードを取り外す。
- 本機をパソコンから［**初期化**］することは絶対にしないでください。
- ［**初期化**］をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください（☞ P.102）。
- 本機での初期化はクイックフォーマットとなります。初期化や削除で microSD カードまたは内蔵メモリの記録内容を消しても、完全にはデータ消去されません。廃棄の際にはカードを破壊するなど個人情報が流失しない対策をとることをお奨めします。

［メモリ情報］

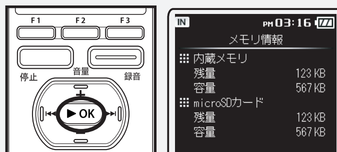
メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

❶ ［メニュー］の［システム設定］で［メモリ情報］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64)をご覧ください。

❷ 情報を確認したら、▶OK ボタンを押す。

・記録メディアの［**残量**］［**容量**］を表示します。microSD カードを入れていない場合、内蔵メモリの情報のみ表示されます。



ご注意

・記録メディアの残量については、本機が使用する管理ファイルが使用する領域分も含まれています。特に microSD カードについては、この管理領域以外にも microSD カードとしての管理領域分も加わるため、その分 microSD カードの規格容量を下回って表示されますが、異常ではありません。

［システム情報］

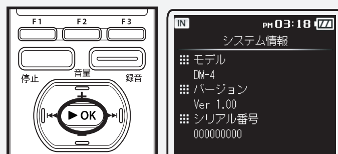
メニュー画面から本機の情報を確認できます。

❶ ［メニュー］の［システム設定］で［システム情報］を選ぶ。

・メニュー設定への入り方は「**メニュー設定のしかた**」(☞ P.64)をご覧ください。

❷ 情報を確認したら、▶OK ボタンを押す。

・［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。



ブックに関する設定［ブック設定］

本機の［**DAISY**］フォルダ内に取り込まれているDAISYコンテンツのスキップ間隔や、［**TEXT**］フォルダ内に取り込まれているテキストファイルの文字コード変更、言語選択に関する設定が行えます。

・［**アクセシビリティ**］（☞ P.93）の設定が［**On**］に設定されているとき、［**ブック設定**］は［**DAISY 設定**］および［**テキストスピーチ設定**］になります。

［スキップモード］

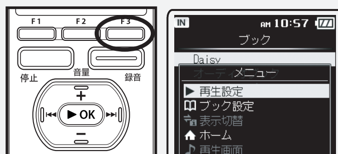
DAISYコンテンツは、章、節、項、ページなどの単位によって区切られており、ある場所から次の場所へとすばやく移動できます。移動可能な単位は、章、節、項、ページ以外にもグループやフレーズ、ブックマークもあります。コンテンツファイルの再生の仕方にあわせてお好みのスキップモードを設定できます。

❶ ［ホーム］画面の［ブック］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、［**DAISY**］を選んでください。

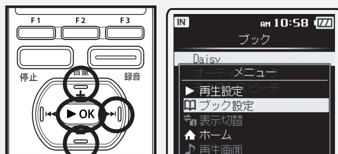
❷ ブックリスト表示画面で、F3（メニュー）ボタンを押す。

・ポップアップメニュー画面に入ります。
・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、ファイル表示画面で、**F3 (メニュー)** ボタンを押します。

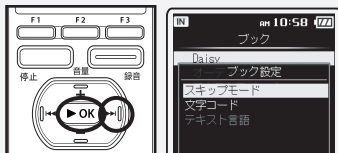


❸ ＋ または − ボタンを押して［ブック設定］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

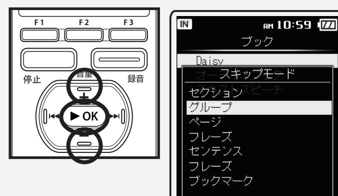
・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、［**DAISY 設定**］を選んでください。



❹ ［スキップモード］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

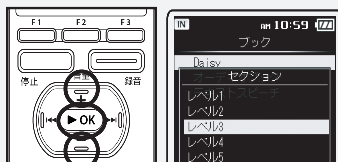


❺ ＋または−ボタンを押して［スキップモード］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



［セクション］を選んだ場合の設定:

❻ **＋または－ボタンを押して、［セクション］の設定を選び、▶OK ボタンを押す。**



スキップモード一覧:

セクション（レベル1～6）	DAISY コンテンツの章、節、項などを意味します。例：［**レベル1**］が章、［**レベル2**］が節、［**レベル3**］が項に相当します。
グループ	セクション内の一部分をグループと呼びます。グループは、図表説明の先頭・最後などに設定されている場合があります。
ページ	本のページに相当します。
センテンス	文章を音読すると、文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。この間から次の間までのひと区切りの音声を、「センテンス」と呼びます。
フレーズ	語句、慣用句などに相当します。
ブックマーク	インデックスマーク（ブックマーク）の付いている場所を示します。

ご注意

・DAISY コンテンツによっては区切られる単位に該当する場所がない場合があります。

［文字コード］

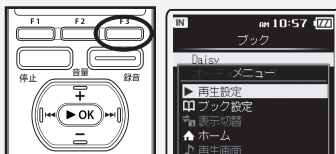
本機の［**TEXT**］フォルダ内に取り込んだテキストファイルの文字コードにあわせて表示用文字の設定を切り替えることができます。様々な環境で作られたテキストファイルの読み上げに対応するために、必要に応じて文字コードを変換してお使いください。

❶ **［ホーム］画面の［ブック］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

・［**アクセシビリティ**］（☞ P.93）の設定が［**On**］に設定されているときは、［**テキストスピーチ**］を選んでください。

❷ **ブックリスト表示画面で、F3（メニュー）ボタンを押す。**

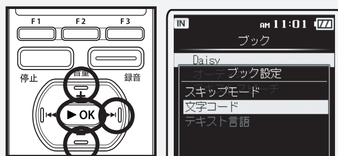
・ポップアップメニュー画面に入ります。
・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、ファイル表示画面で、**F3（メニュー）**ボタンを押します。



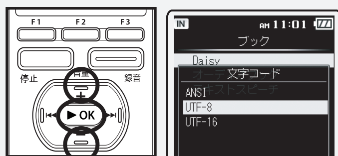
❸ **＋または－ボタンを押して［ブック設定］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、［**テキストスピーチ設定**］を選んでください。

❹ **＋または－ボタンを押して［文字コード］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



❺ **＋または－ボタンを押して変更したい文字コードを選び、▶OK ボタンを押す。**



［テキスト言語］

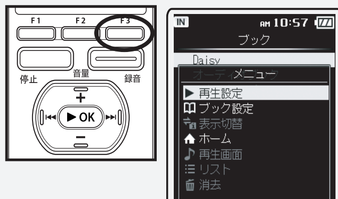
本機の［**TEXT**］フォルダ内に取り込まれているテキストファイルを読み上げる時の言語を選択できます。

❶ **［ホーム］画面の［ブック］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

・［**アクセシビリティ**］（☞ P.93）の設定が［**On**］に設定されているときは、［**テキストスピーチ**］を選んでください。

❷ **ブックリスト表示画面で、F3（メニュー）ボタンを押す。**

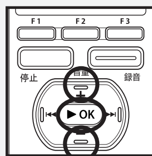
・ポップアップメニュー画面に入ります。
・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、ファイル表示画面で、**F3（メニュー）**ボタンを押します。

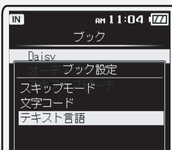


❸ **＋または－ボタンを押して［ブック設定］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

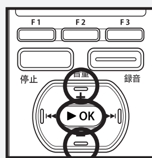
・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、［**テキストスピーチ設定**］を選んでください。

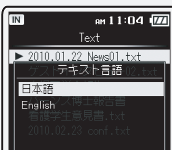
❹ ＋または－ボタンを押して［テキスト言語］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。





❺ ＋または－ボタンを押して設定を変更して、▶OK ボタンを押す。





ご注意

- ［**表示 / 音設定**］の［**音声ガイド**］（☞ P.88）の設定で［**On**］の場合、［**テキスト言語**］の切り替えはできません。［**音声ガイド**］の設定を［**Off**］にしてから［**テキスト言語**］の設定を行ってください。
- ［**音声ガイド**］（☞ P.88）の設定が［**On**］の場合、［**テキスト言語**］は［**音声ガイド**］の設定と同じになります。

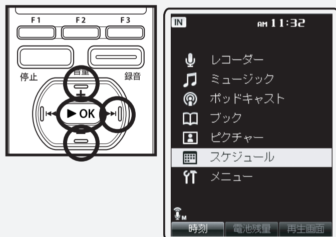
スケジュール設定［スケジュール］

本機はスケジュール機能を搭載しています。簡易スケジュールの登録のほかに、指定した日付に音声録音によるボイスメモを記録することができます。

カレンダーを表示させる

❶［ホーム］画面から［▦ スケジュール］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

・月単位のカレンダー表示に入ります。





ご注意

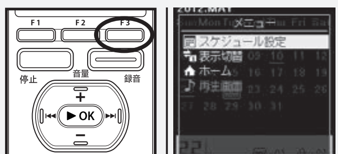
・カレンダー表示では祝祭日表示には対応していません。

カレンダー表示の切り替え

カレンダー画面を、1ヶ月、1週間、1日の画面に切り替えられます。

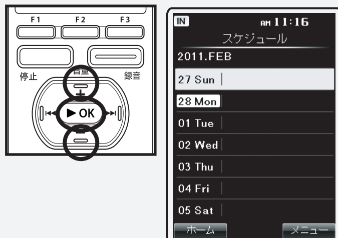
❶ カレンダー画面で、F3（メニュー）ボタンを押す。

・ポップアップメニュー画面に入ります。



❷ +または−ボタンを押して［表示切替］を選び、▶OK ボタンを押す。

・週単位の表示に切り替わります。



・週単位の表示で曜日にカーソルをあわせて ▶OK ボタンを押すと日単位の表示画面になります。

・一度スケジュール機能を終えると、次にカレンダー表示を開くときは月単位の表示に戻ります。

カレンダー画面での操作

月単位の画面での操作：



［F1］ボタン	［**ホーム**］画面に戻ります。
［F2］ボタン	月の移動設定を行います。ポップアップ画面で、＋または－ボタンで前月または次月を選びます。
［F3］ボタン	メニュー設定画面に入ります。

週単位の画面での操作：



［F1］ボタン	［**ホーム**］画面に戻ります。
［F2］ボタン	機能しません。
［F3］ボタン	メニュー設定画面に入ります。

日単位の画面での操作：

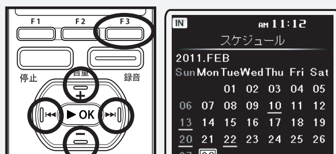


［F1］ボタン	週単位の画面に戻ります。
［F2］ボタン	日単位のスケジュールの詳細を表示します。
［F3］ボタン	メニュー設定画面に入ります。

スケジュールを登録する

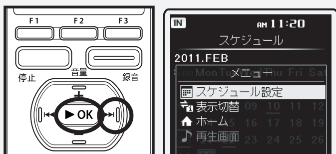
スケジュールを登録します。スケジュールの開始／終了時間や繰り返しの回数、スケジュールに関するキーワードと音声録音によるキーワードを記録できます。

❶ カレンダー画面で**+**、**−**、**▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押して登録したい日付を選び、F3 **(メニュー)** ボタンを押す。



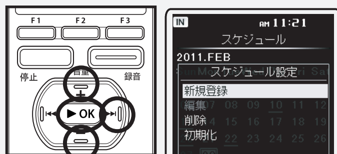
・ポップアップメニュー画面に入ります。

❷ **[▦ スケジュール設定]** を選び、▶OK または **▶▶I** ボタンを押す。

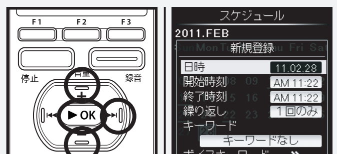


・スケジュール設定画面に入ります。

❸ **+**または**−**ボタンを押して **[新規登録]** を選び、▶OK または **▶▶I** ボタンを押す。



❹ 設定する項目にカーソルをあわせ、▶OK または **▶▶I** ボタンを押す。

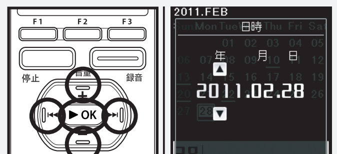


・各設定画面に入ります。

[日時] の設定：

この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

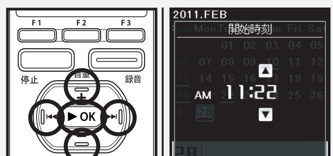
❶ **+**、**−**、**▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押して **[日時]** の **[年] [月] [日]** を確定して、▶OK ボタンを押す。



[開始時間] と [終了時間] の設定:


この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

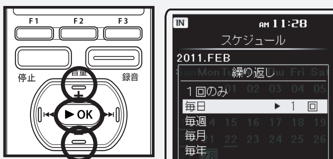
❶ +、 −、▶▶I、I◀◀ ボタンを押して［**開始時間**］または［**終了時間**］の［**時**］［**分**］を確定して、▶OK ボタンを押す。



[繰り返し] の設定:

❶ +または−ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す。

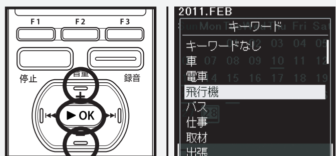
- 設定するスケジュールを [**1回のみ**]、[**毎日**]、[**毎週**]、[**毎月**]、[**毎年**] の中で繰り返して登録できます。



[キーワード] の設定:


この設定では音声コントロール機能が使えます（☞ P.127）。

❶ +または−ボタンを押して、設定したいキーワードを選び、▶OK ボタンを押す。

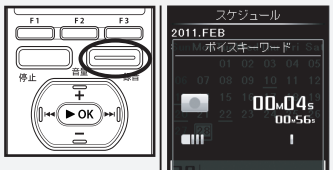


キーワード一覧:

車	電車	飛行機
バス	仕事	取材
出張	会議	講義
授業	メモ	記録
電話録音	日記	会話
お気に入り	学校	病院
趣味	食事	買い物
旅行	レッスン	語学学習
ドライブ	スポーツ	キャンプ
音楽演奏	家族	子供
恋人	友人	イベント
休日	デート	誕生日
給料日		

[ボイスキーワード] の設定：

❶ **録音**ボタンを押してスケジュールのキーワードやコメントを録音する。

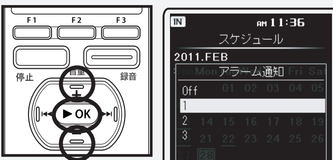


❷ ボイスキーワードを録音したら、**停止**ボタンを押して録音を終了する。

- 録音したボイスキーワードのあるスケジュールには、 が表示されます。
- 録音したボイスキーワードはスケジュールの詳細画面で [**ボイスキーワード**] にカーソルを合わせると自動的に再生します。

[アラーム通知] の設定：

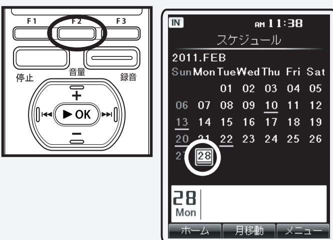
❶ **+**または**−**ボタンを押して [**アラーム通知**] の設定を選び、▶OK ボタンを押す。



[**Off**]：アラームは機能しません。
[**1**] ～ [**3**]：アラーム通知のアラーム音を選べます。

設定を完了する：

❶ F2（**決定**）ボタンを押して設定を確定する。



- 登録した曜日に下線が表示されます。

ご注意

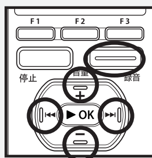
- 最大で 1000 件のスケジュールを登録できます。
- ボイスキーワードは最大 1 分間の記録が行えます。

ボイスメモを登録する

指定の日にちに音声録音によるメモを記録することができます。

月単位の画面から登録する場合：

❶ カレンダー画面で**＋**、**－**、**▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押して登録したい日付を選び、**録音**ボタンを押す。



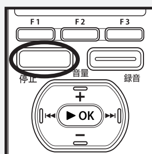




・ボイスメモの録音を開始します。

❷ **停止**ボタンを押して、録音を止める。

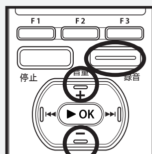
・画面に登録されているボイスメモ件数が表示されます。





週単位の画面から登録する場合：

❶ 週単位の画面で**＋**または**－**ボタンを押して登録したい曜日を選び、**録音**ボタンを押す。



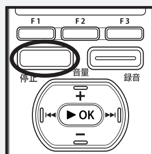




・ボイスメモの録音を開始します。

❷ **停止**ボタンを押して、録音を止める。

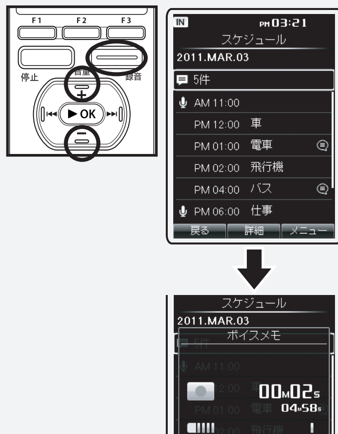
・画面に登録されているボイスメモ件数が表示されます。





日単位の画面から登録する場合：

❶ 日単位の画面で＋または－ボタンを押してボイスメモ表示にカーソルをあわせて、**録音**ボタンを押す。



・ボイスメモの録音を開始します。

❷ **停止**ボタンを押して、録音を止める。

・画面に登録されているボイスメモ件数が表示されます。



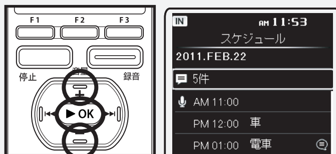
ご注意

・ボイスメモは1日 99 件まで登録することができます。

・ボイスメモは最大 5 分間の記録が行えます。

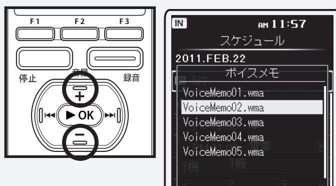
ボイスメモを聞く：

❶ 日単位の画面で＋または－ボタンを押してボイスメモ表示にカーソルをあわせて、▶OK ボタンを押す。



・ボイスメモの詳細表示画面に入ります。

❷ ＋または－ボタンを押して聞きたいボイスメモにカーソルをあわせる。

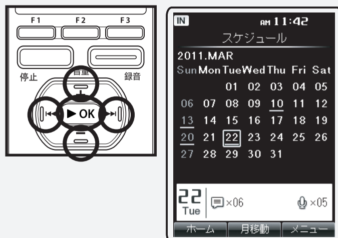


・カーソルをあわせるとボイスメモが自動的に再生されます。

スケジュールリスト画面から音声ファイルを再生をする

本機で録音した音声ファイルは、収録日時にあわせてスケジュールリスト画面にアイコン表示されます。スケジュール画面から録音した音声ファイルを再生することができます。

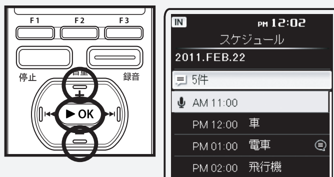
❶ カレンダー画面で+、−、▶▶I、I◀◀ ボタンを押して録音した日付を選び、▶OK ボタンを押す。





・スケジュールリスト画面に入ります。

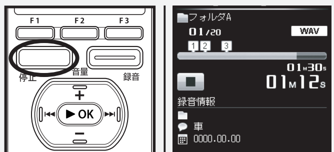
❷ +または−ボタンを押して🎙アイコンのあるスケジュールにカーソルをあわせて、▶OK ボタンを押す。





・音声ファイルの再生を開始します。

❸ 停止ボタンを押して、再生を止める。



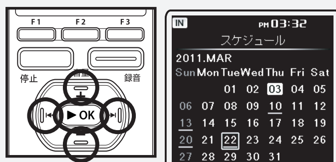
ご注意

・ 再生を停止すると音声ファイルの停止画面になります。引き続き、他の音声ファイルを再生するには、もう一度手順 ❶ から操作を行ってください。

スケジュールを編集する

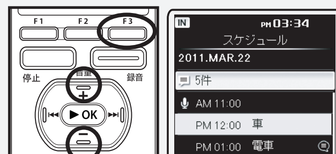
登録したスケジュール内容を変更できます。

❶ カレンダー画面で＋、－、▶▶I、I◀◀ ボタンを押して、変更したいスケジュールのある日付を選び、▶OK ボタンを押す。



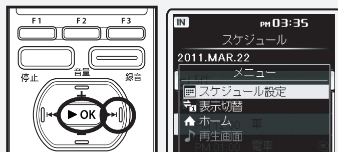
・スケジュールリスト画面に入ります。

❷ ＋または－ボタンを押して編集したいスケジュールを選び、F3（**メニュー**）ボタンを押す。



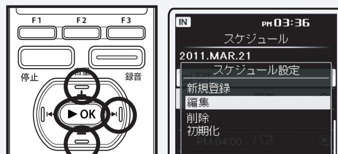
・ポップアップメニュー画面に入ります。

❸ [**スケジュール設定**] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



・スケジュール設定画面に入ります。

❹ ＋または－ボタンを押して [**編集**] を選び、▶ OK または ▶▶I ボタンを押す。

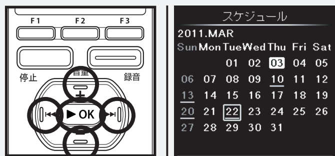


・スケジュール内容の変更手順は「**スケジュールを登録する**」を参照してください。

スケジュールを削除する

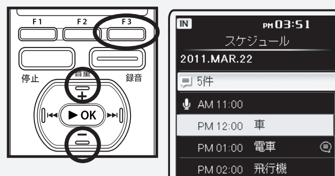
登録したスケジュール内容を削除します。

❶ カレンダー画面で＋、−、▶▶I、I◀◀ ボタンを押して、削除したいスケジュールのある日付を選び、▶OK ボタンを押す。



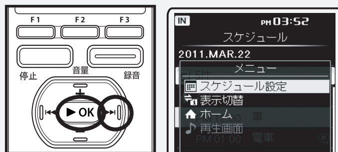
・スケジュールリスト画面に入ります。

❷ ＋または−ボタンを押して削除するスケジュールを選び、F3(**メニュー**)ボタンを押す。



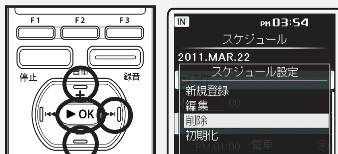
・ポップアップメニュー画面に入ります。

❸［**スケジュール設定**］を選び、▶OK または▶▶I ボタンを押す。

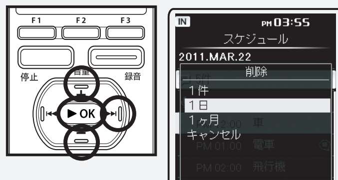


・スケジュール設定画面に入ります。

❹ ＋または−ボタンを押して［**削除**］を選び、▶OK または▶▶I ボタンを押す。

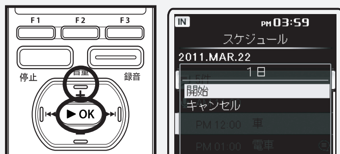


❺ ＋または−ボタンを押して消去する件数を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



1件	指定した1件のスケジュールを削除します。
1日	選んだ曜日に登録されているスケジュールを削除します。
1か月	選んだ月に登録されているスケジュールを全て削除します。

❻ **＋ボタンを押して［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。**



・指定した件数のスケジュールが削除されます。

ご注意

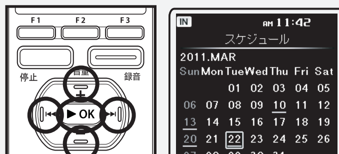
・スケジュールの削除を行っても、録音した音声ファイルのデータとスケジュールリスト画面の表示（🎙）は残ります。音声ファイルの削除については、「**消去する**」（☞ P.59）をご覧ください。

・スケジュールの登録で、繰り返し設定されているスケジュールは、全て削除されます（☞ P.113）。

ボイスメモを削除する

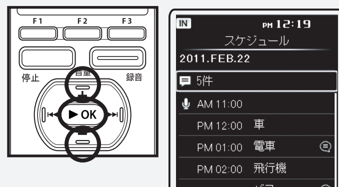
登録したボイスメモを削除します。

❶ **カレンダー画面で＋、−、▶▶|、|◀◀ ボタンを押して、削除したいボイスメモのある日付を選び、▶OK ボタンを押す。**



・スケジュールリスト画面に入ります。

❷ **＋または−ボタンを押してボイスメモにカーソルをあわせて、▶OK ボタンを押す。**

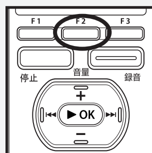


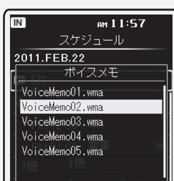
・ボイスメモのリスト表示画面に入ります。

3

スケジュール設定［スケジュール］

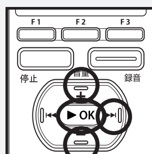
❸ F2(**削除**) ボタンを押す。

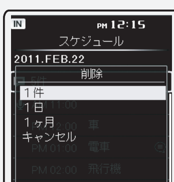




・ポップアップ画面に入ります。

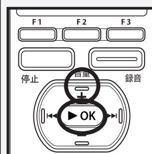
❹ **＋またはーボタンを押して消去する件数を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

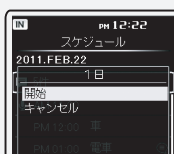




1件	指定した1件のボイスメモを削除します。
1日	選んだ曜日に登録されているボイスメモを削除します。
1か月	選んだ月に登録されているボイスメモを削除します。

❺ **＋ボタンを押して [開始] を選び、▶OK ボタンを押す。**



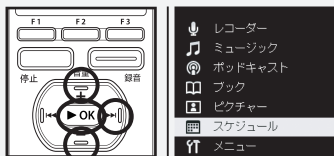


・指定した件数のボイスメモが削除されます。

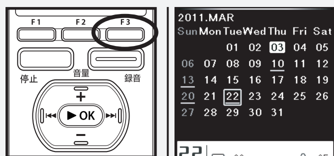
スケジュールを初期化する

登録したスケジュール内容全てを削除し、初期化します。

❶ **[ホーム]** 画面から **[📅 スケジュール]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

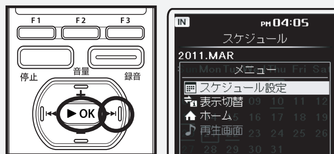


❷ カレンダー画面で、F3（**メニュー**）ボタンを押す。

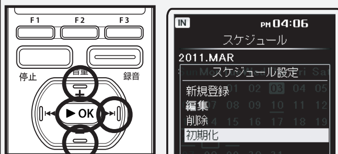


・ポップアップメニュー画面に入ります。

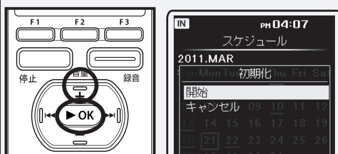
❸ **[📅 スケジュール設定]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



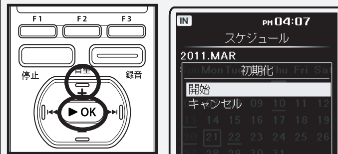
❹ **＋**または**－**ボタンを押して **[初期化]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



❺ **＋**ボタンを押して **[開始]** を選び、▶OK ボタンを押す。



❻ **＋**ボタンを押して、もう一度 **[開始]** を選び、▶OK ボタンを押す。



・[**初期化完了**] が点灯したら初期化終了です。

ご注意

・スケジュールの初期化を行っても、録音した音声ファイルのデータとスケジュールリスト画面の表示（🎙）は残ります。音声ファイルの削除については、「**消去する**」（☞ P.59）をご覧ください。

画像を閲覧する

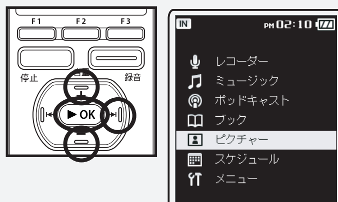
本機はデジタルカメラと接続して画像を取り込めます。

・［**アクセシビリティ**］の設定が［**On**］に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには［**アクセシビリティ**］の設定を［**Off**］に設定してください (☞ P.93)。

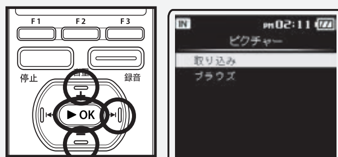
本機はストレージ(USB ストレージクラス)をサポートしているデジタルカメラとの接続が可能です。付属の USB 接続ケーブルを使って接続できます。

画像を取り込む

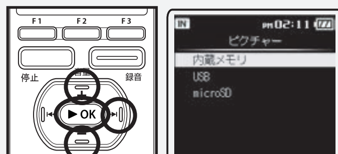
❶ ［**ホーム**］画面から［**ピクチャー**］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



❷ ＋またはーボタンを押して［**取り込み**］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



❸ ＋またはーボタンを押して［microSD］または［USB］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押して取り込み元を決定する。

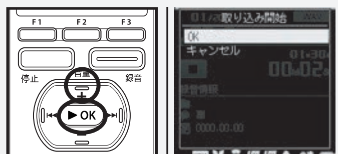


・DCIM フォルダ以下の JPEG 形式の画像ファイルを取り込めます。

[microSD]	microSD 内に取り込まれている画像を本機に取り込みます。
[USB]	接続中のデジタルカメラ内の画像を本機に取り込みます。

❹ ＋またはーボタンを押して［**内蔵メモリ**］または［microSD］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押して取り込み先を決定する。

❺ ＋ボタンを押して［OK］を選び、▶OK ボタンを押す。



・ディスプレイが［**同期中**］にかわり、取り込みを開始します。［**完了**］と表示されたら終了です。

3

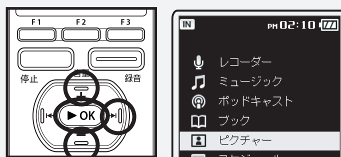
画像を閲覧する

ご注意

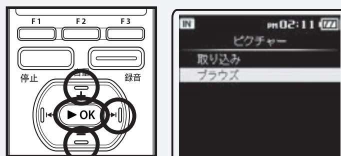
- 本機で取り込める画像は、DCF 規格に準拠したフォルダ構成で管理された JPEG ファイルが対象です。

画像を見る

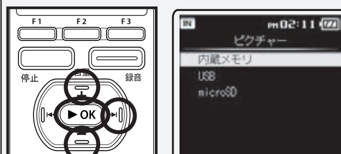
❶ **[ホーム]** 画面から **[ピクチャー]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



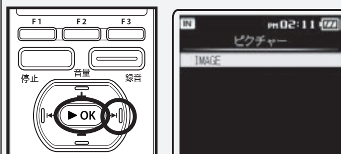
❷ **+**または**−**ボタンを押して **[ブラウズ]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



❸ **+**または**−**ボタンを押して **[内蔵メモリ]**、**[microSD]** または **[USB]** を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

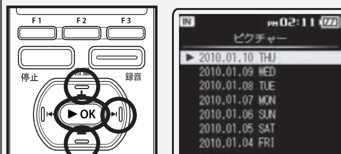


❹ **[IMAGE]** フォルダを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



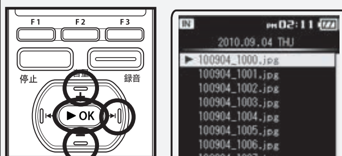
- ディスプレイに撮影された日付がリスト表示されます。

❺ **+**または**−**ボタンを押して撮影した日付を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



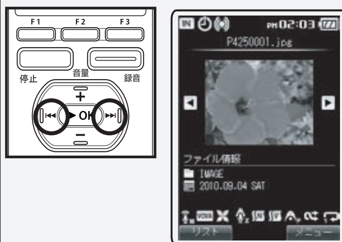
- ディスプレイに画像の一覧が表示されます。

6 **＋または－ボタンを押して画像ファイルを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



・ディスプレイに画像が表示されます。

7 **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、画像ファイルをコマ送りする。**



ご注意

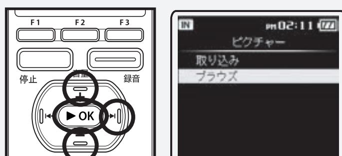
・ EXIF 形式の画像フォーマットに対応した JPEG ファイルのみ本機で表示可能です。

画像を消去する

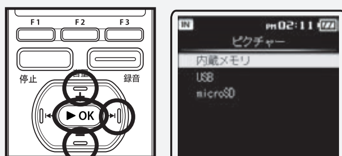
1 **［ホーム］画面から［ ピクチャー］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



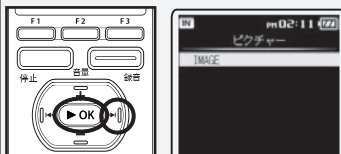
2 **＋または－ボタンを押して［ブラウズ］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**



3 **＋または－ボタンを押して［内蔵メモリ］、[microSD] または [USB] を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。**

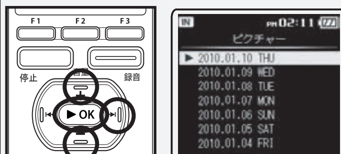


❹［IMAGE］フォルダを選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



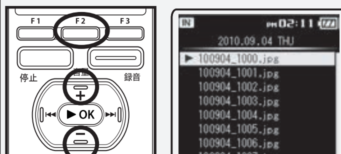
・ディスプレイに撮影された日付がリスト表示されます。

❺＋または－ボタンを押して撮影した日付を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。



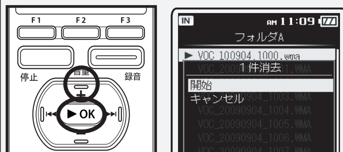
・ディスプレイに画像の一覧が表示されます。

❻＋または－ボタンを押して消去する画像を選び、F2（消去）ボタンを押す。



・消去確認画面が表示されます。

❼＋または－ボタンを押して［1件消去］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す



❽＋ボタンを押して［開始］を選び、▶OK ボタンを押す。

・ディスプレイが［**消去中!**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

・消去手順の詳細については、**「ファイルリスト表示画面で消去する」**（☞ P.60）、**「フォルダ内のファイルをすべて消去する」**（☞ P.61）**「フォルダを消去する」**（☞ P.61）をご覧ください。

音声認識機能を使う

本機は音声認識機能を搭載しています。日時・時刻設定、キーワード入力やフォルダ名変更などの複雑な入力操作を音声によって自動認識し、設定できます。
また、音声認識により [ホーム] 画面における各モードやメニュー設定への移行をショートカットできます。

音声コントロールを使う

❶ 取扱説明書内で、VOICE マークのある設定時に、**ボイス**ボタン (☞ P.16) を押しながら設定に関連した用語を言う。

実際の操作方法を例に本機で行える音声コントロール機能を説明します。

[時計設定] **時刻入力での音声認識について：**	[**時計設定**] の「時」「分」「年」「月」「日」の設定時に、設定したい「年月日」と「時刻」を言います。 **例：2010 年 2 月 10 日の場合** 2010ネン2ガツ10カ ゴゼン10ジ20プン
[タイマー録音] **時刻入力での音声認識について：**	[**タイマー録音**] 設定の [**開始時間**] と [**終了時間**] の設定時に、「時刻」を言います。 **例：開始時間が午前 9 時 30 分の場合** ゴゼン9ジ30プン **例：終了時間が午前 11 時 00 分の場合** ゴゼン11ジゼロフン
[タイマー録音] **キーワード入力での音声認識について：**	テンプレートにある「キーワード」を言います。 **例：[会議] を設定する場合** カイギ
[フォルダ名] **設定での音声認識について：**	[**フォルダ名**] の変更設定時の、テンプレートにある用語を言います。 **例：[仕事] に変更する場合** シゴト
[アラーム再生] **時刻入力での音声認識について：**	[**アラーム再生**] 設定の [**開始時間**] の設定時に、「時刻」を言います。 **例：開始時間が 6 時 30 分の場合** ゴゼン6ジ30プン
[スケジュール設定] **時刻入力での音声認識について：**	[**スケジュール登録**] 設定の [**開始時間**] と [**終了時間**] の設定時に、「時刻」を言います。 **例：開始時間が午前 9 時 30 分の場合** ゴゼン9ジ30プン **例：終了時間が午前 11 時 00 分の場合** ゴゼン11ジゼロフン
[スケジュール設定] **キーワード入力での音声認識について：**	テンプレートにある「キーワード」を言います。 **例：[会議] を設定する場合** カイギ

音声コマンドを使う

1 停止中に [ホーム] 画面でボイスボタンを押し、音声コマンド用語を言う。

[**レコーダー**] モードが動作または操作中の場合は音声コマンドは使用できません。

音声コマンド用語一覧:

ホーム	レコーダー	ミュージック
ポッドキャスト *1	ブック	ピクチャー *1
スケジュール	メニュー	デイジー *2
テキストスピーチ *2	ファンクション *3	

*1 [**アクセシビリティ**] (☞ P.93) の設定が [**On**] に設定されているときは使用できません。
*2 [**アクセシビリティ**] の設定が [**Off**] に設定されているときは使用できません。
*3 現在ファンクションボタンに割り当てられている機能を音声でお知らせします。

実際の操作方法を例に本機で行える音声コントロール機能を説明します。

各モードへの移行:	レコーダー以外のモードに、切り替えたいモード名を言うと、そのモードへジャンプします。 **例:[ミュージック] の場合**  [**ミュージック**] モードへ移行します。

音声認識機能に関するご注意

- 周囲の雑音が多い場所では、音声認識が困難になってしまいます。なるべく周囲の静かな環境でご使用ください。
- 発声の仕方や口調によって、認識率に差が生じます。はっきりした口調でゆっくりと話してください。

3 音声認識機能を使う

DAISY コンテンツを取り込む

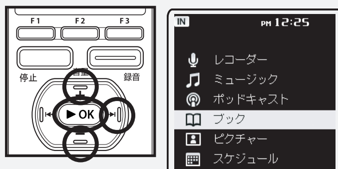
本機は USB 端子を内蔵しているCDドライブと接続し、DAISY コンテンツをCDから直接取り込めます。

本機はストレージ(USB ストレージクラス)をサポートしている CD プレーヤーとの接続が可能です。付属の USB 接続ケーブルを使って接続できます。

取り込みを始める前に、あらかじめ CD ドライブに DAISY コンテンツ CD を入れてください。

❶ ［**ホーム**］画面から［🕮 **ブック**］を選び、▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

・［**アクセシビリティ**］(☞ P.93) の設定が［**On**］に設定されているときは、［**DAISY**］を選んでください。

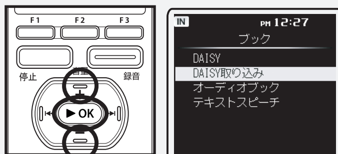


・［**アクセシビリティ**］の設定が［**Off**］に設定されているときは、手順 ❹ に進んでください。

❷ **F3(メニュー)** ボタンを押してメニューを表示させる。

❸ ＋またはーボタンを押して［**DAISY 設定**］を選び ▶OK または ▶▶I ボタンを押す。

❹ ＋またはーボタンを押して［**DAISY 取り込み**］を選び、▶OK ボタンを押す。



❺ ＋ボタンを押して［**開始**］を選び、▶OK ボタンを押す。

・ディスプレイが［**取り込み中**］にかわり、取り込みを開始します。［**完了**］と表示されたら終了です。

・取り込んだ DAISY コンテンツは［**ブック**］の［**DAISY**］内に保存されます。

ご注意

・ 本機で取り込める DAISY コンテンツは、DAISY 2.0/2.02 のバージョン構成されたファイルが対象です。

3

DAISY コンテンツを取り込む

ファイルをパソコンに保存する

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンで音声ファイルを再生する（☞ P.146）。
  本機で録音した音声ファイルは、同梱の CD-ROM に含まれているソフトウェア Olympus Sonority（☞ P.135）または Windows Media Player（☞ P.160）を使って、パソコン上で再生できます。
- Olympus Sonority を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理できます。
- Windows Media Player を使ってパソコンに取り込んだ WMA や MP3 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます（☞ P.163）。
- Olympus Sonority Plus へのアップグレード（有償）および音楽編集プラグインの追加（有償）を行えば、より多彩な機能をご利用いただけます（☞ P.158）。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードするときはパソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続ケーブルを外さないでください。また、USB 接続ケーブルを外す場合は、必ず ☞ P.134 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合は正しく初期化されません。初期化は、本機のメニューから行ってください（☞ P.103）。
- Windows に付属の Explorer、Macintosh に付属の Finder で表示されるフォルダ（ディレクトリ）名は本機および Olympus Sonority で設定できるフォルダ名とは異なります。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、イヤホンを外してください。

ソフトウェアの機能説明についての注意事項

機能の項目で Windows で使用できる場合は **Windows**、Macintosh で使用できる場合は **Macintosh** と表記しています。**Windows** または **Macintosh** のいずれか一方のみが記載されている項目は、対象のシステムでのみのサポートとなります。

パソコンの動作環境

Olympus Sonority の基本動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）	Microsoft ® Windows® XP Service Pack 2, 3 Microsoft ® Windows® XP Professional x64 Edition Service Pack 2 Microsoft ® Windows Vista®, Service Pack 1, 2（32bit/64bit） Microsoft ® Windows® 7（32bit/64bit）
CPU	1 GHz 以上の 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）プロセッサ
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
ディスプレイ	1024 x 768 ドット、65,536 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	1つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）	MacOS X 10.4.11 -10.7
CPU	PowerPC® G5 またはインテル・マルチコアプロセッサ 1.5GHz 以上
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Safari 2.0 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット、32000 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	1つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境 Quick Time version7.2 以上を推奨

ご注意

Windows

- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7 にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

Macintosh

- Olympus Sonority の一部の機能については、QuickTime 7.2 以上が必要となります。QuickTime の最新版は、MacOS のソフトウェアアップデートで入手できます。

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。
お客様の環境と異なる場合は、説明内容にしたがいそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

- 1 台目のハードディスクを C ドライブとして解説します。
- 1 台目のフロッピーディスクを A ドライブとして解説します。
- 1 台目の CD-ROM ドライブを D ドライブとして解説します。
- Windows XP を使用しているものとし、Windows のインストール先のパスを C:¥Windows として解説します。

また、お客様が パソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。
パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。分からない用語については、［**用語の説明**］をご覧ください (☞ P.187)。

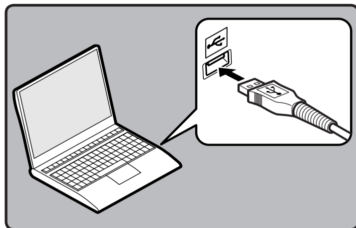
パソコンに接続する

Windows　Macintosh

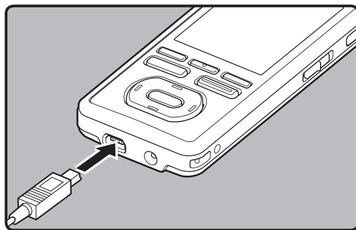
本機の接続は、必ずOlympus Sonorityをインストールしてから行ってください(☞ P.137)。

1 本機の電源を入れる

2 USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



3 本機が停止していることを確認し、本機底面のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する



- USB接続中は、本機のディスプレイに［**PCと接続中です（ストレージ)**］と表示されます。
- 本機のUSB接続設定で、［**ACアダプタ接続**］を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB接続設定を［**PC接続**］にしてください（☞ P.101)。
- Windowsの場合は、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSDカードが入っている場合は［**リムーバブルディスク**］と表示されます。
- Macintoshの場合は、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。microSDカードが入っている場合は［**Untitled**］と表示されます。

ご注意

- USB接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。 またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- USBハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合は、USBハブを使用しないでください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックし、**［USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します］**をクリックする

- お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。



2 レコーダーの LED 表示ランプが消えていることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

- 充電中の場合は、ＬＥＤ表示ランプが橙色に点灯しつづけますが、充電中でもＵＳＢ接続ケーブルを外せます。

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する



2 レコーダーの LED 表示ランプが消えていることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

- 充電中の場合は、ＬＥＤ表示ランプが橙色に点灯しつづけますが、充電中でもＵＳＢ接続ケーブルを外せます。

ご注意

- LED 表示ランプ点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンと接続すると、付属の USB 接続ケーブルより電源が供給されますので、本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。
- パソコンの USB ポートについては、お使いの パソコンの 取扱説明書をご覧ください。
- USB 接続ケーブルは、必ずパソコン本体の USB ポートに接続してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- ホールドは解除してください。

Olympus Sonority でできること

Olympus Sonority はファイルの管理や編集をするためのさまざまな機能が搭載されています。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.140）の各項目をご覧ください。

波形編集機能

波形編集タブで音声データを簡単に加工をすることができます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存できます。

ワンタッチエフェクト機能

ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけたり、指定した領域にノイズリダクションを施せます。

ファイルを E-mail で送信する

音声ファイルはハードディスク上の［**Message**］フォルダの中に保存されています。E-mail に添付して音声ファイル送信できます。

本機のユーザー ID を変更する

本機で録音されるファイルに、自動的に付けられるユーザー ID を変更できます。

フォルダ名を変更する

フォルダ名を変更できます。62 文字まで入力可能ですが、半角の **¥/:*?"<>|** は入力できません。
本機で対応している言語以外の OS（オペレーションシステム）でフォルダ名変更をすると文字化けする場合があります。

コメントを編集する

本機からダウンロードしたファイルに Olympus Sonority 上でコメントをつけられます。入力できる文字数は全角 50 文字（半角 100 文字）以内です。

ファイル形式をその他の形式に変更する *

現在のファイルの保存形式を他の形式に変更できます。

ファイルを結合する *

指定した複数の音声ファイルを結合して 1 つのファイルを作成できます。

ファイルを分割する *

指定した 1 つの音声ファイルを 2 つのファイルに分割できます。

Olympus Sonority を使ってコンテンツを取り込む

・インターネット上でポッドキャスト配信されているコンテンツをパソコンに取り込む。
 ➥ 詳細は［**ポッドキャストについて**］（☞ P.149）をご覧ください。
・DAISY コンテンツをパソコンに取り込む。**
 ➥ 詳細は［**DAISY について**］（☞ P.154）をご覧ください。

* MP3 形式に書き出す場合は、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが必要です（☞ P.158）。

** DAISY 2.0/2.02 のコンテンツに対応しています（☞ P.154）。

ソフトウェアのインストール

本機をパソコンにつないでご使用になるには、同梱の CD-ROM「**Olympus Sonority**」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

インストールの前に次のことをご確認ください

• 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
• Administrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

Windows

1 付属の「Olympus Sonority」を CD-ROM ドライブに挿入する

• 自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順 4 に進み、起動しない場合は次の手順 2、3 にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身をエクスプローラで開く

3 CD-ROM 内にある［**Setup**］をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら、［**オンラインユーザー登録**］をクリックし、ユーザー登録を行なってください

5 ［**Olympus Sonority インストール**］をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める



6 使用許諾契約

• Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**次へ**］をクリックしてください。

7 ユーザー登録情報の登録

• あなたのお名前、会社名および別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力が終りましたら［**次へ**］をクリックします。

8 セットアップタイプの選択

• インストール先を変更ができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は［**カスタム**］を選択します。）

9 インストールの開始

- インストールを開始するには、[**インストール**] をクリックします。インストール作業が終了し、完了画面が表示されるまでは、他の作業を行なわないでください。

10 インストールの完了

- インストールが終了すると、[Install Shield] の完了画面が表示されます。
- 本機をパソコンに接続する場合は [**パソコンに接続する**] (☞ P.133) を、Olympus Sonority を起動する場合は [**Olympus Sonority を起動する**] (☞ P.141) をご覧ください。

Macintosh

1 付属の「Olympus Sonority」を CD-ROM ドライブに挿入する

- CD-ROM の内容が表示された場合は手順 3 に進み、表示されない場合は手順 2, 3 にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身を [**Finder**] で開く

3 CD-ROM 内にある [**Setup**] をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら、[**オンラインユーザー登録**] をクリックし、ユーザー登録を行なってください

5 [**Olympus Sonority のインストール**] をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める

6 使用許諾契約

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[**同意します**] のチェックボックスをクリックした後、[**続ける**] をクリックしてください。

7 インストール先の変更

- インストール先を変更できます。変更しない場合は [**次へ**] をクリックします。(変更する場合は、[**インストール先を変更**] を選択します。)

8 インストールの開始

- インストールを開始するには、[**インストール**] をクリックします。
- インストールが終了すると、[**インストーラ**] の完了画面が表示されます。
- 本機をパソコンに接続する場合は [**パソコンに接続する**] (☞ P.133) を、Olympus Sonority を起動する場合は [**Olympus Sonority を起動する**] (☞ P.141) をご覧ください。
- Olympus Sonority 起動後、シリアル番号の入力ダイアログが表示されます。別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力後、[**OK**] をクリックすると、Olympus Sonority が起動します。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを削除することをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

Windows

1 Olympus Sonority を終了する

2 [**スタート**] メニューより [**コントロールパネル**] を選ぶ

3 コントロールパネルウィンドウ内にある [**プログラムの追加と削除**] をクリックする

4 インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら、[**Olympus Sonority**] を選ぶ

5 [**変更と削除**] をクリックする

6 ファイル削除の確認

- [**OK**] をクリックするとアンインストールを開始します。
  途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示にしたがって操作してください。

7 [**メンテナンスの完了**] の画面が表示されたら [**完了**] をクリックし、アンインストールを終了する

Macintosh

1 Olympus Sonority を終了する

2 [**Finder**] を開き、アプリケーションフォルダ内の [**SonorityUninstaller.pkg**] をダブルクリックする

3 アンインストーラが起動した後、ウィザードに従って手順を進める

4 途中、管理者のパスワードを要求されたら、パスワードを入力して、[**OK**] をクリックする

5 アンインストールが開始され、成功のメッセージが表示されたら、[**閉じる**] をクリックする

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイルは [**Message**] フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。[**Message**] フォルダの場所は、アンインストールする前に[**ツール**] メニューの[**オプション**] をクリックし [**管理フォルダの設定**] の項目で確認できます。

オンラインヘルプの使いかた

Windows **Macintosh**

オンラインヘルプを表示するには、以下を行ってください。

- Olympus Sonority を起動した状態で、[**ヘルプ**] メニューから [**Olympus Sonority のヘルプ**] を選択する。

目次で検索する

1 オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする

2 検索したい項目の [ ] をダブルクリックする

- 選択項目のタイトルが表示されます。

3 検索したい項目の [ ] をダブルクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。



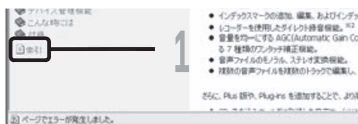
キーワードで検索する

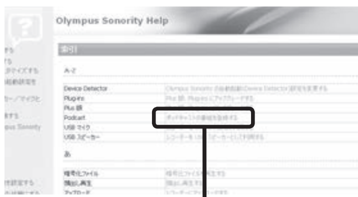
1 オンラインヘルプを表示させてから、[**索引**] の項目をクリックする

- 検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

2 キーワードをクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。





ご注意

- 本書は Olympus Sonority の基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプは Olympus Sonority のインストール後から使用できます。

Olympus Sonority を起動する

本機をパソコンに接続すると自動的に Olympus Sonority を起動できます。

Windows

自動起動の設定を停止する場合

1 画面右下のタスクバーの［ ］を右クリックし、［設定］を選ぶ

- 設定可能なアプリケーションをダイアログ表示します。

2 ［Olympus Sonority］の［ ］をクリックする

- ［Olympus Sonority］についていたチェックが消えます。再び自動起動する場合はもう一度クリックしてチェックを入れてください。

手動で起動する場合

1 Windows を起動する

- 設定可能なアプリケーションをダイアログ表示します。

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➔［Olympus Sonority］➔［Olympus Sonority］を選択する

- 情報表示エリアが表示されます。
- 起動後、画面右下のタスクバーに［ ］のアイコンが表示されます。

Macintosh

自動起動の設定を停止する場合

1 メニューバーから［ ］➔［システム環境設定］➔［ ］をクリックする

- 設定ダイアログが表示されます。

2 自動起動のチェックボックスの設定を［OFF］にする

手動で起動する場合

1 Finder から［アプリケーション］➔［Olympus Sonority］➔［Olympus Sonority］をダブルクリックする

- 初めて起動するときは、シリアル番号の登録ダイアログが表示されます。

2 シリアル番号を入力する

- シリアル番号は製品に同梱されている CD パッケージを参照してください。
- シリアル番号が正しい場合は情報表示エリアが表示されます。

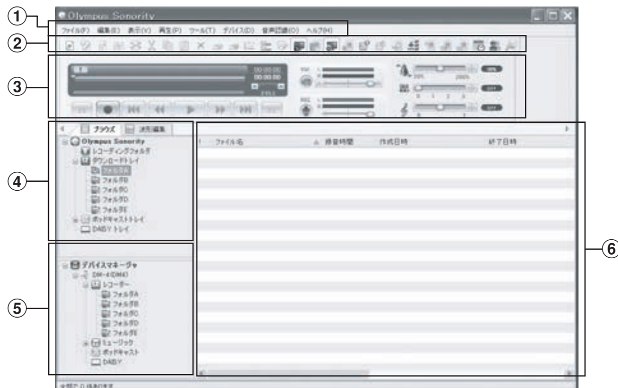
ご注意

- 複数の Olympus Sonority を同時に起動できません。
- DSS Player などの他のアプリケーションが起動していた場合は、そのアプリケーションを終了させ、Olympus Sonority を起動させてください

ウィンドウのなまえ(Olympus Sonority)

ブラウズ画面

Olympus Sonority のメイン画面です。
(表示画面は Windows での表示画面です。)



① メニューバー
OS 標準のメニューバーです。

② ツールバー
ブラウズ画面で使用するツールバーボタンが表示されます。

③ 再生コントロールバー
ファイル表示エリアで選択したファイルを再生するときに使用します。

④ メインツリービュー
本機からダウンロードしたファイル、Olympus Sonority で録音したファイルなど、PC 内で Olympus Sonority が管理している音声／音楽ファイルを保存しているフォルダが表示されます。

⑤ デバイスツリービュー
接続したデバイス内のフォルダが表示されます。

⑥ ファイルリスト表示エリア
メインツリービューまたはデバイスツリービューで選択されているフォルダや本機内にある全ての音声ファイルの詳細情報が表示されます。

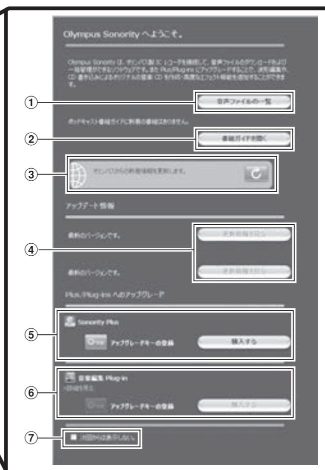
Olympus Sonority 起動時には、情報表示エリア（初期設定）が表示され、Olympus Sonority の基本情報の表示やアップデート、アップグレードができます（☞ P.158）。

情報表示エリア

Olympus Sonority のアップデートや接続された本機のファームウェアのアップデートを確認して、アップデートを実行できます。また Olympus Sonority Plus へのアップグレードやポッドキャストの番組登録などもここから実行できます。



はじめて Olympus Sonority を起動すると、ブラウズ画面の［ファイルリスト表示エリア］に［情報表示エリア］を表示します。



① 音声ファイルの一覧
メインツリービューのフォルダ A が選択され、ファイルリスト表示エリアを表示します。

② 番組ガイドを開く
ポッドキャストの番組ガイドについて新着情報を表示します。

③ 新着情報を更新
Olympus からの新着情報を更新します。

④ 更新情報を見る
Olympus Sonority や接続された本機のアップデート情報を確認します。

⑤ アップグレードキー番号を登録
購入したアップグレードキー番号を登録します。

⑥ アップグレード
購入したいアップグレードを選択します。アップグレード済みの場合は、ボタンの代わりにアップグレードキーが表示されます。

⑦ 表示／非表示
次回の Olympus Sonority 起動時から、情報表示エリアを表示するかどうかを選択します。
非表示に設定すると、ファイルリスト表示エリア（☞ P.142）を表示します。

録音した音声をパソコンに取り込む

Windows **Macintosh**

本機からファイルをパソコンに取り込むことをダウンロードと呼びます。Olympus Sonority では、ファイルをパソコンにダウンロードする方法として次の 3 つがあります。

- 選択ファイルのダウンロード
  1 つまたは複数のファイルをパソコンに取り込みます。
- フォルダを指定してダウンロード
  フォルダ内にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
- すべてのファイルをダウンロード
  本機にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
  ここでは［**選択ファイルのダウンロード**］について説明します。［**フォルダを指定してダウンロード**］や［**すべてのファイルをダウンロード**］については、オンラインヘルプ（☞ P.140）をご覧ください。

4

録音した音声をパソコンに取り込む

選択ファイルのダウンロード

1 フォルダを選ぶ

- デバイスツリービューでダウンロードしたいファイルが入ったフォルダを選びます。図では、［**フォルダ A**］が選択されています。

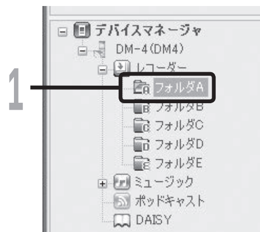
2 ファイルを選ぶ

- ファイルリスト表示エリアからダウンロードしたい音声ファイルを選択する。

複数選択する場合は：

Windows：［**Ctrl**］キーまたは［**Shift**］キーを押しながら選択する。

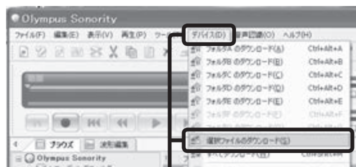
Macintosh：［**コマンド**］キーを押しながら選択する。





3 ファイルをダウンロードする

- ［**デバイス**］メニューから［**選択ファイルのダウンロード**］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックします。



4 ダウンロードの完了

- パソコンから通信中の画面が消えても、本機のLED表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB接続ケーブルを外さないでください。
  USB接続ケーブルを外す場合は、必ず☞P.134に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。



ご注意

- LED表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- ファイルのサイズやパソコンによってはダウンロードに時間がかかることがあります。
- ダウンロード先は、本機のフォルダと対応した、ダウンロードトレイのフォルダに保存されます。
  (例) 本機の［**フォルダA**］からダウンロードしたファイルは、メインツリービューのダウンロードトレイ内の［**フォルダA**］に保存されます。
- 同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はダウンロードされません。

ファイルを再生する

Windows **Macintosh**

1 フォルダを選ぶ

- 再生したいファイルが入っているフォルダを選びます。
  図では取り込み済みのファイルを指定するため、メインツリービューの［**フォルダ A**］を選択しています。

2 ファイルを選ぶ

- ファイルリスト表示エリアから再生したいファイルを選びます。

3 ファイルを再生する

- 再生コントロールバーの［▶］（再生ボタン）を押します。

その他の早戻し、早送り、停止、再生速度、音量、時間軸、インデックスマークスキップなどは、再生コントロールバーで操作できます。詳細については、オンラインヘルプ（☞ P.140）をご覧ください。

波形編集機能を使う

Windows　Macintosh

Olympus Sonorityでは、波形編集タブで音声データを簡単に加工できます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存できます。

1 ブラウズ画面から、編集したいファイルを選択し、[ファイル]➔[編集]を選ぶ
- 波形編集画面に切り替わり、波形が表示されます。

2 波形の削除したい部分をドラッグして選ぶ
- 波形表示で選択した箇所がグレー表示となります。

3 [編集]メニューから[カット]を選ぶ
- 選択した波形部分が削除されます。

4 波形表示部分の任意の箇所をクリックする
- 波形表示で選択した箇所がグレー表示となります。

5 [編集]メニューから[ペースト]を選ぶ
- 選択した箇所に先ほど切り取った波形が挿入されます。

6 トラック領域の書き出し[ ]をクリックする
- 保存ダイアログが表示されます。

ワンタッチエフェクト機能を使う

Windows　Macintosh

ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけられます。ここでは、指定した領域にノイズリダクションを施す手順について説明します。

1 ブラウズ画面から、編集したいファイルを選択し、[ファイル]➔[編集]を選ぶ
- 波形編集画面に切り替わり、波形が表示されます。

2 効果をかけたい箇所の波形部分をドラッグして選ぶ
- 波形表示で選択した箇所がグレー表示となります。

3 ノイズリダクションの補正ボタン[ ]を押す
- 選択した範囲のノイズが除去されます。

4 選択した箇所の開始位置をクリックし、再生コントロールバーの[ ](再生ボタン)を押す
- ノイズリダクションのかかった状態で再生を行ないます。

ファイルを本機に転送する

Windows　Macintosh

Olympus Sonority には、パソコンにあるファイルを本機に転送（アップロード）する機能があります。

1 フォルダを選ぶ

- メインツリービューから、転送したいファイルの入っているフォルダを選びます。

2 ファイルを選ぶ

- ファイルリスト表示エリアから、転送したいファイルを選びます。

3 転送先フォルダを選ぶ

- ［**デバイス**］メニューから［**アップロード**］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックします。転送先フォルダー覧のアップロードダイアログが表示されたら、転送先フォルダを選んでください。

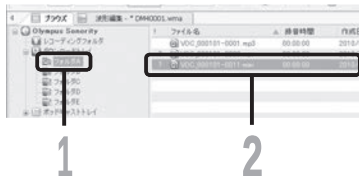
4 ファイルを転送する

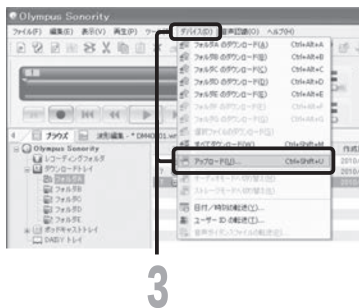
- ［**OK**］をクリックすると、ファイルが本機に転送されます。

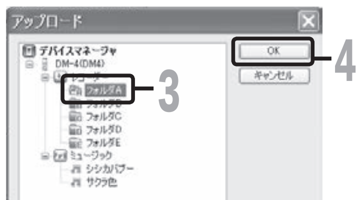
5 アップロードの完了

- 通信中の画面が消え、本機の LED 表示ランプが消えたらアップロードの完了です。

ファイルリスト表示エリアから転送したいファイルを選び、デバイスツリービューのフォルダにドラッグ&ドロップ（マウスの左ボタンを押したまま移動し、移動先でボタンを離す）して転送できます。







ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 本機のフォルダ内に同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はアップロードされません。

ポッドキャストについて

番組を登録する

Windows

ポッドキャストコンテンツの取り込みは、ポッドキャスト番組のアイコンをドラッグ＆ドロップまたはコンテンツのアドレスを登録することでコンテンツを検出し、取り込みを行えます。

Macintosh 版では、この機能はサポートされていません。付属の iTunes などを使用して、ポッドキャストコンテンツの取り込みを行なってください。



1 Olympus Sonority を起動する

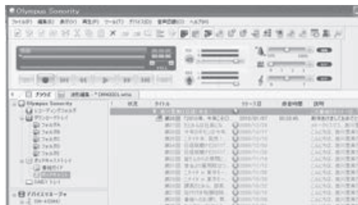
2 ウェブブラウザを起動し、ポッドキャスト配信サイトを表示する

3 ポッドキャスト登録用のアイコンを Olympus Sonority の［**ポッドキャスト**］フォルダへドラッグ＆ドロップする

- ポッドキャスト登録用のアイコンは各配信サイトによって異なります。詳しくは各配信サイトをご確認ください。

4 番組の登録完了

- 番組が登録されると、［**ポッドキャスト**］フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。
  初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。



ご注意

- 本機で再生できるファイル形式は ☞ P.47 を参照してください。

番組を更新する

Windows

初期設定では、Olympus Sonority に登録した番組は自動的に更新されます。番組の更新間隔は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログのポッドキャストタブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.140）をご覧ください。

自動で番組を更新しない場合、以下の手順で番組を更新できます。

Macintosh 版の場合は、番組の登録・更新およびダウンロードの機能はありません。付属の iTunes などのアプリケーションを使用して行なってください。

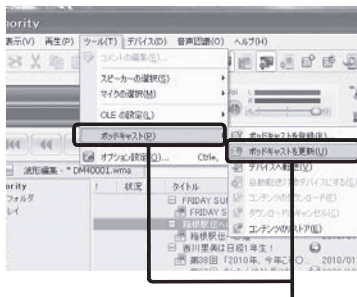
1 ［**ポッドキャスト**］**フォルダを選ぶ**

2 **更新したい番組を選ぶ**



3 ［**ツール**］**メニューから**［**ポッドキャストを更新**］**を選ぶか、ツールバーの**［］**をクリックする**

- 番組の更新を開始します。
  番組が更新されると、新しいコンテンツがグレーで表示されます。グレーで表示されているコンテンツは、まだパソコンへダウンロードされていないことを表します。



コンテンツをダウンロードする

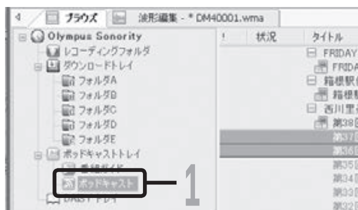
Windows

初期設定では番組を更新した際に新しいコンテンツがあった場合、最新のコンテンツを自動でダウンロードします。この設定は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログのポッドキャストタブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.140）をご覧ください。

手動でダウンロードを開始する場合、以下の手順でダウンロードできます。

Macintosh 版の場合は、番組の登録・更新およびダウンロードの機能はありません。付属の iTunes などのアプリケーションを使用して行なってください。

1 ［**ポッドキャスト**］**フォルダを選ぶ**



2 **ダウンロードしたいコンテンツの［ ］をクリックする**

- コンテンツのダウンロードを開始します。
  コンテンツをダウンロードしている間は、進行状況がパーセンテージで表示されます。

!	状況	タイトル	リリース日
		FRIDAY SUPER COWNTDOW...	
		FRIDAY SUPER COUNTDOWN50	2010/01/12
		箱根駅伝への道（ポッドキャスト）	
		箱根駅伝への道	2010/01/05
		西川里美は日経1年生！	
		第38回「2010年、今年こそ○...	2010/01/07
		第37回 さとみんは社長になれる...	2009/12/24
	13%	第36回 今年のギモンは今年...	2009/12/17
		第35回 ニチイチ本、発売！...	2009/12/10
		第34回 日経就職ナビ2011「...	2009/12/03

3 **ダウンロードの完了**

- ダウンロードが完了したコンテンツは再生したり、本機へ転送できます。



4

ポッドキャストについて

JP

コンテンツを本機へ転送する

Windows **Macintosh**

初期設定では、本機をパソコンに接続すると、自動でコンテンツが本機の［**ポッドキャスト**］フォルダに転送されます。この設定は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログの［**ポッドキャスト**］タブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.140）をご覧ください。

手動でコンテンツを転送する場合、以下の手順で転送できます。

Macintosh 版の場合は、付属の iTunes などで登録したポッドキャストコンテンツを、本機の［**ポッドキャスト**］フォルダにドラッグ＆ドロップすることで、本機に転送できます。

1 ［**ポッドキャスト**］**フォルダを選ぶ**



2 **転送したいコンテンツを選び、本機の［ポッドキャスト］フォルダへドラッグ & ドロップする**

- コンテンツの転送を開始します。コンテンツを転送している間は、進行状況を示す画面が表示されます。



3 **転送の完了**

- 本機へ転送したコンテンツには転送済みアイコン［ ］が表示されます。



ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

番組ガイド機能について

Windows

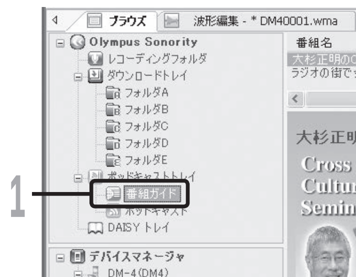
Olympus Sonority では、OLYMPUS 関連のポッドキャストの番組を簡単に登録することができ、自動的に新しいコンテンツをダウンロードできます。また本機をパソコンに接続するだけで、新しいコンテンツを本機へ転送できます。
Macintosh 版では番組ガイドの機能はありません。

1 **メインツリービューのオンラインサービスにある［番組ガイド］をクリックする**

- オンライン上に登録されている番組情報が表示されます。

2 **番組一覧からお好みの番組をクリックする**

- 番組詳細ビューに番組の詳細情報が表示されます。



3 **［登録する］をクリックしてポッドキャストに登録する**

- 番組が登録されると、［**ポッドキャスト**］フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。
  初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。



DAISY について

Windows　Macintosh

DAISY とは何の略？

DAISY とは Digital Accessible Information System の略で、日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されます。もともとは、図書や情報を読むことが困難な人々のために録音テープに代わるものとして利用されています。DAISY は国際共同開発機構 DAISY コンソーシアムにより開発と維持が行われている世界共通のアクセシブルな情報システムです。

マルチメディア DAISY とはどういうもの？

パソコンで音声を聞きながら、同時に絵・写真が見られます。読んでいる箇所がハイライトされるので、どこを読んでいるのかわかるようになっています。音声のスピードを変更することや、読みたいページへ移動できます。教科書をマルチメディア DAISY にして学習に利用している児童や生徒もいます。

マルチメディア DAISY を再生するには？

本機に同梱されている Olympus Sonority をパソコンにインストールして（☞ P.137）、ブラウズ画面の [**DAISY トレイ**] フォルダを選択し、再生ボタンでマルチメディア DAISY を体験することができます。再生中に文章や見出しをスキップしたり、任意の文をクリックしてすばやくその箇所へ移動できます。また、ブックマークを登録しておけば、いつでもその位置からの再生ができます。詳細は [**コンテンツを再生する**]（☞ P.156）をご覧ください。



DAISY についての詳しい情報

DAISY についての詳しい情報については、下記ホームページをご参照ください。
DAISY コンソーシアム公式ホームページ (英語のみ)：http://www.daisy.org/
財団法人日本障害者リハビリテーション協会 DAISY 関連情報ホームページ (日本語のみ): http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/

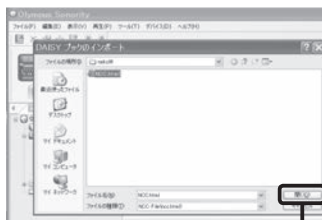
コンテンツを取り込む

Olympus Sonority に DAISY ブックのコンテンツを取り込み、[**DAISY トレイ**] からコンテンツを選択して再生できます。DAISY コンテンツのバージョン 2.0 / 2.02 でインポートおよび再生が可能です。



1 パソコンのデスクトップ上に DAISY ファイルまたはファイルのあるフォルダを準備する

2 Olympus Sonority を起動する



3 Olympus Sonority の［**ファイル**］メニューから「**インポート**」➔「**DAISY ブックのインポート**」を選ぶ

- ファイルダイアログが表示されます。
- DAISY コンテンツ内の、NCC.html ファイルを選んでください。

4 取り込む DAISY ファイルを選んで、[**開く**] をクリックする

- 取り込みが始まります。
- 取り込まれたファイルが一覧に表示されます。



コンテンツを再生する

1 [DAISY トレイ] をクリックする

- Olympus Sonority に登録されている、DAISY ブックの一覧がリスト表示されます。



2 リストから再生したいタイトルをクリックする

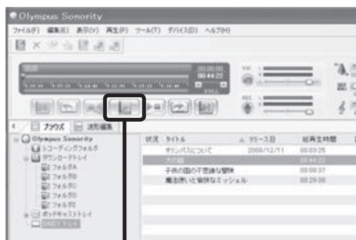
- ファイルの読み込み画面が表示されます。





3 再生コントロールバー内の [ ] (再生) ボタンを押して、DAISY コンテンツを再生する

- DAISY コンテンツの再生が始まります。
- [ ] または [ ] ボタンで、それぞれ前の文、次の文にスキップできます。
- [ ] ボタンを押すと、目次の一覧が表示されます。



コンテンツを本機へ転送する

1 本機をパソコンに接続し、Olympus Sonority を起動する

- デバイスマネージャーにデバイスツリーが表示されます。

2 転送したいファイルを選ぶ

- ファイルリスト表示エリアから、転送したいファイルを選びます。

複数選択する場合は：

Windows：［**Ctrl**］キーまたは［**Shift**］キーを押しながら選択する。

Macintosh：［**コマンド**］キーを押しながら選択する。

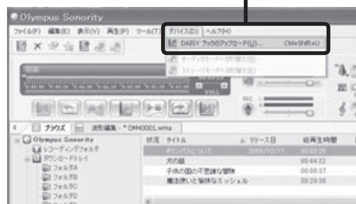


3 Olympus Sonority の［デバイス］➔［DAISY ブックのアップロード］を選ぶ

- コンテンツの転送を開始します。コンテンツを転送している間は、進行状況を示す画面が表示されます。

4 転送の完了

- 本機へ転送したコンテンツには転送済みアイコン［ ］が表示されます。





ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

アップグレード機能

Windows　Macintosh

Olympus Sonority は、Plus 版へアップグレード（有償）することで、より高度な機能に拡張できます。また Olympus Sonority Plus では、音楽編集プラグインを購入することで高度なエフェクト編集などをお楽しみいただけます。音楽編集プラグインを追加するには、Olympus Sonority Plus のアップグレードが必要です。

ご購入およびアップグレードのしかた

Olympus Sonority Plus を購入し、Olympus Sonority からアップグレードするには、以下の手順で操作します。

1 Olympus Sonority を起動する

- 起動方法は ☞ P.141 をご覧ください。

2 [ヘルプ] メニューの [**Olympus Sonority Plus の購入**] を選ぶか、ツールバーの［ ］ボタンをクリックする

- ウェブブラウザが起動し、Olympus Sonority Plus の購入サイトが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。購入完了後、画面上またはメールによりアップグレードキーが発行されます。

3 [ヘルプ] メニューから、[アップグレードキーの登録] を選ぶ

- ［**アップグレードキーの登録**］ダイアログが表示されます。

4 アップグレードキーの登録

- 次回起動時に、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが行われ、Olympus Sonority Plus としてご利用いただけます。

Olympus Sonority Plus へのアップグレードを確認するには

ブラウズ画面で、メインツリービューのルート [**Olympus Sonority**] をクリックし、インフォメーション画面を表示させてください。アップグレードキーが登録されていることが確認できます。または[**ヘルプ**] メニューの[**Olympus Sonority について**] を選択すると、Olympus Sonority Plus に登録したアップグレードキーが表示されます。音楽編集プラグインは、２０種類以上のエフェクト機能、スペクトラムアナライザ機能が追加されます。詳細は、オンラインヘルプ (☞ P.140) をご覧ください。

ご注意

- アップグレードキーの購入には、インターネットが利用できる環境が必要です。ご利用できない場合はカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- アップグレードキーのご購入につきましては、Olympus Sonority のオンラインヘルプ (☞ P.140) をご覧ください。

Olympus Sonority Plus でできること

Olympus Sonority Plus 版は通常版の機能に加え、音楽ファイルのさまざまな編集が行える機能があります。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ (☞ P.140) をご覧ください。

MP3 編集

MP3 ファイルおよびタグの編集、書き出し機能。

音楽 CD の作成

CD 書き込みフォルダに登録した音声ファイルによる音楽 CD 作成機能。

レコーダーメニューの設定

本機の設定（録音モード、アラームの設定、タイマー録音など詳細な設定）機能。

音楽編集プラグインでできること

Olympus Sonority Plus で音楽編集プラグインをご購入いただくと、音楽編集の幅が広がる高度な機能を追加できます。詳しい購入方法や操作方法については、オンラインヘルプ（☞ P.140）をご覧ください。

エフェクト機能

20 種類以上の高度なエフェクト機能をつかって、音楽ファイルをより高度に編集できます。

スペクトラムアナライザ

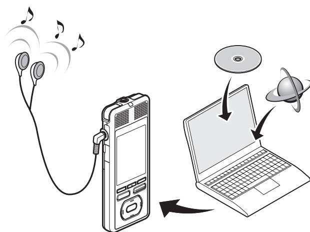
波形編集画面で再生中の音声の周波数分布をリアルタイムに表示します。

無制限のトラック編集

同時に編集可能なトラック数の制限がなくなります。

Windows Media Player を使う

音楽CDやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生できます。本機は WAV、MP3、WMA 形式の音楽ファイルに対応しています。
Windows Media Player を用いると、音楽CDから音楽ファイルを変換（リッピング）できます（☞ P.161）。



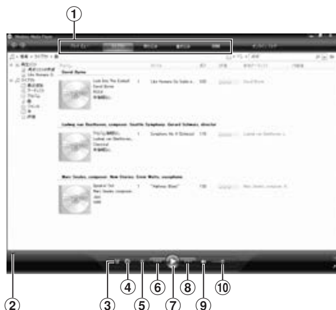
ウィンドウのなまえ

Windows Media Player 12



①機能タスクバー
②位置スライダ
③ランダム再生ボタン
④連続再生ボタン
⑤停止ボタン
⑥前へボタン
⑦再生ボタン
⑧次へボタン
⑨ミュートボタン
⑩音量スライダ

Windows Media Player 11



①機能タスクバー
②位置スライダ
③ランダム再生ボタン
④連続再生ボタン
⑤停止ボタン
⑥前へボタン
⑦再生ボタン
⑧次へボタン
⑨ミュートボタン
⑩音量スライダ

CD から音楽をコピーする

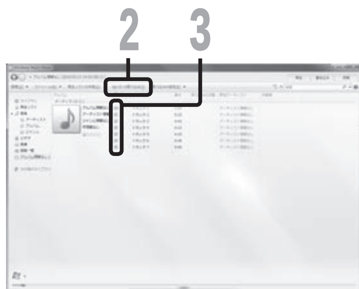
Windows Media Player 12

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**CDの取り込み**］メニューをクリックする

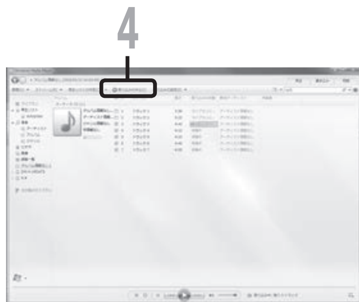
- インターネットに接続できる場合、CD の情報検索します。

3 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける



4 ［**取り込みの開始**］をクリックする

- パソコンにコピーされたファイルは WMA 形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。



Windows Media Player 11

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

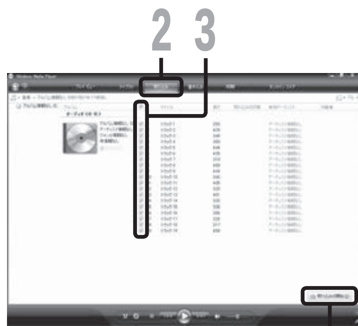
2 機能タスクバーから［**取り込み**］メニューをクリックする

- インターネットに接続できる場合、CD の情報検索します。

3 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

4 ［**取り込みの開始**］をクリックする

- パソコンにコピーされたファイルは WMA 形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。



音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は［**CD から音楽をコピーする**］をご覧ください (☞ P.161)。

Windows Media Player 12

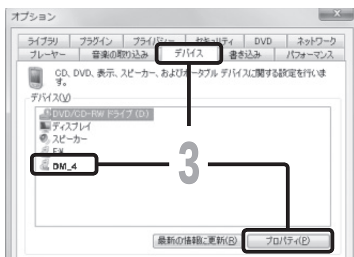
1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 メニューの［**整理**］から［**オプション**］を選択し、ダイアログの［**デバイス**］タブをクリックする



3 デバイスの中から［**DM_4**］を選択し、［**プロパティ**］をクリックする

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。チェックを外して同期にすると［**ホーム**］フォルダ直下に転送され、ファイルが見えなくなります。 ***1 *2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。



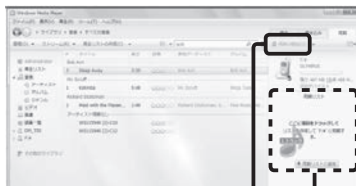
***1** フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

***2** 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度 ***1** の設定が必要になる場合があります。



4 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選択し、本機に転送したい曲、またはアルバムを選択したら、右側の［**同期リスト**］にドラッグ＆ドロップする

5［**同期の開始**］をクリックする
- ファイルが本機に転送されます。



ご注意
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。

Windows Media Player 11

1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**同期**］メニューをクリックする

3 再度［**同期**］メニューをクリックし、［**DVR**］➔［**詳細オプション**］➔［**同期の設定**］と選択した後、以下の設定を行う
- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。チェックを外して同期にすると［**ホーム**］フォルダ直下に転送され、ファイルが見えなくなります。**＊1 ＊2**



- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

***1** フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。
***2** 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度 ***1** の設定が必要になる場合があります。



4 **左側の［ライブラリ］からお好みのカテゴリーを選択し、本機に転送したい曲、またはアルバムを選択したら、右側の［同期リスト］にドラッグ＆ドロップする**

5 **［同期の開始］をクリックする**

- ファイルが本機に転送されます。



ご注意

- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows Media Player 9 または 10 を使っての転送方法は、弊社 Web サイトでご確認ください。http://olympus-imaging.jp/
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると、本機のディスプレイに［**管理ファイルが作成できません　PC に接続して不要なファイルを消去して下さい**］と表示される場合があります。この場合、ファイルを消去して管理ファイルの空き容量（数百 KB ～数十 MB）を確保してください（管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります）。

パソコンからファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は［**録音した音声をパソコンに取り込む**］をご覧ください (☞ P.144)。

Windows Media Player 12

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**書き込み**］タブをクリックする

3 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選択し、CD-R/RW にコピーしたい曲、またはアルバムを選択したら、右側の［**書き込みリスト**］にドラッグ&ドロップする



4［**書き込み**］タブをクリックし、［**データ CD または DVD**］か［**オーディオ CD**］を選ぶ

［オーディオ CD］を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD または DVD］を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

5［**書き込みの開始**］をクリックする



Windows Media Player 11

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**書き込み**］メニューをクリックする

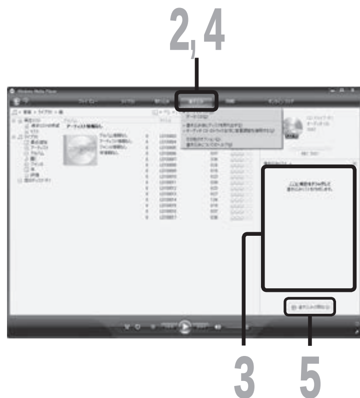
3 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選択し、CD-R/RW にコピーしたい曲、またはアルバムを選択したら、右側の［**書き込みリスト**］にドラッグ＆ドロップする

4 再度［**書き込み**］メニューをクリックし、［**オーディオ CD**］か［**データ CD**］を選ぶ

［オーディオ CD］を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［**書き込みの開始**］をクリックする



ご注意

- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。

再生リストを作成する

Windows Media Player を使って再生リストを作成し、本機の [**ミュージック**] フォルダに転送すれば、お好みの順番で曲が再生できます。

Windows Media Player 12

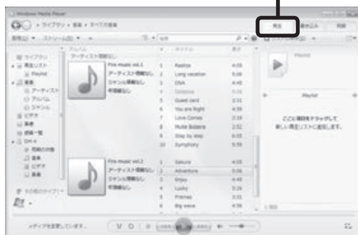
1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

- プレイビューモードを開いてる場合は画面右上にある［**ライブラリに切り替え**］( ) をクリックします。

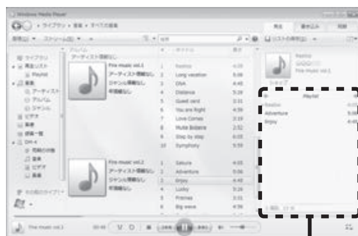


2 [再生] タブをクリックしてリストウィンドウを開く

- 再生リストを作成する前にリストウィンドウの内容を消去する必要がある場合は、[»] から［**リストの消去**］をクリックしてください。



3 画面左側の詳細ウィンドウの音楽のタイトルから、再生リストに追加するタイトルをクリックし、画面右側のリストウインドウにドラッグする



4 リストウィンドウでタイトルを上下させて再生順に並び変える



5 リストウィンドウ上部の［**リストオプション**］（ ）ボタンをクリックして、表示されたメニューから［**リストに名前をつけて保存**］を選ぶ

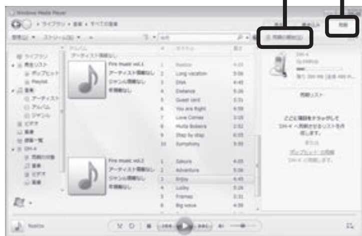


6 ［**名前をつけて保存**］画面が表示されたら、ファイル名を設定し、［**保存する場所**］に本機の［**MUSIC**］フォルダを選び、［**保存**］をクリックする



7 ［**同期**］タブをクリックし、保存した再生リストを画面右側の同期リストウィンドウにドラッグする

8 ［**同期の開始**］をクリックする



Windows Media Player 11

1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 ライブラリ画面が表示された状態で［**ライブラリ**］➔［**再生リストの作成**］の順にクリックする



3 ライブラリ画面に表示された音楽のタイトルから、再生リストに追加するタイトルをクリックし、画面右側のリストウインドウにドラッグする



4 ［**無題の再生リスト**］をクリックし、表示されたメニューから［**再生リストに名前を付けて保存**］をクリックする



5 ［**名前をつけて保存**］画面が表示されたら、ファイル名を設定し、[**保存する場所**] に本機の [**MUSIC**] フォルダを選び、[**保存**] をクリックする



6 ［**同期**］タブをクリックし、保存した再生リストを画面右側の同期リストウィンドウにドラッグする

7 ［**同期の開始**］をクリックする



ご注意

- 同じ再生リストに本機の内蔵メモリの楽曲と外部メモリの楽曲を混在できません。
- PC 内の音楽ファイル構成が、P.176 の図のような配置（リッピング時のデフォルト構成）でない場合は、再生リストは正しく再生できない場合があります。

iTunes について

iTunes を使う

iTunes を使って、語学 CD やインターネットからパソコンに取り込んだ語学コンテンツや音楽ファイルを、本機に転送して再生できます。
iTunes を使って、音楽CDから音楽ファイルを変換（リッピング）できます（☞ P.173）。

ウィンドウのなまえ



①機能タスクバー
②巻き戻しボタン／再生・一時停止ボタン／早送りボタン
③音量スライダ
④プレイリスト追加ボタン
⑤ランダム再生ボタン
⑥連続再生ボタン
⑦表示切替ボタン
⑧ディスク作成ボタン
⑨Genius ボタン
⑩Genius サイドバーボタン

CD から音楽をコピーする

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 [**iTunes**] ➔ [**環境設定**] をクリックする

3 [**一般**] タグをクリックする

4 [**読み込み設定**] をクリックし、パソコンにコピーするときのファイル形式やビットレートを設定したら [**OK**] をクリックする

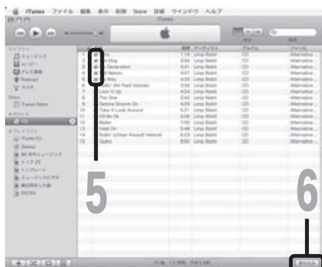
- 本機は MP3 形式、WAV 形式のファイルに対応しています (☞ P.47)。
  [読み込み方法]: CD の曲を読み込むときのファイル形式を設定します。[**MP3**] または [**WAV**] を選んでください。
  [設定]: CD の曲を読み込むときのビットレートを設定します。ビットレートは [**128**]、[**160**]、[**192**] から選べます。





5 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

6 [**読み込み**] をクリックする



音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は［**CD から音楽をコピーする**］をご覧ください (☞ P.173)。

1 本機をパソコンに接続し、iTunes を起動する

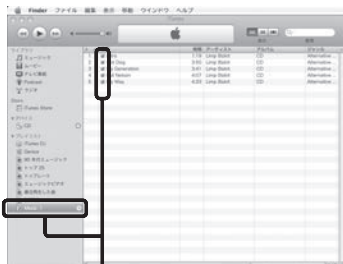
2 本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

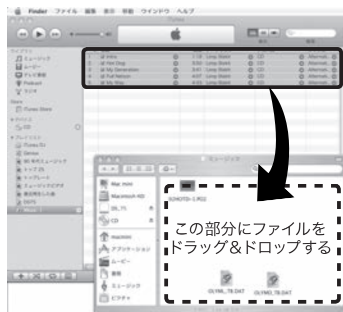
- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ&ドロップすると曲順を変更できます。

3 本機に対応するドライブをダブルクリックし、［**ミュージック**］フォルダを開く

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 音楽ファイルを転送する場合、本機の［**ミュージック**］フォルダにコピーをしてください。

4 本機に転送したいファイルを選択し、［**ミュージック**］フォルダにドラッグ&ドロップする





ご注意

- iTunes Store などの音楽配信サービスで購入した AAC 形式の音楽ファイルは本機では再生できません。

ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は［**録音した音声をパソコンに取り込む**］をご覧ください (☞ P.144)。

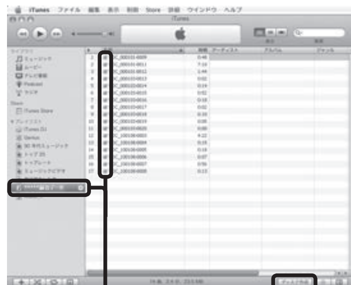
(☞ P.144)

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 CD-R/RW にコピーするプレイリストを選択し、転送したい音楽ファイルにチェックをつける

3 ［**ディスク作成**］をクリックする

4 CD-R/RW にコピーするときのディスク形式を設定したら［**ディスクを作成**］をクリックする



［オーディオ CD］を選んだ場合：CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［MP3 CD］を選んだ場合：MP3 形式でコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：録音したときのファイル形式でコピーします。



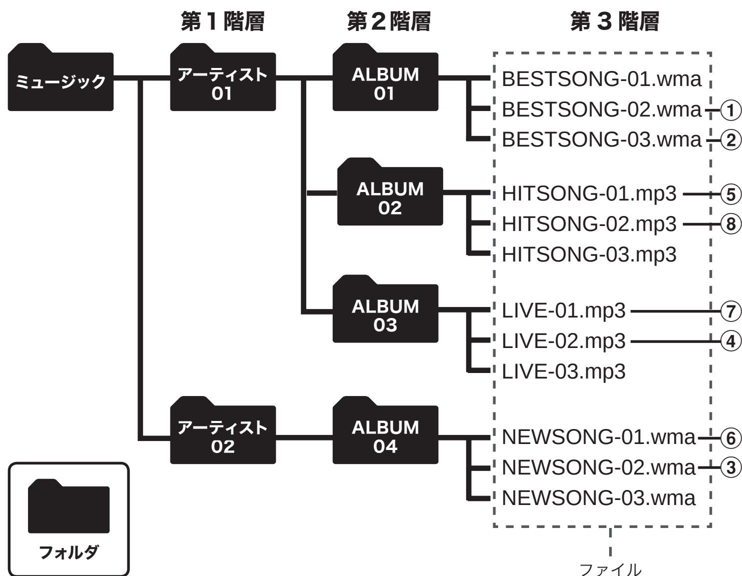
お好みの曲順で再生する

パソコンでプレイリストを作成し、ファイルに保存したものをプレイリストファイルと呼び、本機の [**ミュージック**] フォルダに転送することで、お好みの順番で曲再生ができます。

- プレイリストとは、本機で複数の曲を再生するときに、再生順序を自由に決められる機能です。
- 本機で対応しているプレイリストファイルは拡張子が .m3u です。

プレイリストを作成する

［**ミュージック**］フォルダ内に図のようなフォルダとファイルがある場合に、① から ⑧ の順番で再生するプレイリストを作成し、本機に転送し再生するまでの手順について説明します。



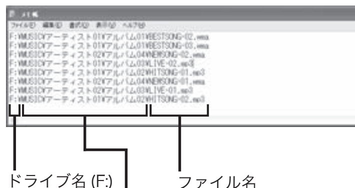
Windows

1 ［スタート］から［プログラム］➔［アクセサリ］➔［メモ帳］を選ぶ

- ［メモ帳］が開きます。

2 ［ミュージック］フォルダ内のファイル名を再生したい順番に入力する

- プレイリストに記載するファイル名は、「ドライブ名 (F:)¥ フォルダ名 ¥ ファイル名」を入力します。
- ファイル名を正しく入力するにはプレイリストに記載したいファイル名のプロパティを表示し、ファイル名をコピーしたあと、プレイリスト作成中のメモ帳にペーストすることで、簡単に作成できます。
- 文字数が多すぎると再生できないことがあります。目安として 1 行あたり 256 文字以内で入力してください。



> **! 1 つのプレイリストにつき、最大 999 曲分登録できます。**

3 ［ファイル］から［名前をつけて保存］を選択して、ファイル名を「○○○（ファイル名）.m3u」として保存する



7

お好みの曲順で再生する

4 保存したプレイリストファイルを本機の［**ミュージック**］フォルダ内にドラッグ＆ドロップして転送する

- プレイリストファイルは、［**ミュージック**］フォルダの直下（第１階層）に転送してください。ファイルの転送については「**音楽ファイルを本機に転送する**」（☞ P.163）をご覧ください。
- 転送したプレイリストの再生については「**ファイル検索**」（☞ P.52）をご覧ください。

ご注意

・ プレイリストで再生順序が指定できるのは［**ミュージック**］フォルダ（音楽再生用）内のファイルに限られます。

オーディオブックについて

Windows **Macintosh**

オーディオブックとは、耳で聴く本のことです。書籍を音声化したファイルで、本機などのプレイヤーでいつでもどこでも手軽に“聴く読書”が楽しめます。「電車の移動中などの時間で本を聴く」、「家事をしながら本を聴く」、「ジョギングしながら本を聴く」という形で、色々なライフスタイルにオーディオブックを活用できます。

• [**アクセシビリティ**] の設定が[**On**] に設定されているときは、この機能は使用できません。この機能を使用するには[**アクセシビリティ**] の設定を[**Off**] に設定してください(☞ P.93)。



コンテンツを本機へ転送する

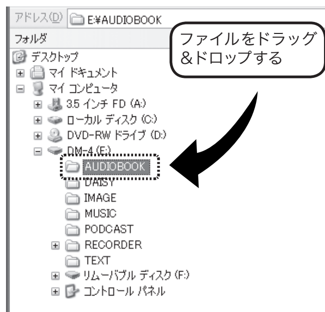
1 本機をパソコンに接続する (☞ P.133)

2 転送したいコンテンツを選び、エクスプローラまたは、Finder で、[**AUDIOBOOK**] フォルダへドラッグ&ドロップする

• ファイルが本機に転送されます。

3 USB ケーブルを抜き、本機メニューの [**ブック**] から [**オーディオブック**] を選ぶ

• 転送したファイルの一覧が表示されます。



ご注意

• LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
• オーディオブックについては Microsoft Corporation の DRM には未対応です。
• 本機で再生できるファイル形式は、MP3 形式または WMA 形式のファイルのみです。

テキストスピーチについて

Windows **Macintosh**

本機にテキストファイルを転送し、再生するとテキストファイルを読み上げられます。さまざまなシーンで作成したテキスト文章を本機で読み上げられるので、音声による内容の確認や復習などにお使いいただけます。

テキストファイルを本機へ転送する

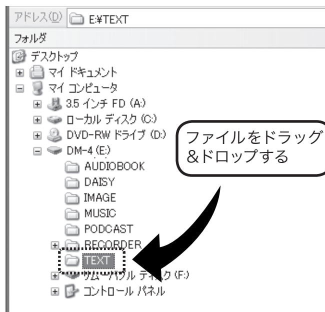
1 本機をパソコンに接続する (☞ P.133)

2 転送したいコンテンツを選び、エクスプローラまたは、Finder で、[**TEXT**] フォルダへドラッグ＆ドロップする

- ファイルが本機に転送されます。

3 USB ケーブルを抜き、本機メニューの [**ブック**] から [**テキストスピーチ**] を選ぶ

- 転送したファイルの一覧が表示されます。



ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 本機で再生できるファイル形式は、文字データだけで構成されたテキストファイル (.txt) のみです。
- 人名・地名・団体名などの固有名詞、および記号・略語・英語等は、文字を正しく読み上げない場合があります。

USB マイク／スピーカとして使う

本機を USB マイクや USB スピーカとしてパソコンに接続することができます。

ご注意

- USB マイクとして使用する場合は本機の録音モードに関係なく、USB ステレオマイクとなります。本機に外部マイクを接続する場合は、ステレオマイクをご利用ください。

パソコンの外部メモリとして使う

IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたのほかに、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する (☞ P.133)

2 エクスプローラを起動する
- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す (☞ P.134)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する (☞ P.133)
- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す (☞ P.134)

ご注意

- データ通信中は［**データ転送中**］と表示され、LED 表示ランプが点滅します。LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery Low)	電池残量がない。	充電してください(☞ P.24～P.25)。充電してもすぐに電池がなくなる場合は電池の寿命です。新品の電池に交換してください（☞ P.23)。
ファイルロック中！ 消去できません (File Protected)	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください(☞ P.94)。
レコーダーフォルダで録音してください (Please select recorder mode)	［**ミュージック**］［**ポッドキャスト**］［**ブック**］（DAISY、オーディオブック、テキストスピーチ）フォルダで録音しようとした。	［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］フォルダを選びなおして録音してください (☞ P.33)。
これ以上記録できません (インデックスマークをつけるとき) (Index Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使っている。	必要のないインデックスマークを消去してください (☞ P.50)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（999）になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.59)。
メモリに異常があります (Memory Error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ P.196)。
microSD カードに 異常があります (Card Error)	microSD カードが正しく認識されていない。	もう 1 度 microSD カードの抜き差しを行ってください (☞ P.31 ～ P.32)。
不正コピーされたファイルです (Licence Mismatch)	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください(☞ P.59)。
メモリがいっぱいです (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.59)。
ファイルがありません (No File)	フォルダ内にファイルがない。	フォルダを選びなおしてください(☞ P.52 ～ P.58)。
初期化に失敗しました (Format Error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化しなおしてください (☞ P.103)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去して下さい (Can’t make the system file.Connect to PC and delete unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続して、不要なファイルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを確認ください (☞ P.47)。

表示	詳細	解決方法
ファイルを選んでください (Please Select The File)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください (☞ P.52 ～ P.58)。
移動（コピー）できないフォルダです (Same folder. Can't be moved (copied) .)	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できないファイルがあります (Same files. Can't be moved (copied) .)	移動（コピー）先に同一ファイル名がある場合や、DRM 付のファイルの場合。	ファイルを選びなおしてください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音した PCM ファイル以外を分割しようとした場合。	ファイルを選びなおしてください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の向きを確かめてください (☞ P.23)。
	電池残量がない。	充電してください (☞ P.24 ～ P.25)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.27)。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.23 ～ P.26)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.27)。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (☞ P.28)。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.59)。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	別のフォルダに切り替えてください (☞ P.33)。

症状	考えられる原因	対処方法
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンを取り外してください。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.45）。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.70）。
	マイク感度が低い。	マイク感度を［**高**］または［**中**］にして、もう一度録音してみてください（☞ P.69）。
	接続した外部機器の出力レベルが低い。	録音レベルを調整してもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音モード**］がモノラル録音形式である。	［**録音モード**］をステレオ形式から選んでください（☞ P.69）。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	フォルダを切り替えてください（☞ P.33）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	――――――
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.94）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するか、パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してファイルを消去してください。

症状	考えられる原因	対処方法
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしている。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマークがつけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.50）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.94）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するか、パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	指定の電池以外の電池が入っている。	付属の電池を入れてください。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、弊社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

USB 接続 AC アダプタ：A514

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです（AC100-240V　50/60Hz)。

2 チャンネルマイクロホン(全指向性)：ME30W

モノラルマイクロホン ME30 2 本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性ガンマイク。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

モノラルマイクロホン (単一指向性)：ME52W

周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク (全指向性)：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

モノラルテレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（ϕ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（ϕ 3.5)、またはモノラルミニミニプラグ（ϕ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

リチウムイオン電池：LI-50B

オリンパス製充電式リチウムイオン電池です。充電器 LI-50C をあわせてお使いいただくと便利です。

用語の説明

用語	意味
Exif 形式	Exchangeable image file format 規格の略で、デジタルカメラ用の画像ファイル形式です。JEIDA(日本電子工業振興協会) によって標準化され、デジタルカメラに採用されています。画像データは JPEG 形式や TIFF 形式で保存され、撮影日時などの付加情報を記録できます。また、画像データをサムネイルで記録できます。
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA (Windows Media Audio)、MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3) 形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
サンプリングレート	1秒間あたりに処理できるデータの記録回数のことです。記録回数が多いほど周波数が高くなり、一般的には音質が良くなります。音楽用 CD では 44.1kHz で処理されています。
ファイルロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
DCF 規格	Design rule for Camera File system 規格の略で、JEIDA(日本電子工業振興協会) で標準化されたカメラファイルシステム規格です。デジタルカメラ用画像フォーマットです。DCF は、サムネイルなどの画像情報を含んでおり、また異機種間での互換性を保証しているため、メーカーや機種が異なっていても画像の交換が可能になります。
DCIM	Digital Camera IMages の略で、デジタルカメラなどのメモリーカードに格納されている写真画像が保存されている第一階層にあるファルダに付けられたフォルダ名です。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォーマット	初期化とも言います。(本製品では、メモリ内部の情報を全てクリアしますが、メニューの設定情報はクリアしません。)
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所 (入れ物) です。
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
メモリ	内蔵メモリや microSD カードのことを指します。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
BEEP (ビープ) 音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

一般事項

■**記録媒体：**

内蔵型メモリ
DM-4：8GB
microSD カード
512MB ～ 16GB に対応

■**記録形式：**

リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式
WMA（Windows Media Audio）形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式

■**規定入力レベル（マイク感度［中］）：**

－ 60 dBv

■**ヘッドホン最大出力：**

3 mW ＋ 3 mW（22 Ω負荷時）

■**スピーカ：**

ϕ 23 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■**マイクジャック：**

ϕ 3.5 mm インピーダンス 2.2 kΩ

■**イヤホンジャック：**

ϕ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■**スピーカ実用最大出力：**

280 mW（スピーカ 8 Ω）

■**電源：**

電　　池：オリンパス製リチウムイオン電池（LI-50B）
外部電源：AC アダプタ（A515）（DC 5V）

■**外形寸法：**

113.6 mm × 45.6 mm × 15.2 mm
（最大突起部含まず）

■**質量：**

98 g（リチウムイオン電池含む）

■**使用温度：**

0 ～ 42℃

■**同梱品：**

本体／リチウムイオン電池／ AC アダプタ／ AC プラグ／ CD-ROM ／ステレオイヤホン／ USB ケーブル／ USB 接続コネクタ／キャリングケース／ストラップ／取扱説明書（保証書付）

総合周波数特性

■ **録音／再生時（マイクジャック録音時）：**

リニア PCM 形式

録音モード	周波数特性
48 kHz	40 Hz ～ 23 kHz
44.1 kHz	40 Hz ～ 21 kHz

MP3 形式

録音モード	周波数特性
320 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
256 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
192 kbps	40 Hz ～ 19 kHz
128 kbps	40 Hz ～ 17 kHz

WMA 形式

録音モード	周波数特性
ステレオ XQ	40 Hz ～ 19 kHz
ステレオ HQ	40 Hz ～ 16 kHz
ステレオ SP	40 Hz ～ 9 kHz
HQ	40 Hz ～ 13 kHz
SP	40 Hz ～ 8 kHz
LP	40 Hz ～ 3 kHz

■ **内蔵ステレオマイク録音時：**

70 Hz ～ 20 kHz

但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モード（上表）による。

録音時間のめやす

■ リニア PCM 形式

録音モード	内蔵メモリ (8 GB)	microSD カード		
		1 GB	2 GB	4GB
48 kHz	約 11 時間 05 分	約 1 時間 15 分	約 2 時間 45 分	約 5 時間 30 分
44.1 kHz	約 12 時間 05 分	約 1 時間 20 分	約 3 時間	約 6 時間

■ MP3 形式

録音モード	内蔵メモリ (8 GB)	microSD カード		
		1 GB	2 GB	4GB
320 kbps	約 53 時間	約 6 時間 30 分	約 13 時間 30 分	約 27 時間
256 kbps	約 66 時間 30 分	約 8 時間	約 17 時間	約 34 時間
192 kbps	約 89 時間	約 11 時間	約 23 時間	約 45 時間
128 kbps	約 133 時間	約 16 時間 30 分	約 34 時間	約 68 時間

■ WMA 形式

録音モード	内蔵メモリ (8 GB)	microSD カード		
		1 GB	2 GB	4GB
ステレオ XQ	約 130 時間	約 16 時間	約 63 時間	約 66 時間
ステレオ HQ	約 261 時間	約 32 時間	約 67 時間	約 133 時間
ステレオ SP	約 522 時間	約 65 時間	約 135 時間	約 266 時間
HQ	約 522 時間	約 65 時間	約 135 時間	約 266 時間
SP	約 1029 時間	約 128 時間	約 267 時間	約 524 時間
LP	約 2043 時間	約 255 時間	約 531 時間	約 1042 時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります(録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください)。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。
- ビット数･ビットレートが低い場合、録音可能時間の差が大きくなるため、注意が必要です。

1ファイルあたりの最長録音時間

■ リニア PCM 形式

録音モード	録音時間
48 kHz	約 3 時間
44.1 kHz	約 3 時間 20 分

■ MP3 形式

録音モード	録音時間
320kbps	約 29 時間 40 分
256 kbps	約 37 時間 10 分
192 kbps	約 49 時間 40 分
128 kbps	約 74 時間 30 分

■ WMA 形式

録音モード	録音時間
ステレオ XQ	約 72 時間 50 分
ステレオ HQ	約 145 時間 40 分
ステレオ SP	約 291 時間 30 分
HQ	約 291 時間 30 分
SP	約 574 時間
LP	約 1139 時間 20 分

ご注意

- 1 ファイルあたりの最大容量は、WMA 形式、MP3 形式は約 4GB に制限されています。
- リニア PCM 形式の 1 ファイルあたりの最大容量は、約 2GB に制限されています。

電池持続時間のめやす

■ リチウムイオン充電池：

録音モード	内蔵ステレオマイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
48 kHz	約 13 時間	約 12 時間	約 20 時間
MP3 128kbps	約 25 時間	約 12 時間 30 分	約 20 時間
ステレオ XQ	約 24 時間	約 12 時間 30 分	約 21 時間
LP	約 29 時間	約 13 時間	約 22 時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変ります。

索引

記号・数字

アルファベット

A

D

E

F

I

L

M

O

P

U

V

W

かな

あ

い

お

か



＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後６年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ．本書のご提示がない場合。
   - ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿２の３の１
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から１年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	１年	無料	
品名	ボイストレック	型名	DM-4
シリアルNo.		お買い上げ日	年 月 日
販売店名	無効		

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**



0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● **オンライン修理受付のご案内**

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● **ピックアップサービス（引取修理）のご案内**

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

0120-971995

営業時間：平日 8：00～21：00
土・日・祭日 9：00～17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。

J1-BS0453-07　AP1209